

「いきいきふっつ障害者プラン」策定のための
実態調査
集計結果報告書

平成 30 年 3 月

富津市

目 次

第1章 調査概要	1
I. 調査目的	1
II. 調査設計	1
III. 回収結果	1
IV. 報告書見方	1
第2章 調査結果	2
I. あなたのことについて	2
II. あなたの健康や医療について	14
III. 介助の状況について	17
IV. サービスの利用について	21
V. 日中活動や就学・就労について	27
VI. 住まいや暮らしについて	41
VII. 福祉や生活に関する相談・情報入手について	44
VIII. 災害時の対応について	51
IX. 地域との結びつきについて	55
X. 障がいのある人の権利擁護・理解促進、今後の施策について	59
XI. 自由記載	72
資料 調査票	73

第 1 章 調査概要

I. 調査目的

平成 30 年度を始期とする「いきいきふっつ障害者プラン 第 3 次基本計画・第 5 期障害者福祉計画（第 1 期障害児福祉計画）」の策定にあたり、「身体障がいのある人」「知的障がいのある人」「精神障がいのある人」の意向・要望・現状を把握し計画策定の基礎資料とするため、郵送によるアンケート調査を実施しました。

II. 調査設計

- (1) 調査区域 全域
- (2) 調査期間 郵便発送の日から概ね 21 日程度（平成 29 年 9 月 8 日～平成 29 年 9 月 29 日）
- (3) 調査方法 郵便にて配布および回収

III. 回収結果

属性	標本数(件)	回収数(件)	回収率(%)
身体障がい	800	449	56.1%
知的障がい	300	167	55.7%
精神障がい	400	198	49.5%
合計	1,500	814	54.3%

IV. 報告書見方

- ・ 図中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ・ 集計は、小数点第 2 位を四捨五入して算出しました。したがって、回答率を合計しても、100%にならないことがあります。
- ・ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えることがあります。
- ・ 本文やグラフ・数表上の選択肢は、場合によって語句を簡略化して表記しています。

第2章 調査結果

I. あなたのことについて

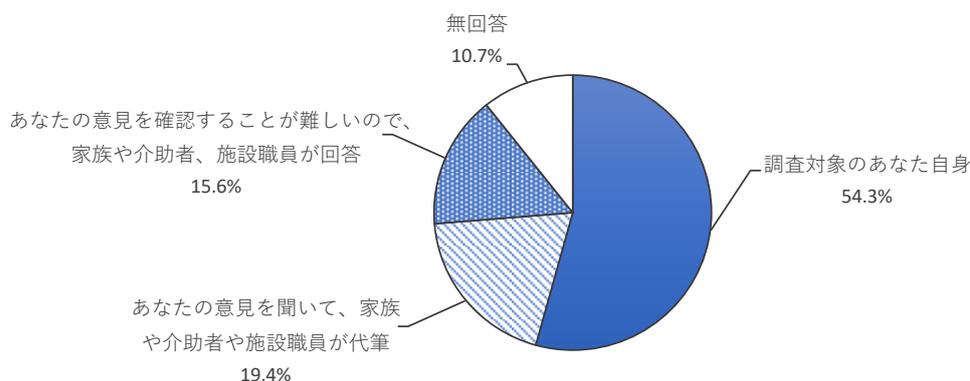
この調査票にお答えいただくのはどなたですか。

(○は1つだけ)

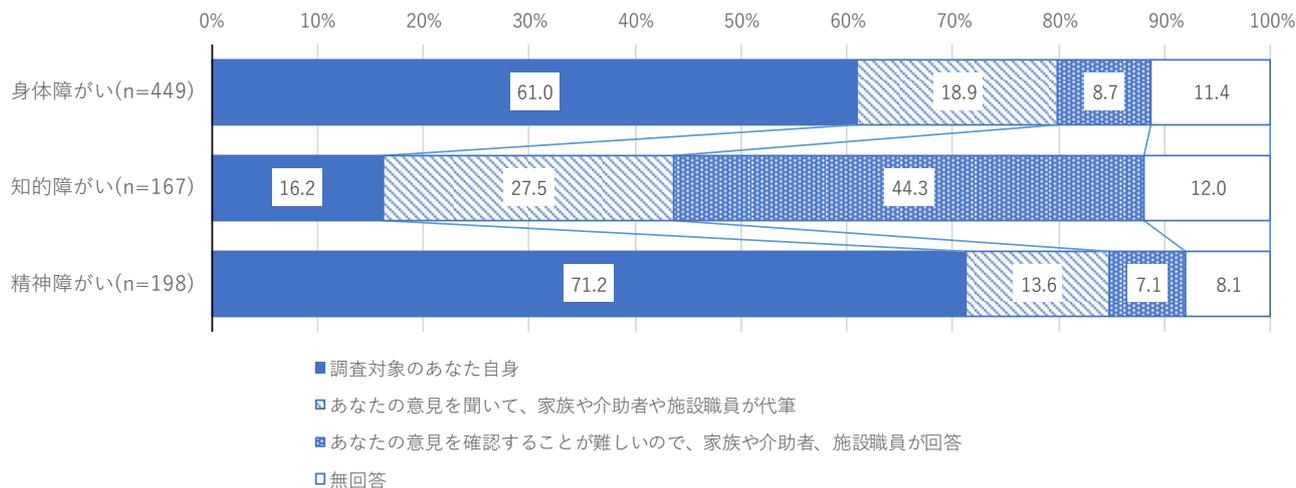
調査票の回答者については、「調査対象のあなた自身」が54.3%と最も多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「調査対象のあなた自身」が6割以上となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



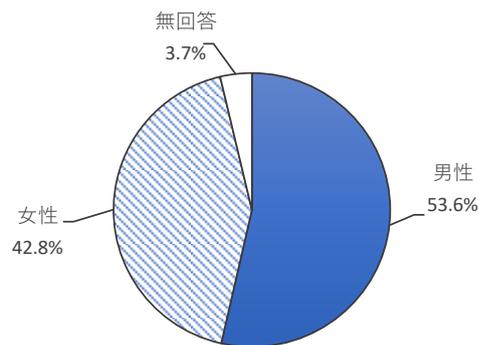
問1 あなたの性別はどちらですか。

(○は1つだけ)

性別については、「男性」が53.6%、「女性」が42.8%と、「男性」が10.8ポイント「女性」を上回っています。

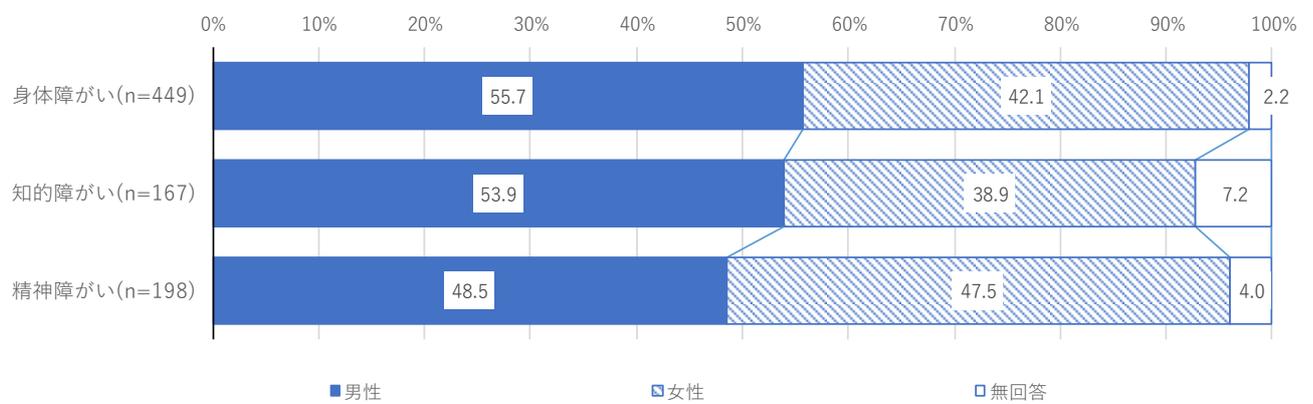
障がい別に見ると、身体障がいと知的障がいでは半数以上が「男性」になっています。

【全体】



n=814

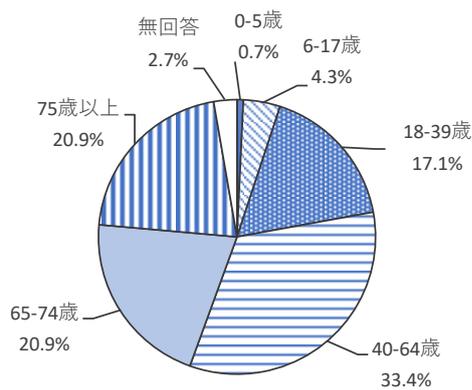
【身体・知的・精神障がい別】



年齢については、「40-64歳」が33.4%と最も多く、次いで「75歳以上」と「65-74歳」が20.9%となっています。

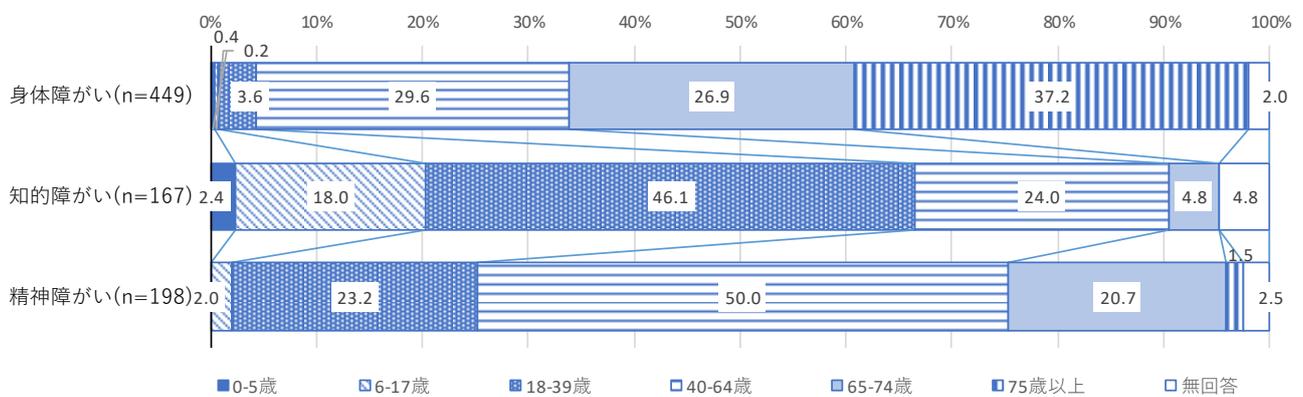
障がい別に見ると、身体障がいでは「0-5歳」と「6-17歳」の割合が少なく、「75歳以上」が37.2%と最も多くなっています。知的障がいでは「18-39歳」が46.1%、精神障がいでは「40-64歳」が50.0%と最も多くなっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】

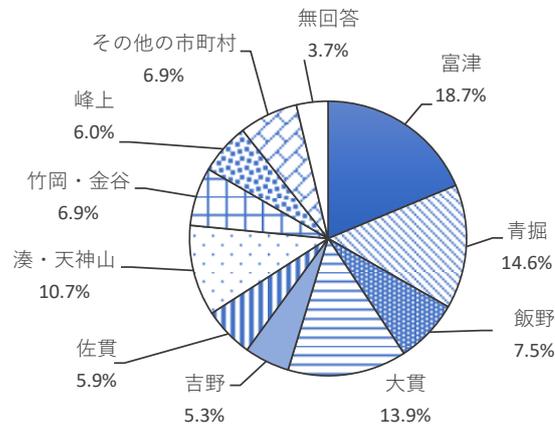


問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。

(○は1つだけ)

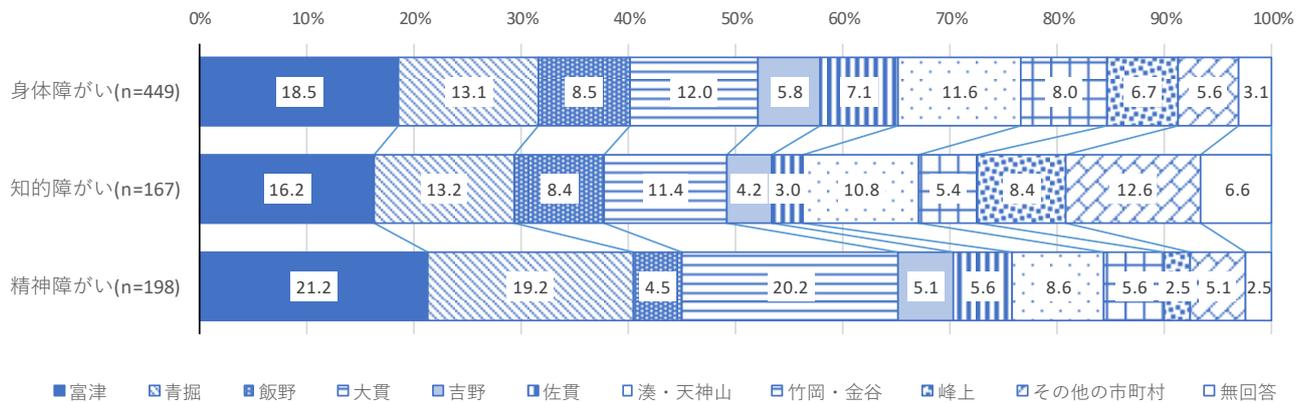
住まいの地区については、「富津」が18.7%と最も多く、次いで「青掘」が14.6%となっています。障がい別に見ると、精神障がいでは「富津」「青掘」「大貫」がそれぞれ2割前後となっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】



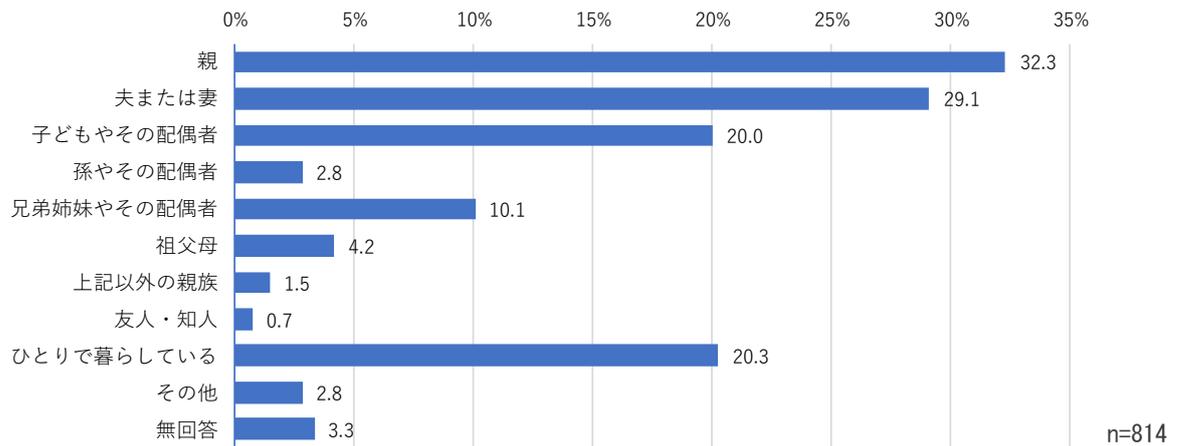
問4 あなたは、現在、誰と生活していますか。

(あてはまるものすべてに○)

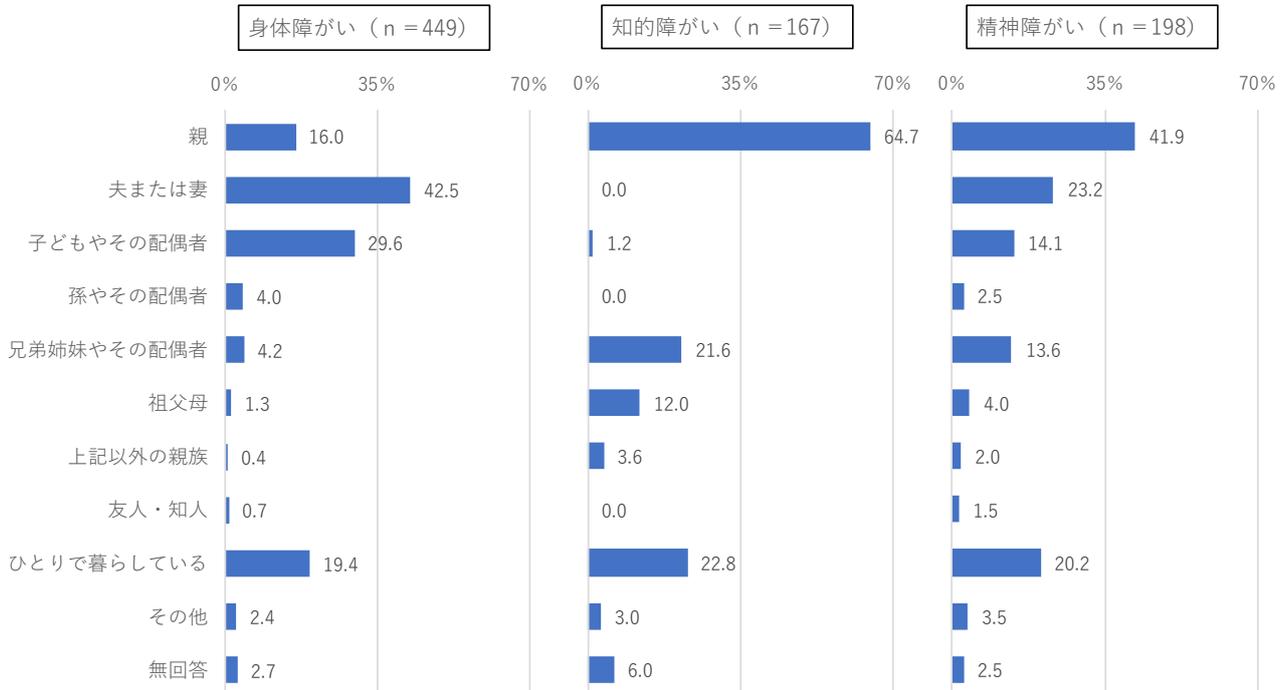
誰と生活しているかについては、「親」が32.3%と最も多く、次いで「夫または妻」が29.1%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいでは「夫または妻」が42.5%と最も多く、知的障がいと精神障がいでは「親」がそれぞれ64.7%と41.9%と最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】

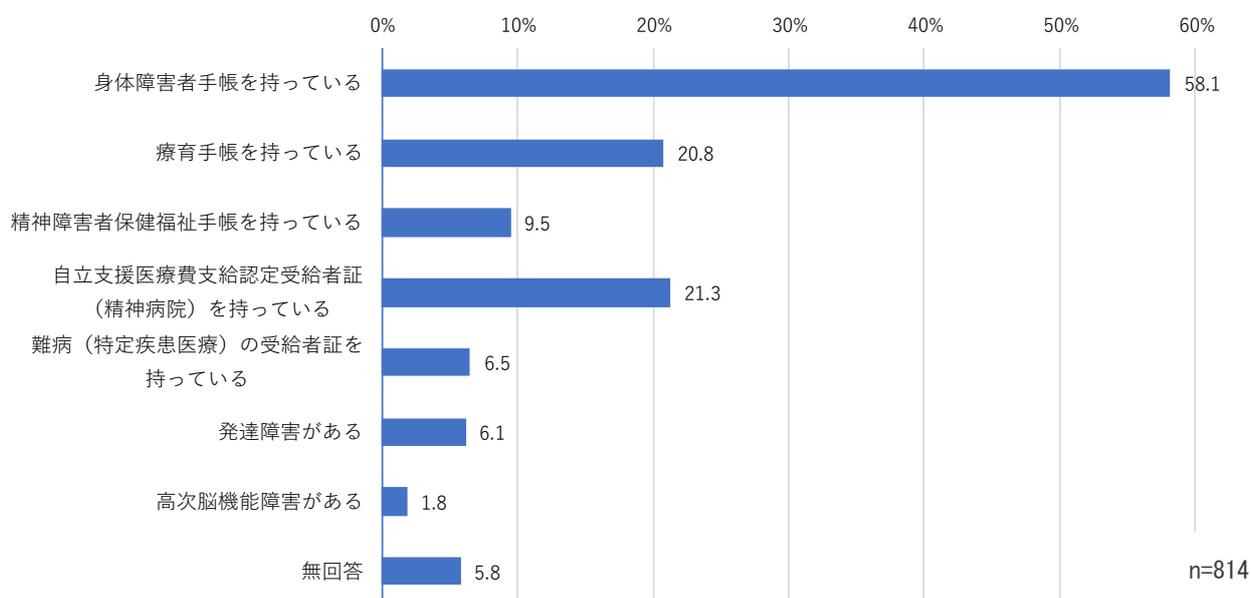


問5 以下の中で、あなたにあてはまるものすべてに○をつけ、障害程度を記入（又は○を付けて）
 ください。また、難病に○をつけた方は病名もご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

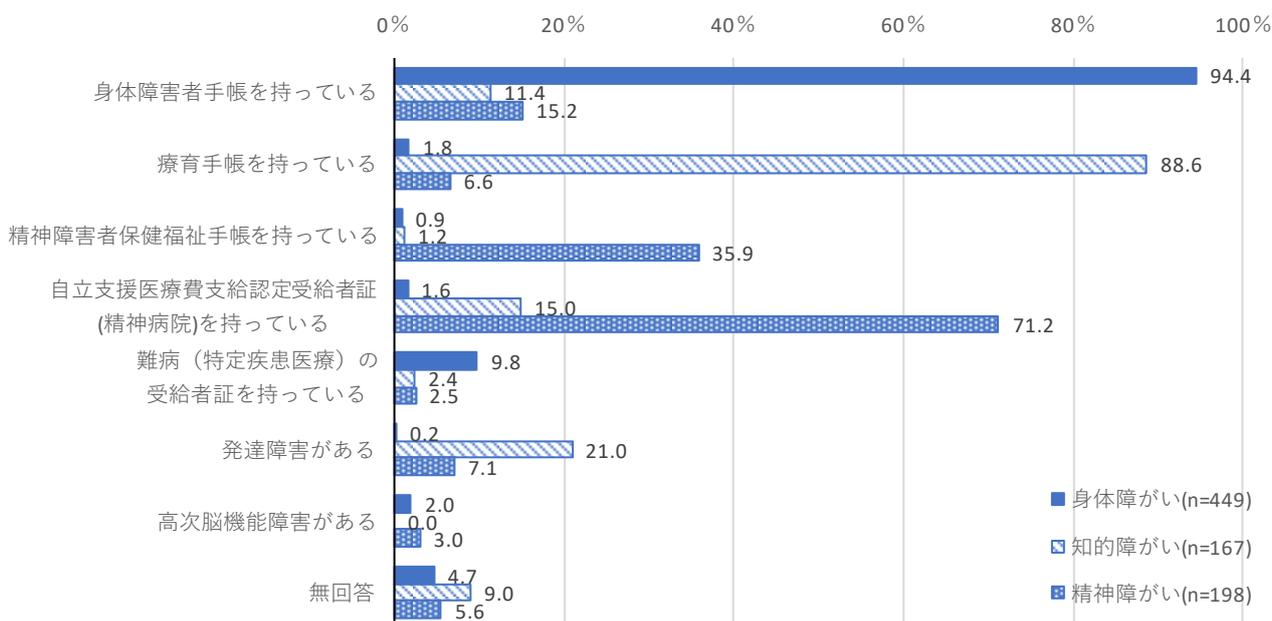
障害者手帳等については、「身体障害者手帳を持っている」が58.1%と最も多くなっています。次いで
 「自立支援医療費支給認定受給者証（精神病院）を持っている」、「療育手帳を持っている」が続いていま
 す。

障がい別に見ると、身体障がいでは「身体障害者手帳を持っている」が94.4%と最も多くなっていま
 す。精神障がいでは「精神障害者保健福祉手帳を持っている」より、「自立支援医療費支給認定受給者証
 （精神病院）を持っている」が35.3ポイント多くなっています。

【全体】



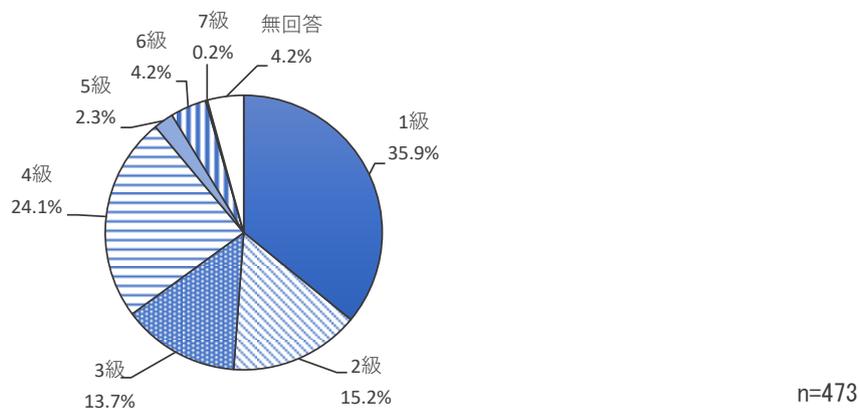
【身体・知的・精神/障がい別】



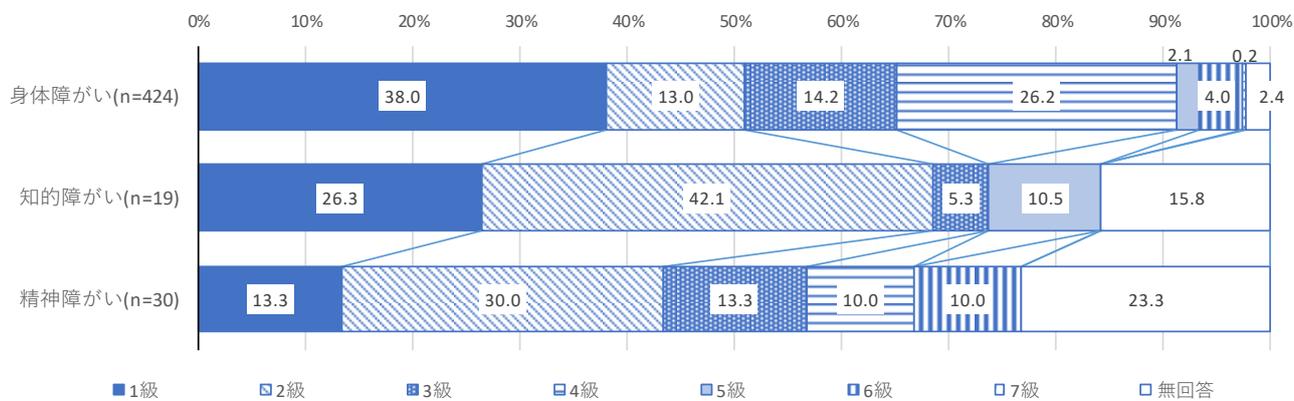
身体障害者手帳を持っている方の等級

身体障害者手帳の等級については、「1級」が35.9%と最も多く、次いで「4級」が24.1%となっています。

【全体】



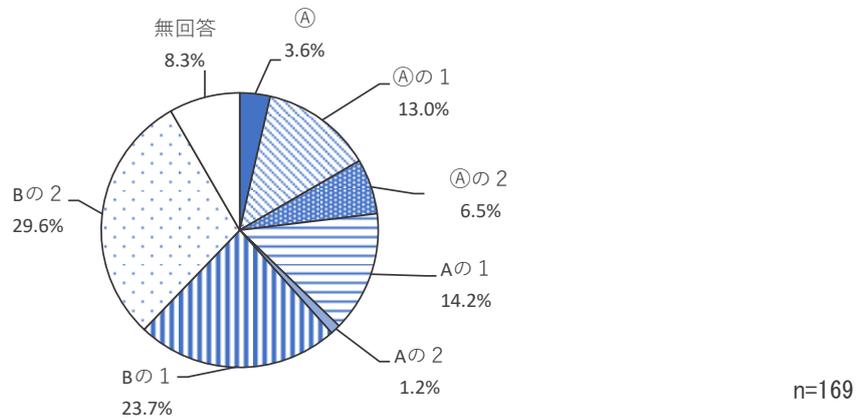
【身体・知的・精神障がい別】



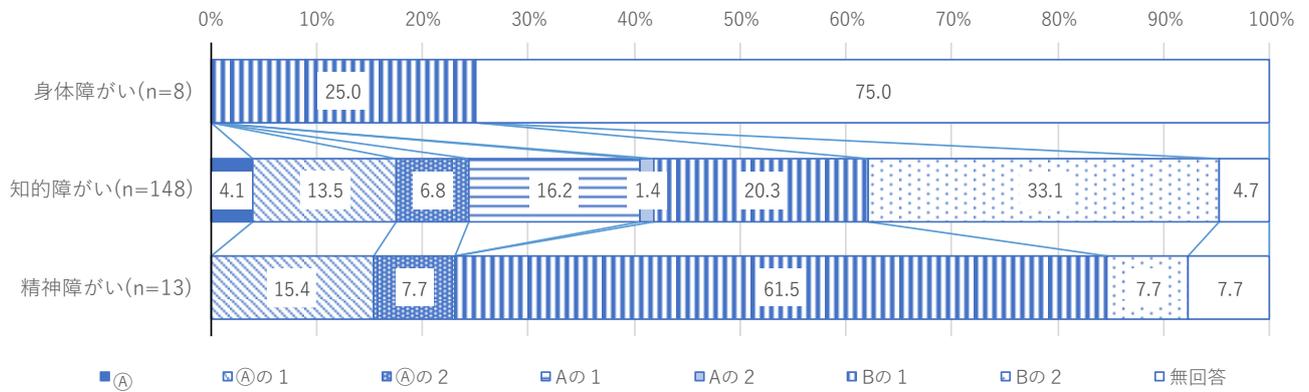
療育手帳を持っている方の等級

療育手帳の等級については、「Bの2」が29.6%と最も多く、次いで「Bの1」が23.7%となっています。

【全体】



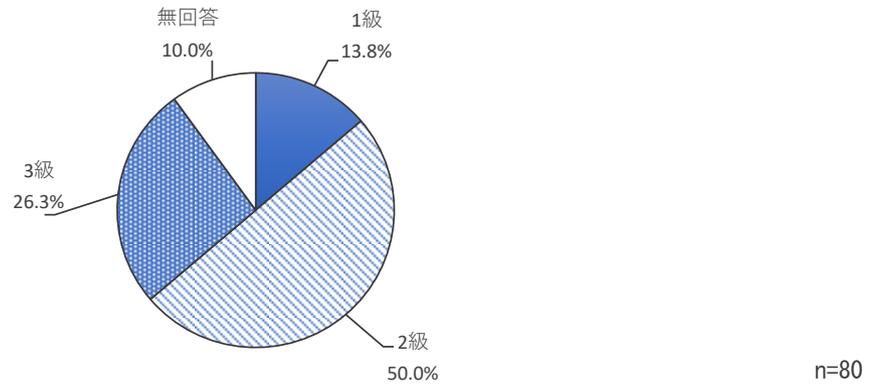
【身体・知的・精神障がい別】



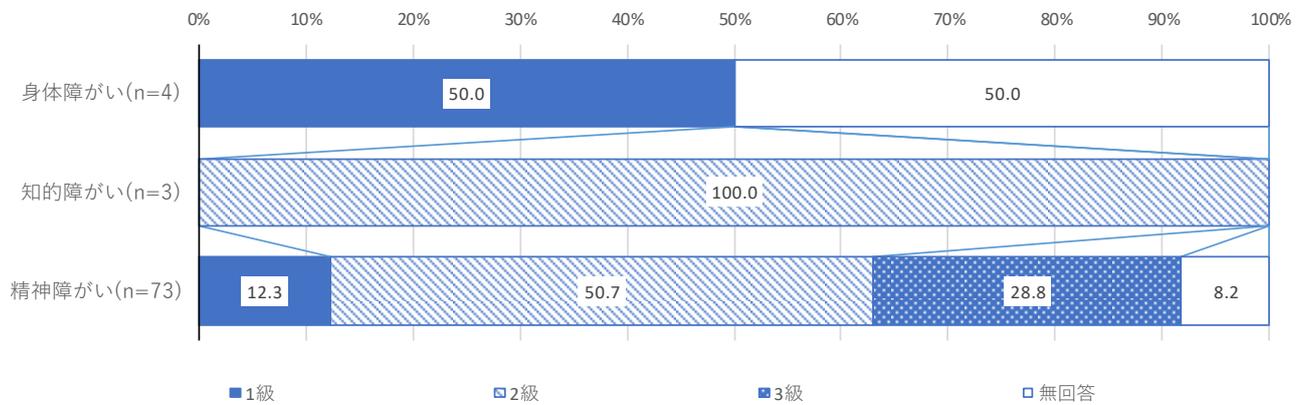
精神障害者保健福祉手帳を持っている方の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級については、「2級」が50.0%と最も多く、次いで「3級」が26.3%、「1級」が13.8%となっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】



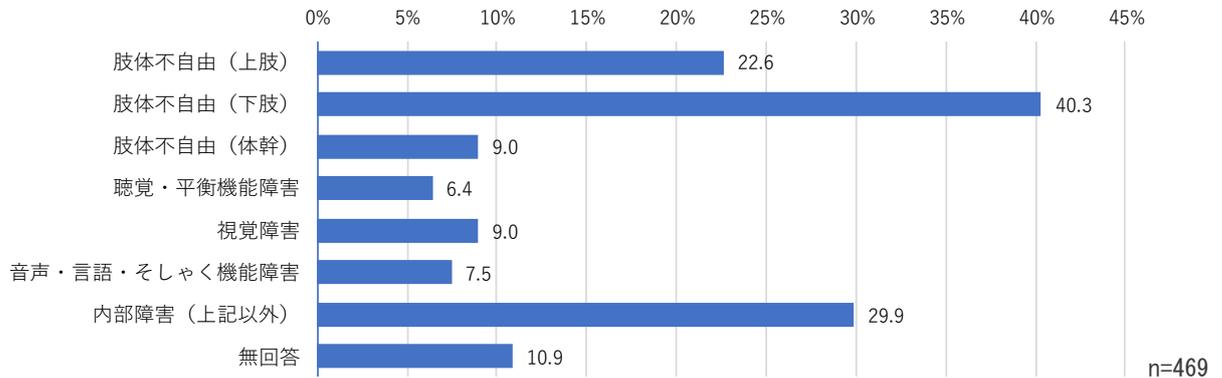
問5で「1. 身体障害者手帳を持っている」を回答した方におたずねします。

問5-1 どのような障がいがありますか。 (あてはまるものすべてに○)

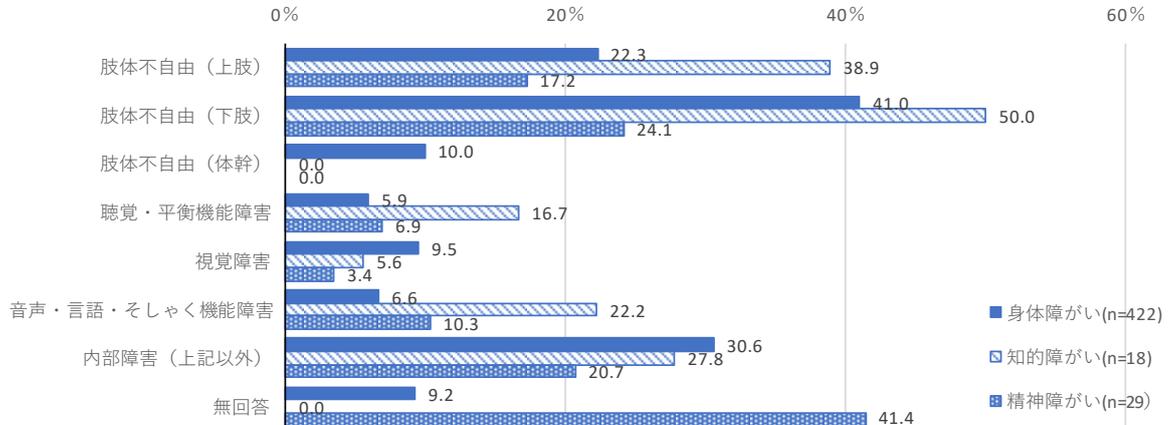
身体障害者手帳の障がいの内容については、「肢体不自由（下肢）」が40.3%と最も多く、次いで「内部障害（上記以外）」が29.9%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいと知的障がいでは「肢体不自由（下肢）」が4割を越えています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



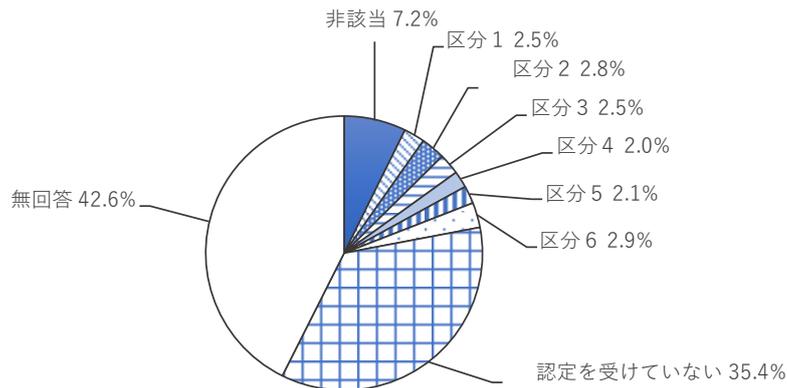
問6 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。

(○は1つだけ)

障害支援区分については、「認定を受けていない」と「非該当」を除くと、「区分6」が2.9%と最も多くなっています。次いで、「区分2」が2.8%となっています。「区分1」から「区分6」は、どの区分も2.0%~2.9%となっており大きな差はありません。区分に該当しない「非該当」は、7.2%となっています。

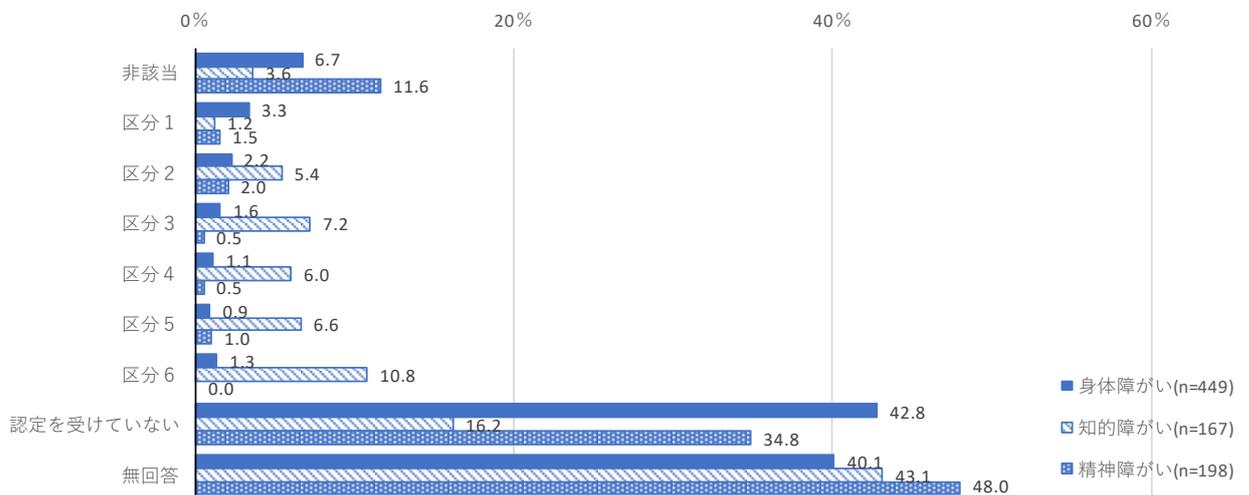
障がい別に見ると、精神障がいでは「非該当」が11.6%と、他の障がいより多くなっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】



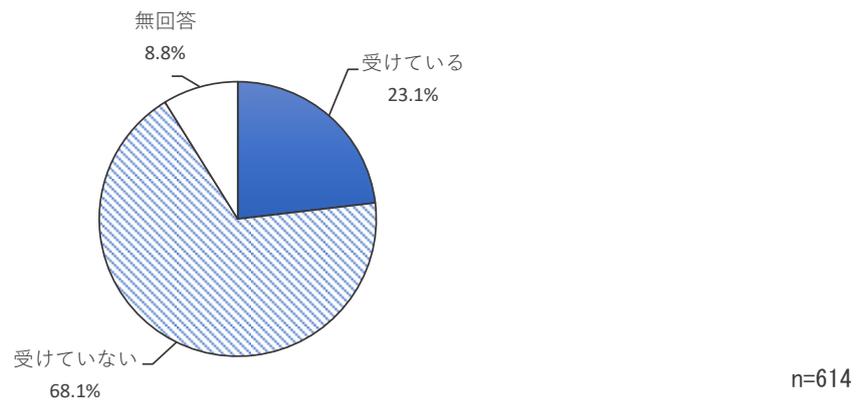
40歳以上の方におたずねします。

問7 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。 (○は1つだけ)

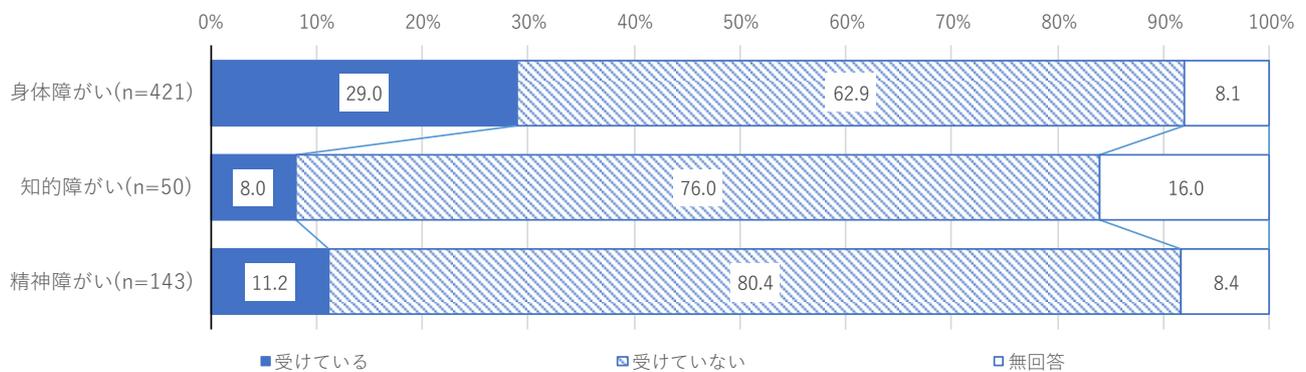
介護保険の要介護認定を受けているかについては、「受けていない」が68.1%と、「受けている」を45ポイント上回っています。

障がい別に見ると、全ての障がいにおいて6割以上が「受けていない」となっています。身体障がいでは約3割が「受けている」となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



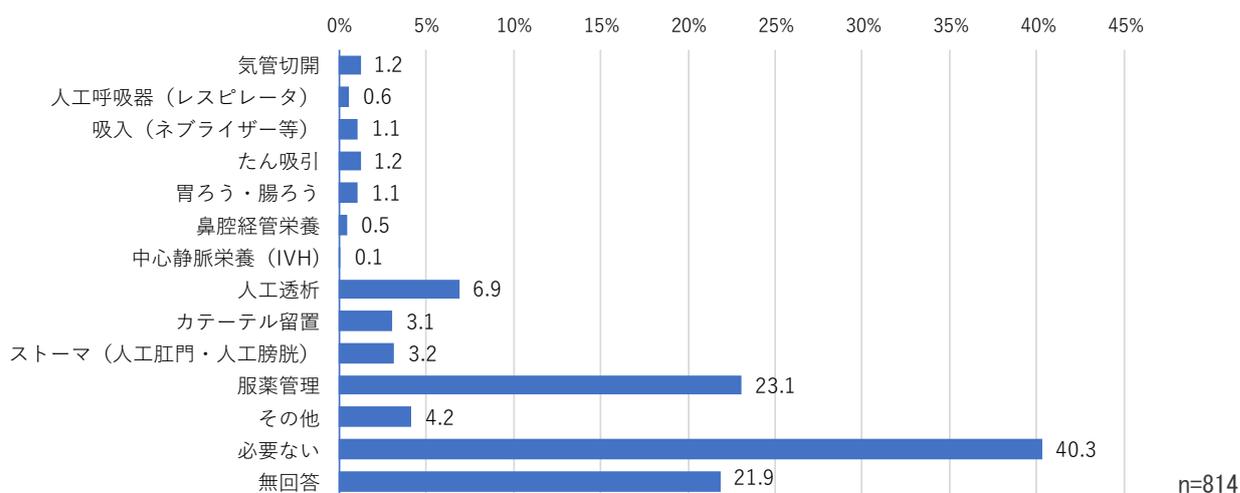
Ⅱ. あなたの健康や医療について

問 8 あなたは、次のような医療ケアを必要としていますか。 (あてはまるものすべてに○)

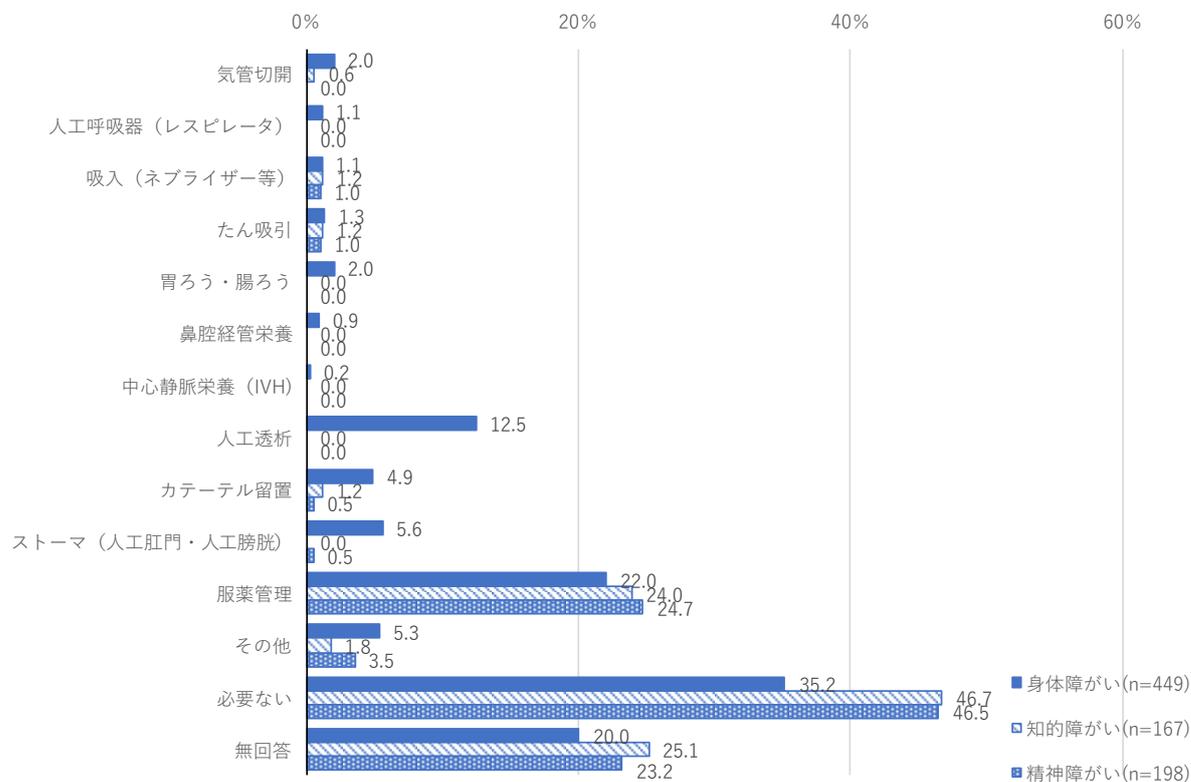
必要としている医療ケアについては、「必要ない」を除くと、「服薬管理」が23.1%と最も多く、次いで、「人工透析」が6.9%となっています。

障がい別に見ると、知的障がいと精神障がいでは「服薬管理」が多くなっています。身体障がいでは「服薬管理」が最も多く、次いで「人工透析」「ストーマ（人工肛門・人工膀胱）」が多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



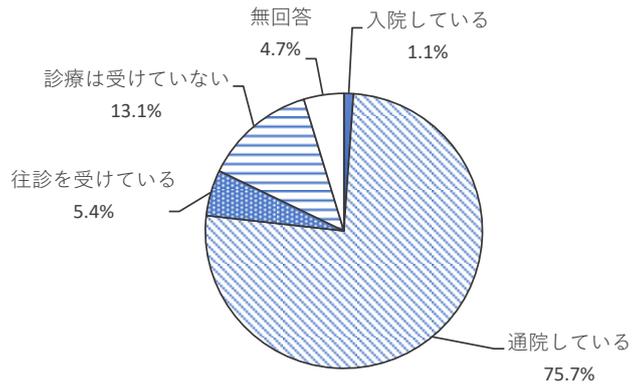
問9 あなたは、現在、医師による診療を受けていますか。

(○は1つだけ)

現在、医師による診療を受けているかについては「通院している」が75.7%と最も多く、次いで「診療は受けていない」が13.1%と多くなっています。

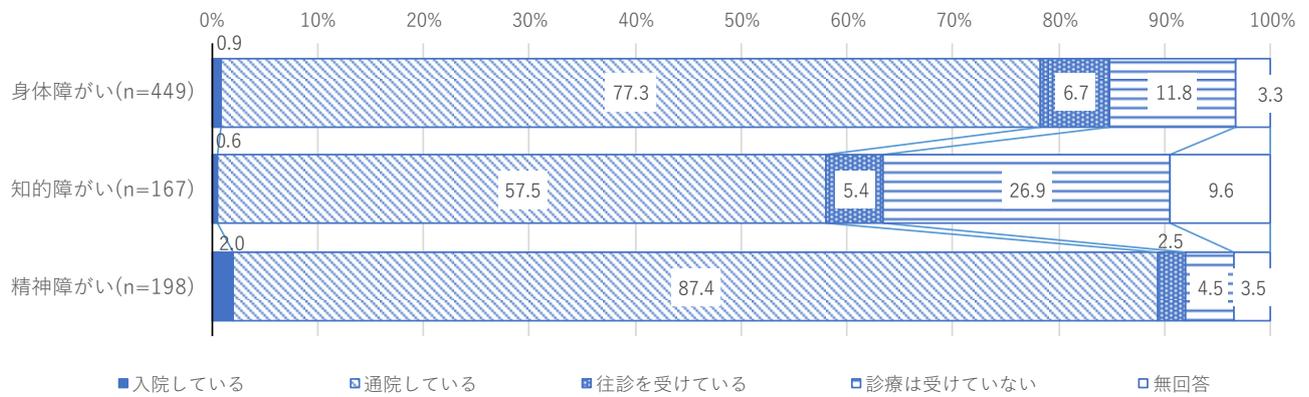
障がい別に見ると、全ての障がいでは「通院している」が最も多くなっており、精神障がいでは87.4%となっています。知的障がいでは「診療は受けていない」が26.9%となっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】



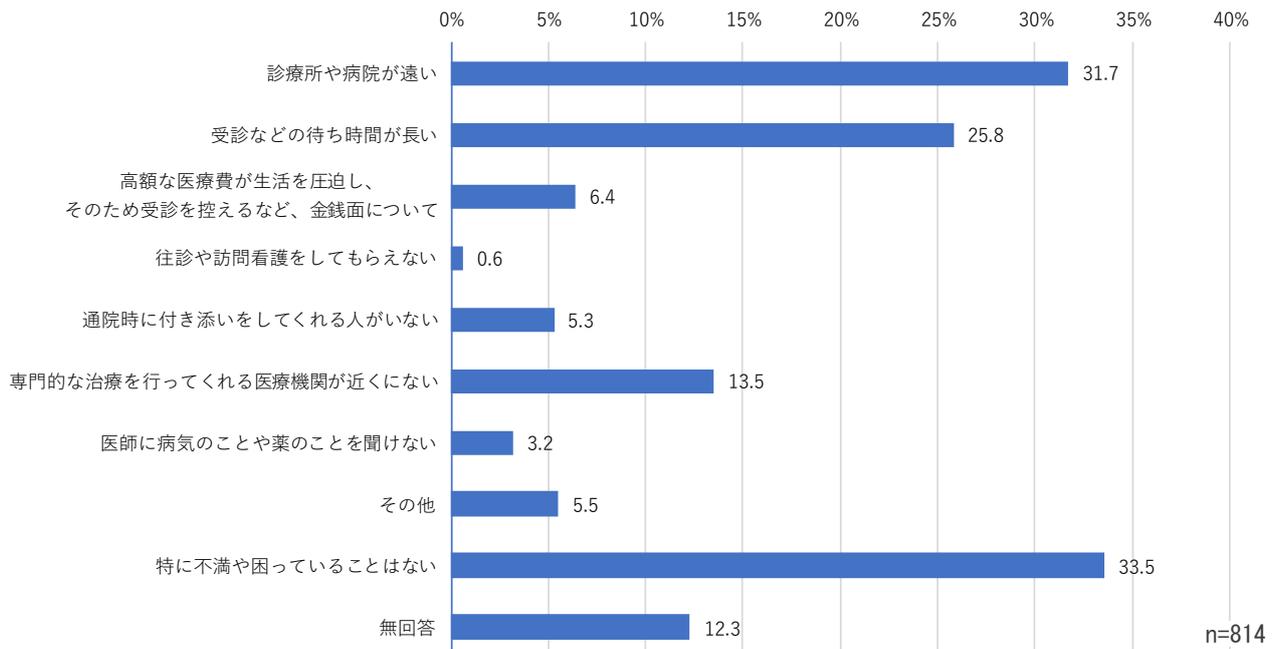
問 10 あなたは、医療について困っていることなんですか。

(○は1つだけ)

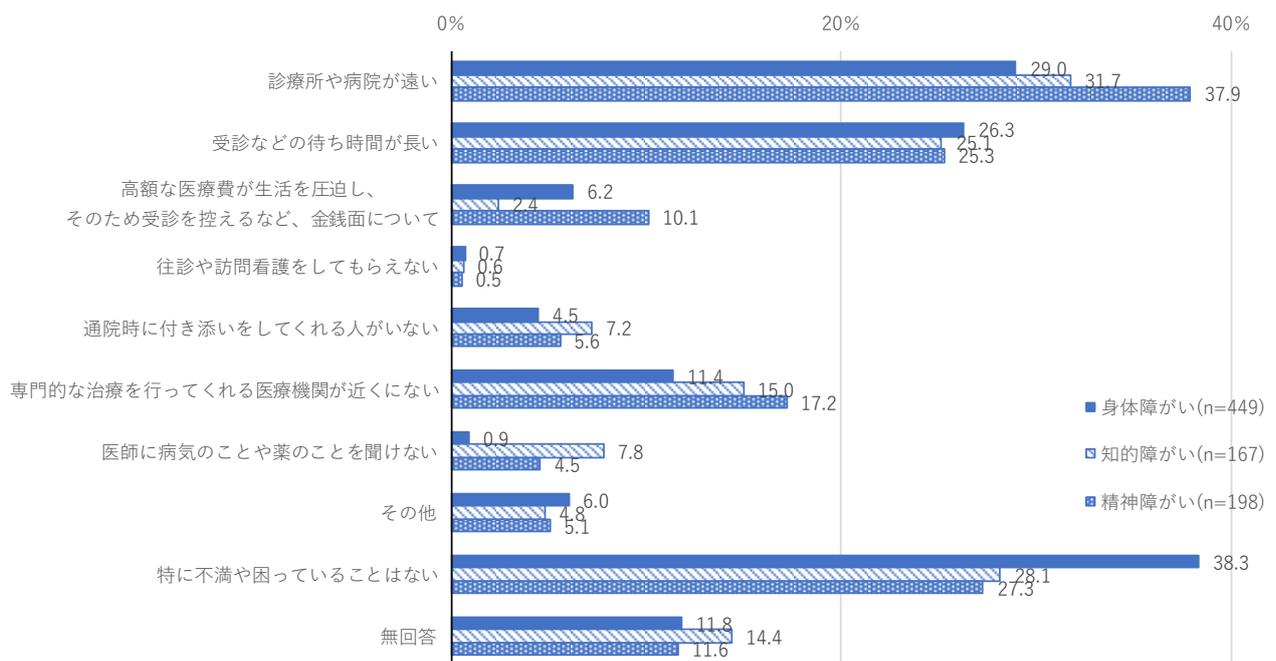
医療について困っていることでは「特に不満や困っていることはない」が 33.5%と最も多く、続いて「診療所や病院が遠い」が 31.7%、「受診などの待ち時間が長い」が 25.8%と多くなっています。

障がい別に見ると、精神障がいでは「診療所や病院が遠い」が 37.9%、「専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない」が 17.2%と、他の障がいより多くなっています。身体障がいでは「特に不満や困っていることはない」が 38.3%と突出して多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



Ⅲ. 介助の状況について

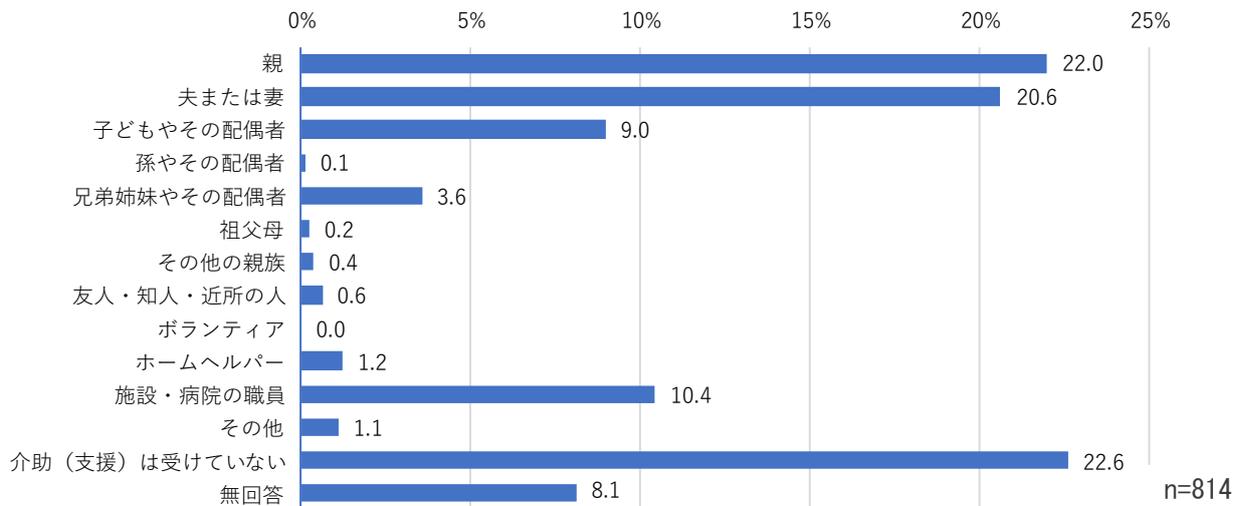
問 11 あなたの主な介助者（支援者）とは、どなたですか。

（○は1つだけ）

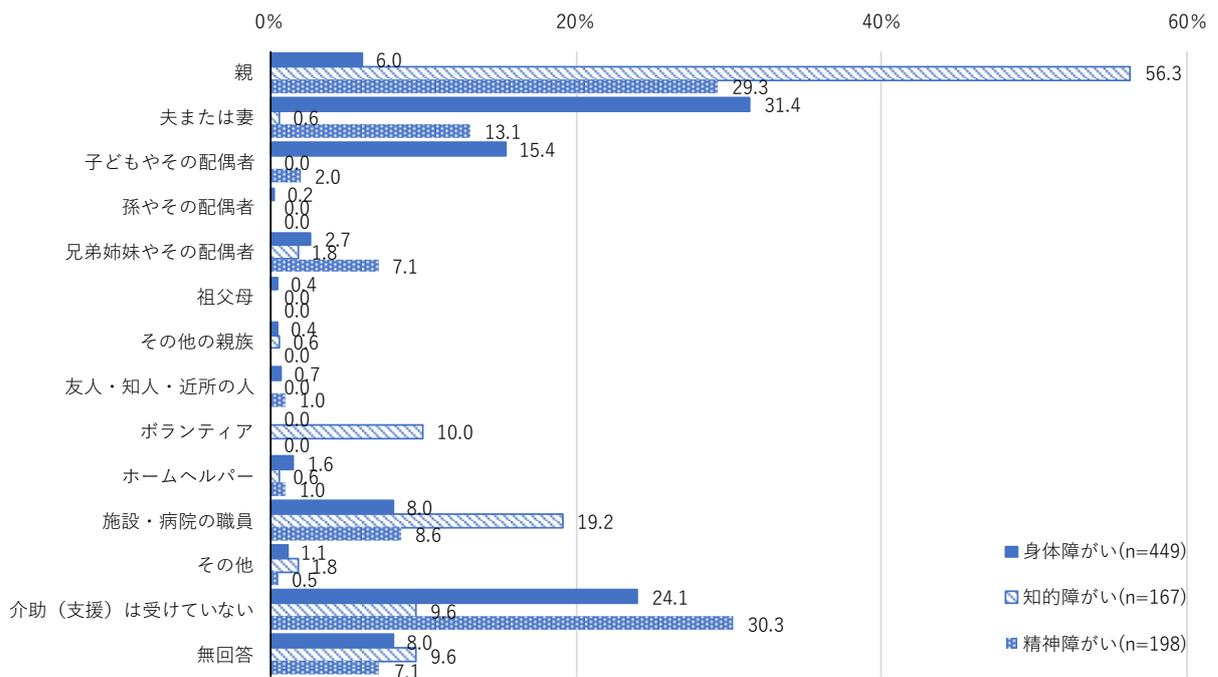
主な介助者（支援者）については、「介助（支援）は受けていない」が22.6%で最も多く、次いで「親」が22.0%、「夫または妻」が20.6%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいの24.1%と精神障がいの30.3%は、「介助（支援）は受けていない」となっています。知的障がいでは「親」が56.3%と最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



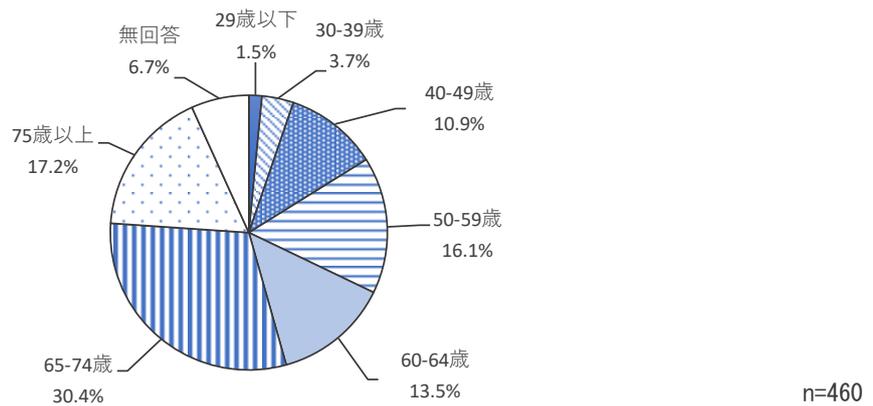
問 11 で「1.」～「8.」を回答した方におたずねします。

問 11-1 あなたを主に介助している人は何歳ですか。(○は1つだけ)

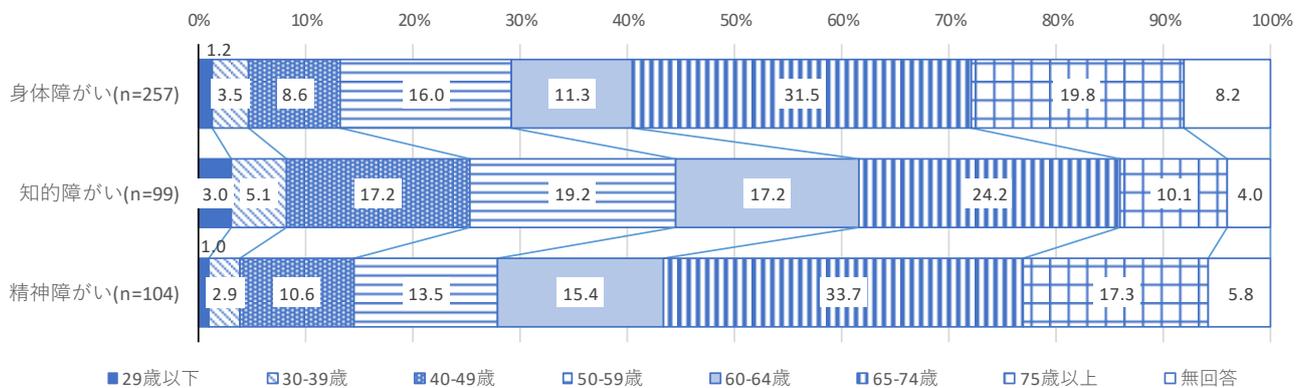
介助をしている人の年齢については、「65-74歳」が30.4%と最も多く、次いで、「75歳以上」が17.2%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいの介助者の6割が60歳以上となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



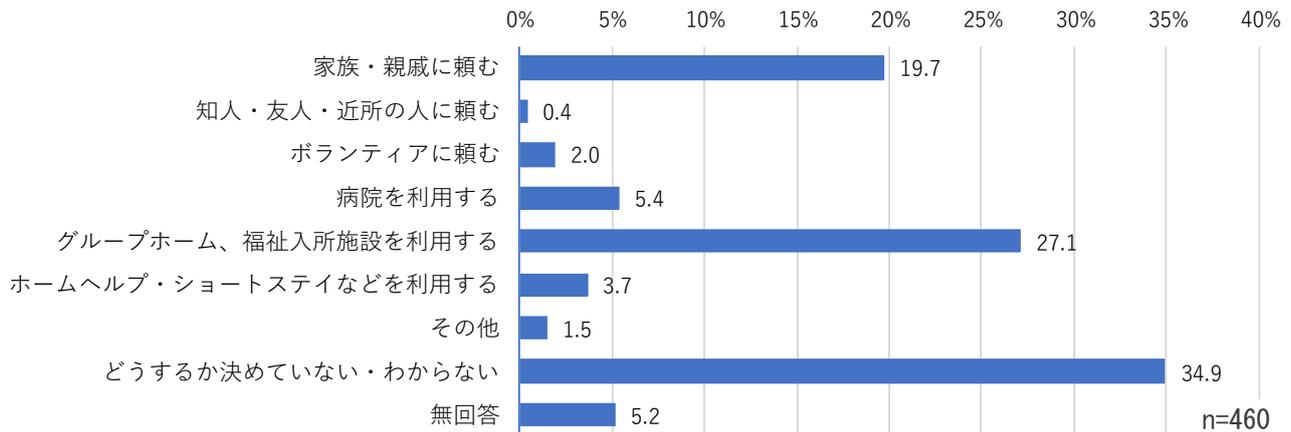
問 11-2 あなたを主に介助している人が介助できなくなった場合、どのようにしたいと思いますか。

(○は1つだけ)

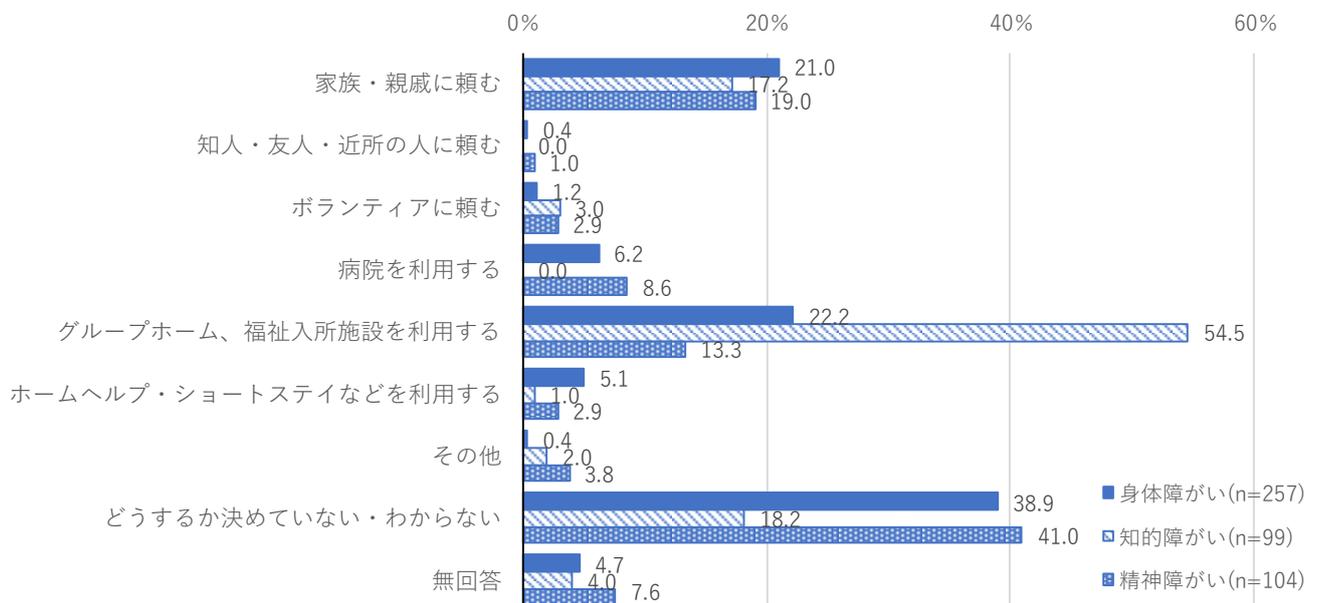
介助している人が介助できなくなった場合については「どうするか決めていない・わからない」が34.9%と最も多く、次いで「グループホーム、福祉入所施設を利用する」が27.1%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは約4割が「どうするか決めていない・わからない」となっています。知的障がいの54.5%は「グループホーム、福祉入所施設を利用する」となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



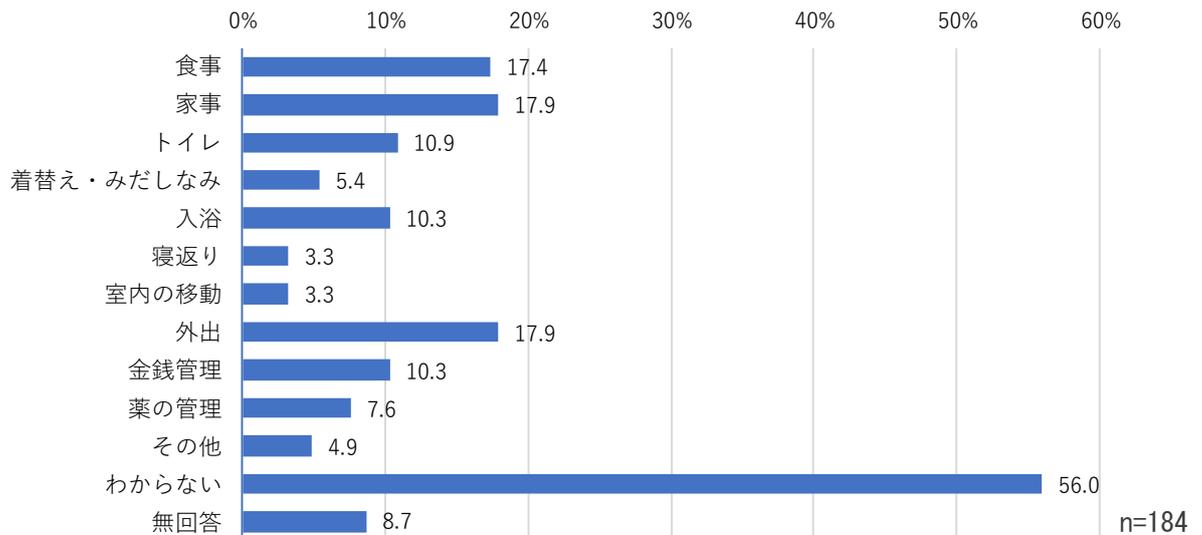
問 11 で「13. 介助（支援）は受けていない」と回答した方におたずねします。

問 11-3 将来必要と思われる介助はどのようなことですか。 （あてはまるものすべてに○）

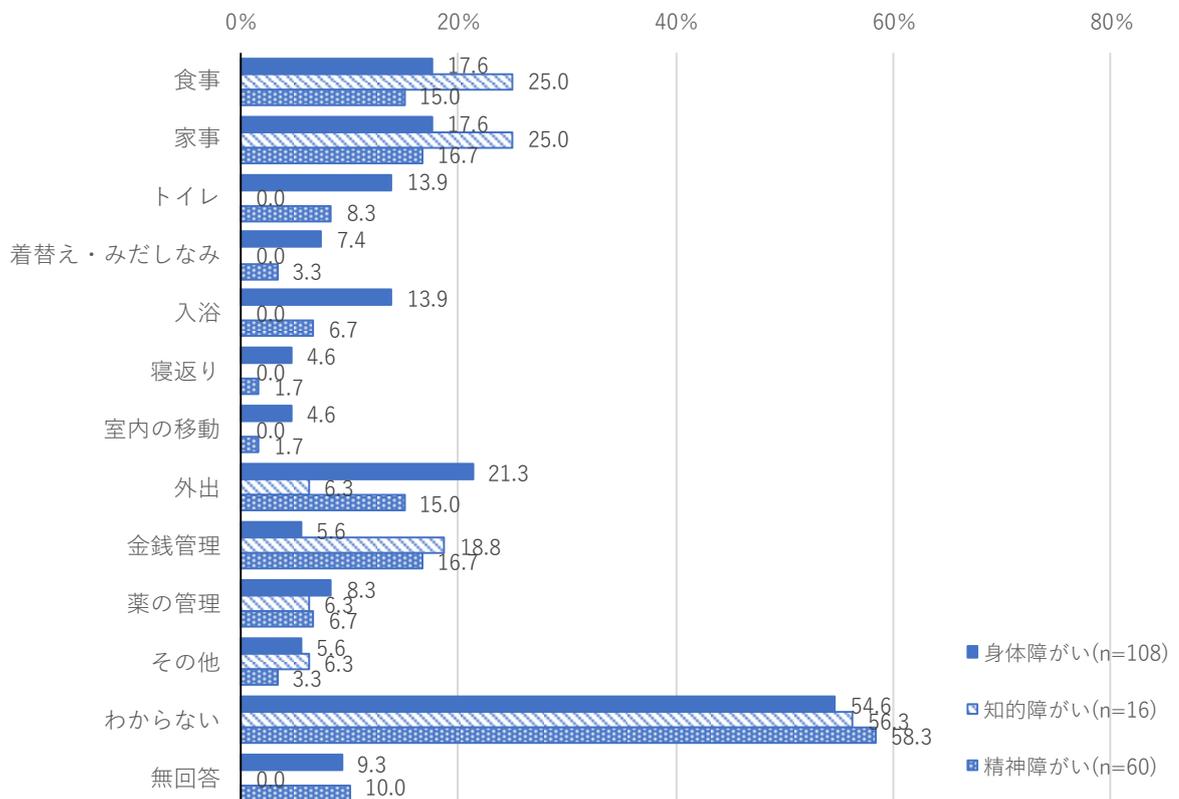
将来必要と思われる介助については、「わからない」が 56.0%と最も多く、次いで「家事」と「外出」が 17.9%、「食事」が 17.4%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいでは「外出」、知的障がいでは「食事」「家事」、精神障がいでは「家事」「金銭管理」が多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】

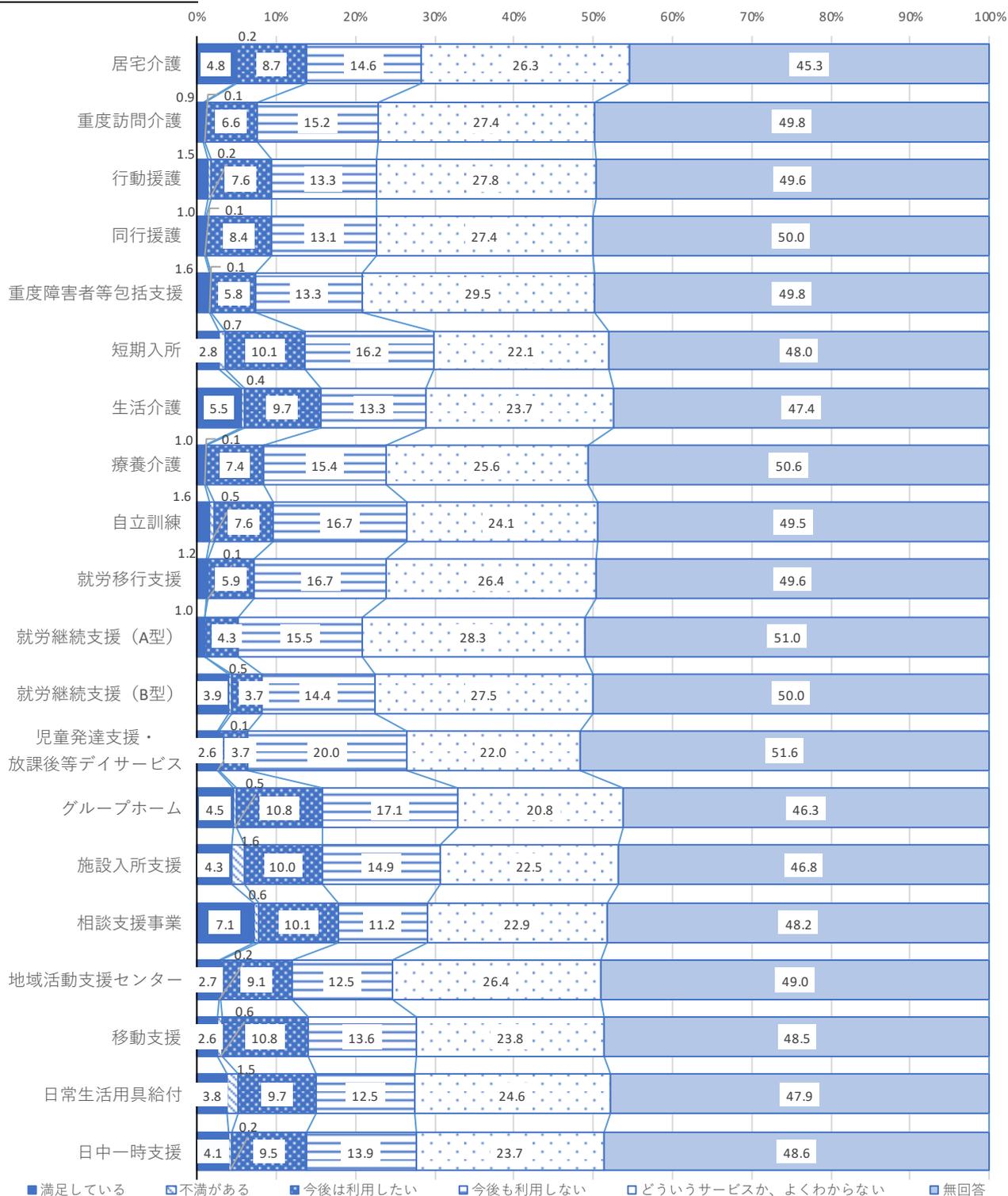


IV. サービスの利用について

問 12 富津市では、以下のような障害福祉サービスを提供しています。それぞれの利用状況について、あてはまるものを回答してください。

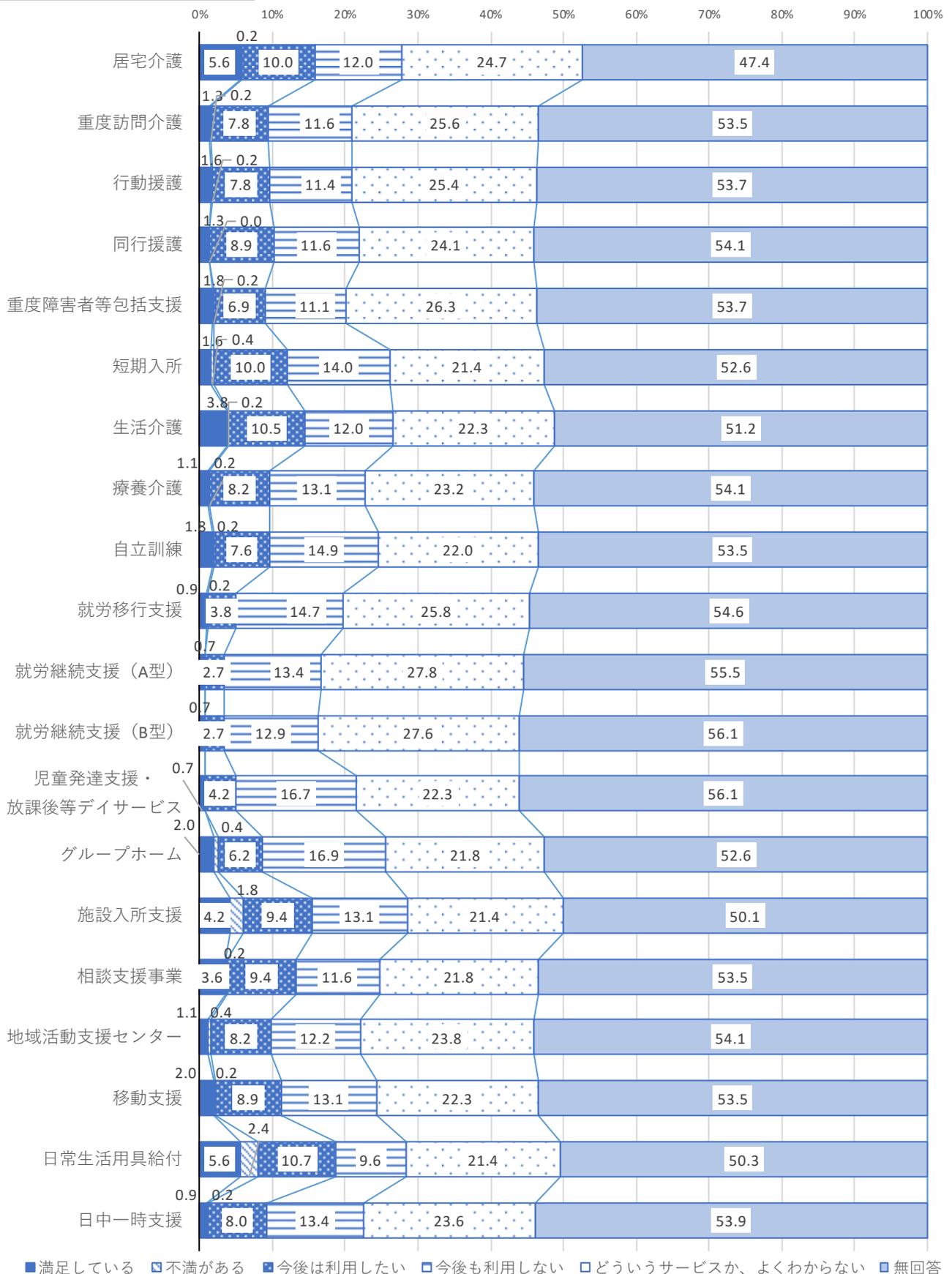
(あてはまる1つに○をつけてください)

全体 (n=814)

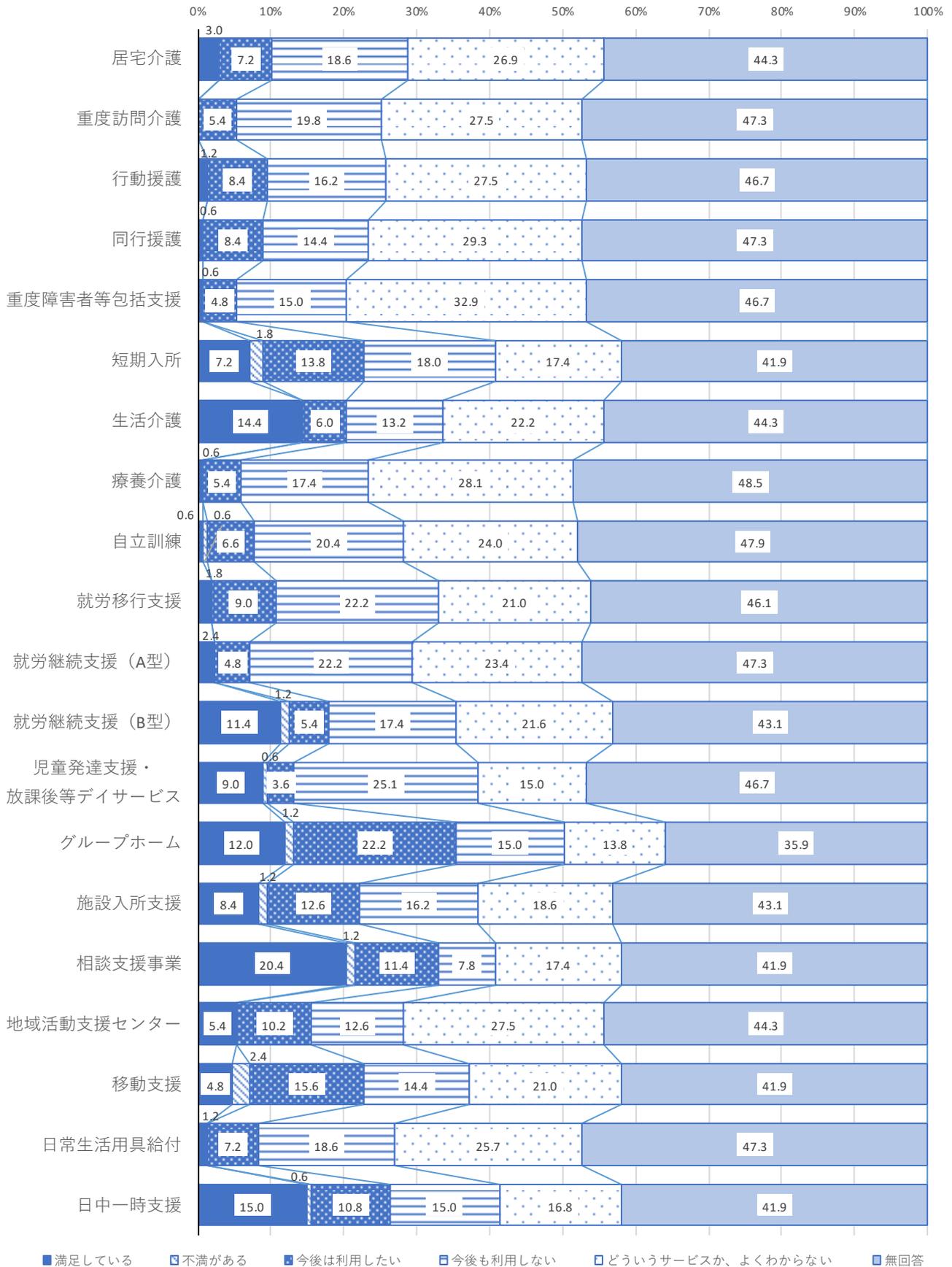


【身体・知的・精神/障がい別】

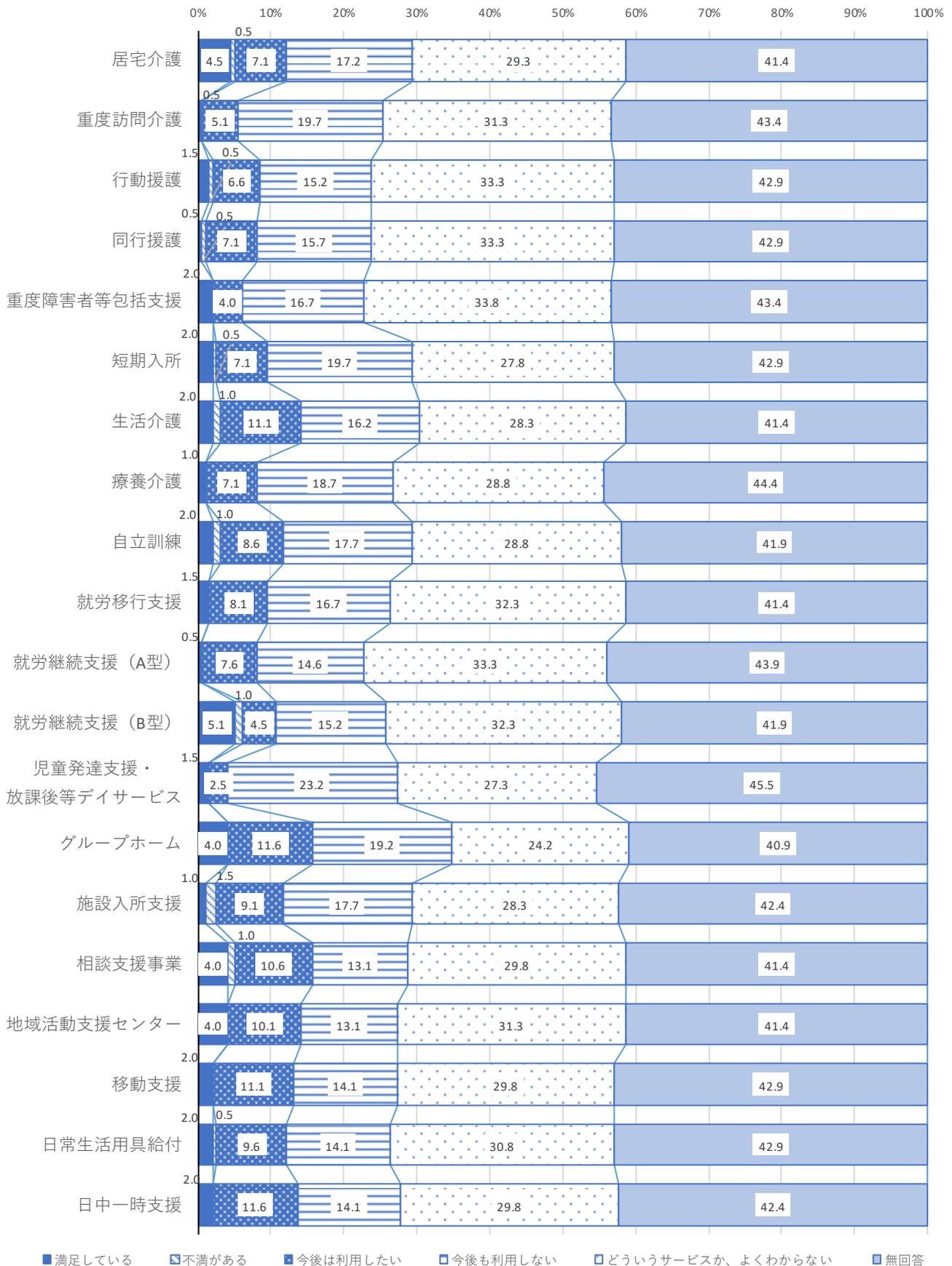
身体障がい (n=449)



知的障がい (n = 167)



精神障がい (n = 198)

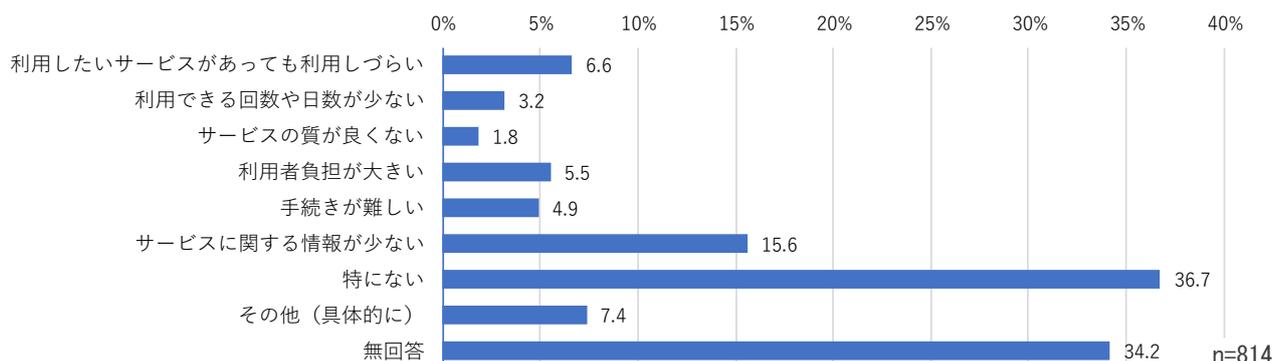


問 13 サービス利用に関して不満や困っていることがありますか。 (あてはまるものすべてに○)
 また、「8. その他」を選んだ方は具体的にご記入ください。

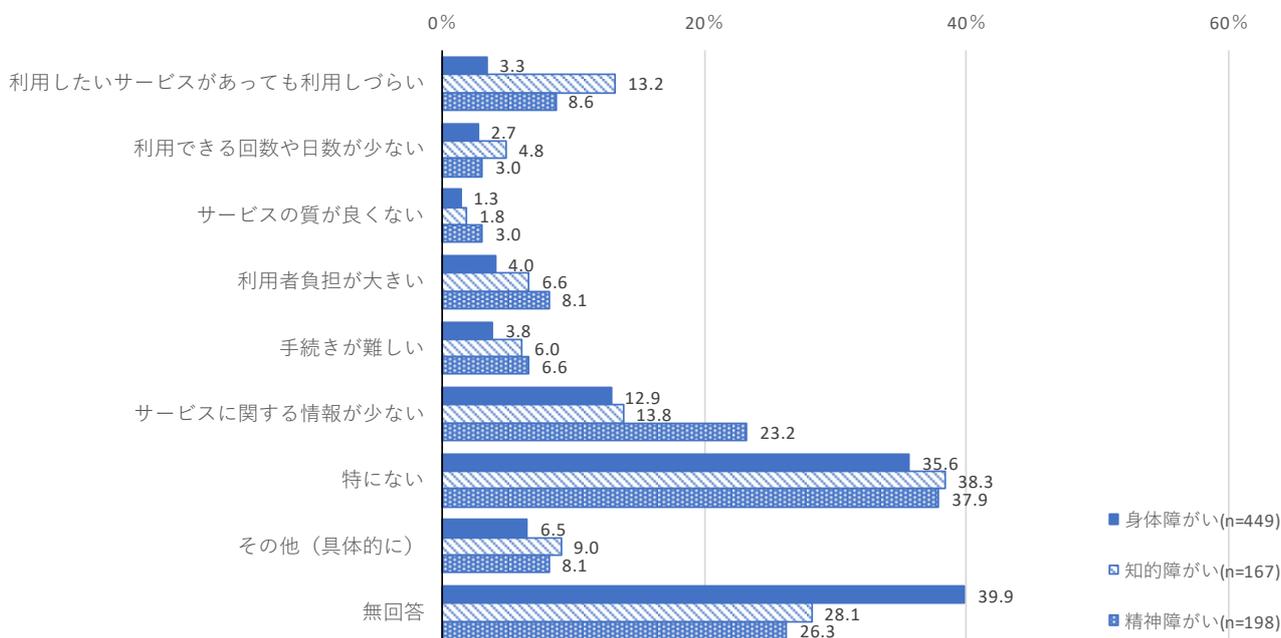
サービスについての不満や困りごとについては、「特にない」が 36.7%と最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が 15.6%と多くなっています。

障がい別に見ると、「特にない」を除き、全ての障がいで「サービスに関する情報が少ない」が最も多くなっており、知的障がいでは 13.8%、精神障がいでは 23.2%となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



【「8. その他」を選んだ方の主な内容】

54件の記載がありました。

主な記載内容	類似 件数
障がい福祉サービスの内容が分からない	14件
障がい福祉サービスを利用したことがないので分からない	7件
経済的な負担が大きい	4件
サービスの内容についての要望	4件
障がい福祉サービスの情報提供の要望	4件
障がい福祉サービスを利用して感じたこと	3件
障がい福祉サービスを利用する際の移動や家族への負担がかかる	3件
急な用事の時に、対応してもらえない	3件
利用の際の支援員とのコミュニケーションが難しい	2件
利用したい障がい福祉サービスが対象外のため利用できない	2件
利用しているが、利用できる回数が少ない	2件
サービスの利用を考えている時に相談できる相手がいない。	2件
障がい福祉サービスを受けたくない、利用する気がない	2件
障がい福祉サービスの施設が少ない	2件
サービスを土日祝でも利用できるようにしてほしい	2件
支援員のスキル不足	

※意見1件の場合は件数を表記していません。また、回答者によっては複数の意見があるため、回答人数と意見の件数の合計は一致しません。

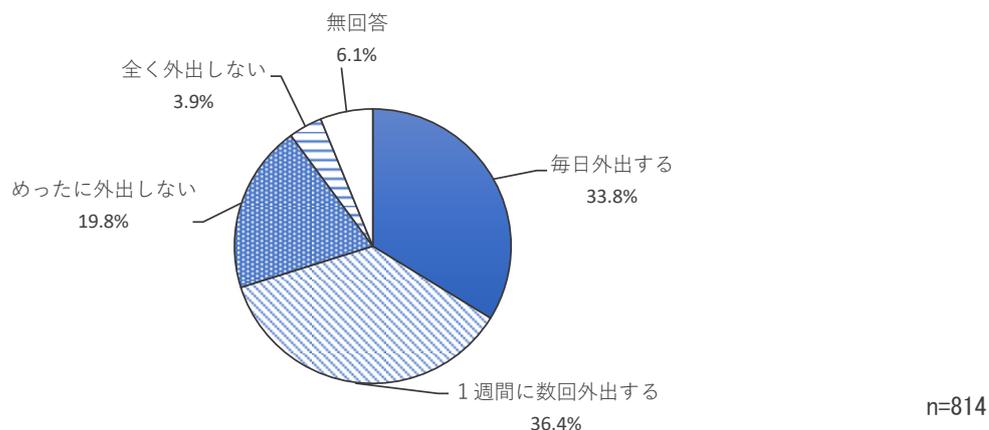
V. 日中活動や就学・就労について

問 14 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。 (○は1つだけ)

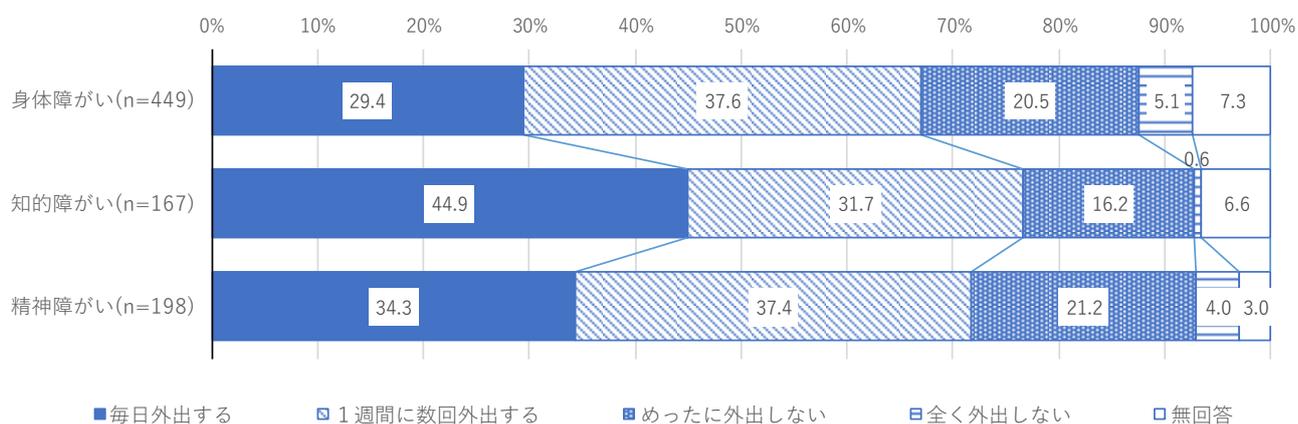
外出をする頻度については、「1週間に数回外出する」が36.4%と最も多く、次いで「毎日外出する」が33.8%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「1週間に数回外出する」が最も多くなっており、知的障がいでは「毎日外出する」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



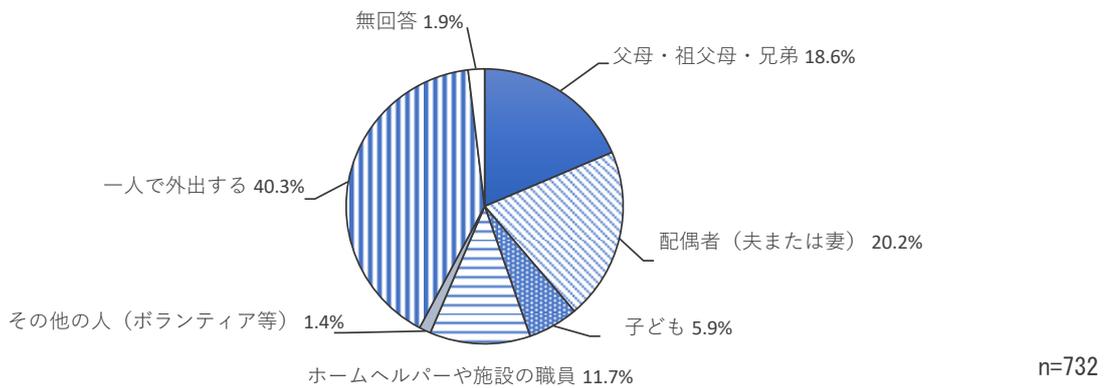
問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

14-1 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。 (○は1つだけ)

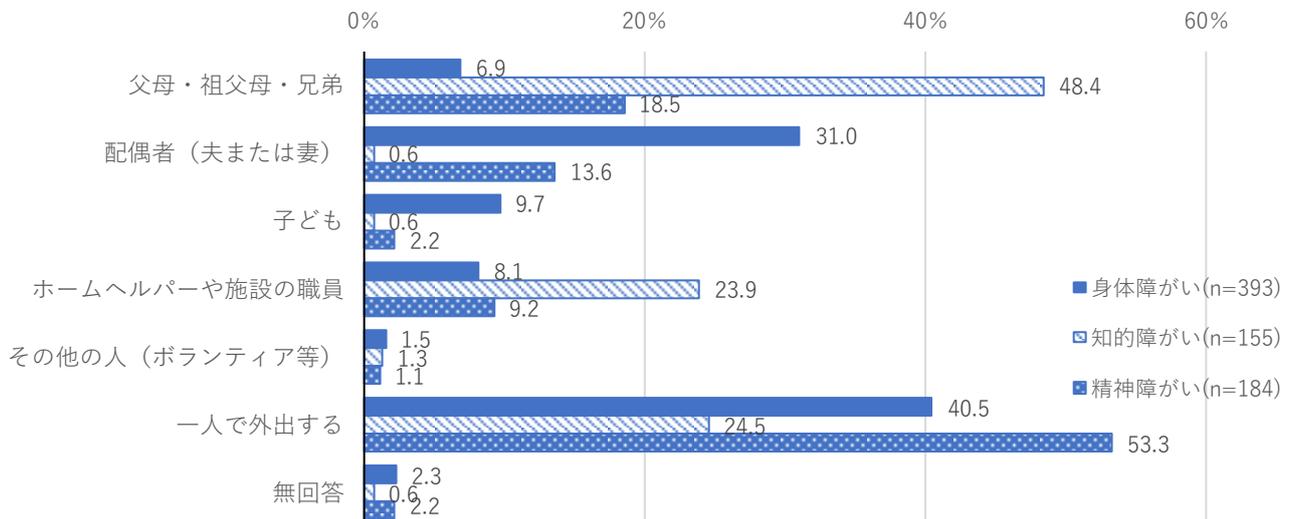
外出の際の主な同伴者については、「一人で外出する」が40.3%と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟」が18.6%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「一人で外出する」が最も多くなっていますが、知的障がいでは「父母・祖父母・兄弟」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

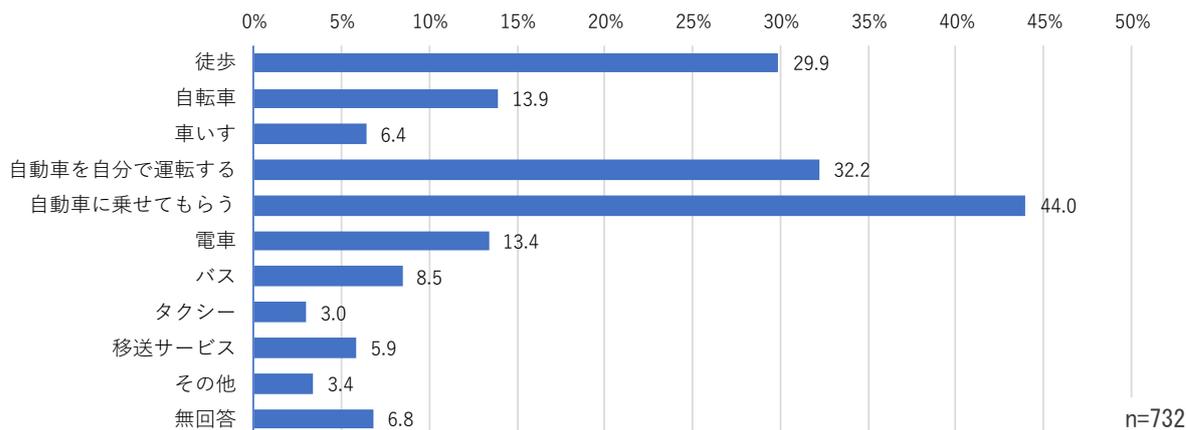
問 14-2 あなたの主な外出方法は何ですか。

(利用の多い3つに○)

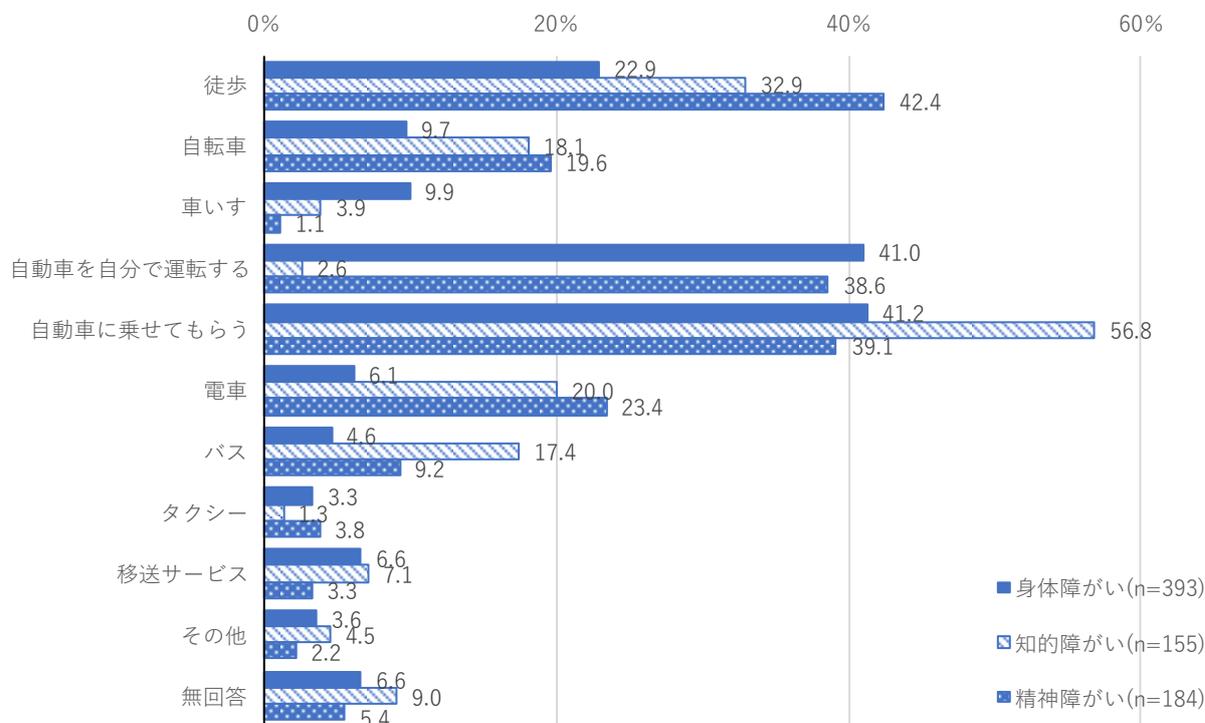
外出の方法については「自動車に乗せてもらう」が44.0%と最も多く、次いで「自動車を自分で運転する」が32.2%、「徒歩」が29.9%となっています。

障がい別に見ると、約4割の身体障がいと精神障がいでは「自動車を自分で運転する」となっています。知的障がいでは「自動車に乗せてもらう」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



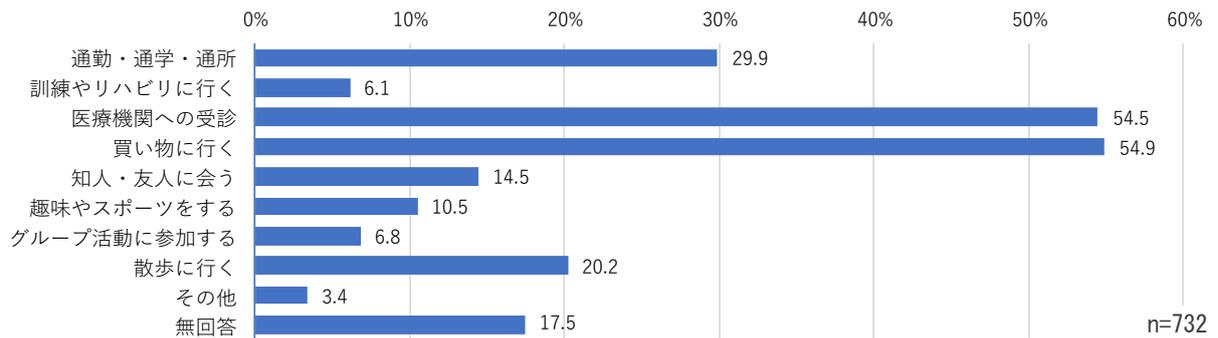
問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

問 14-3 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。 (あてはまるものすべてに○)

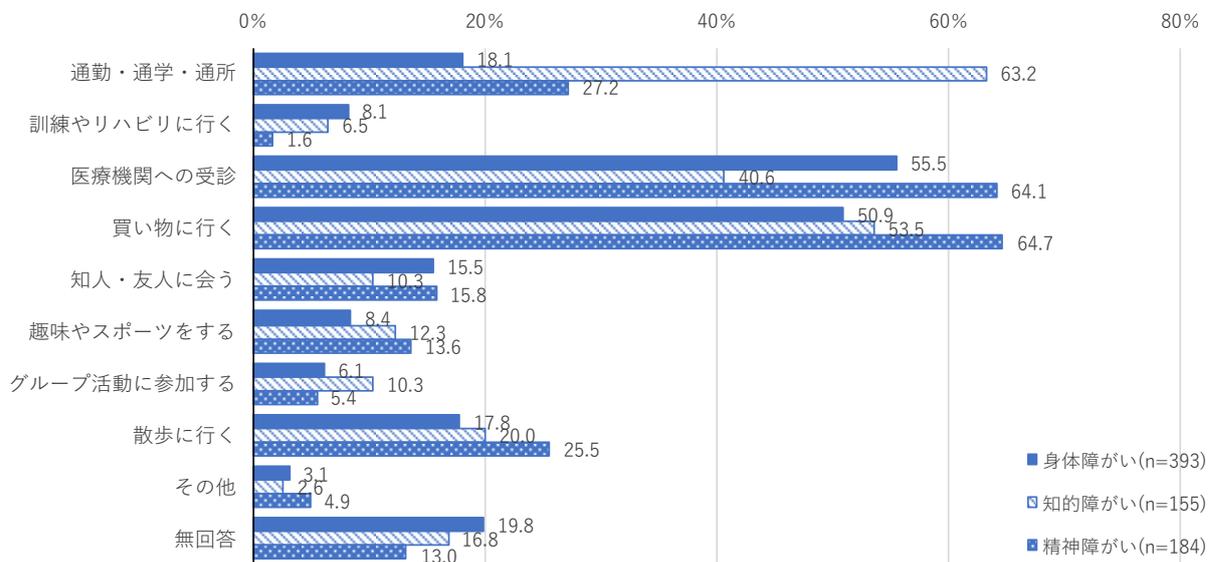
外出の目的については、「買い物に行く」が 54.9%と最も多く、次いで「医療機関への受診」が 54.5%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは、「通勤・通学・通所」が 63.2%、精神障がいでは「買い物に行く」が 64.7%、「医療機関への受診」が 64.1%と多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



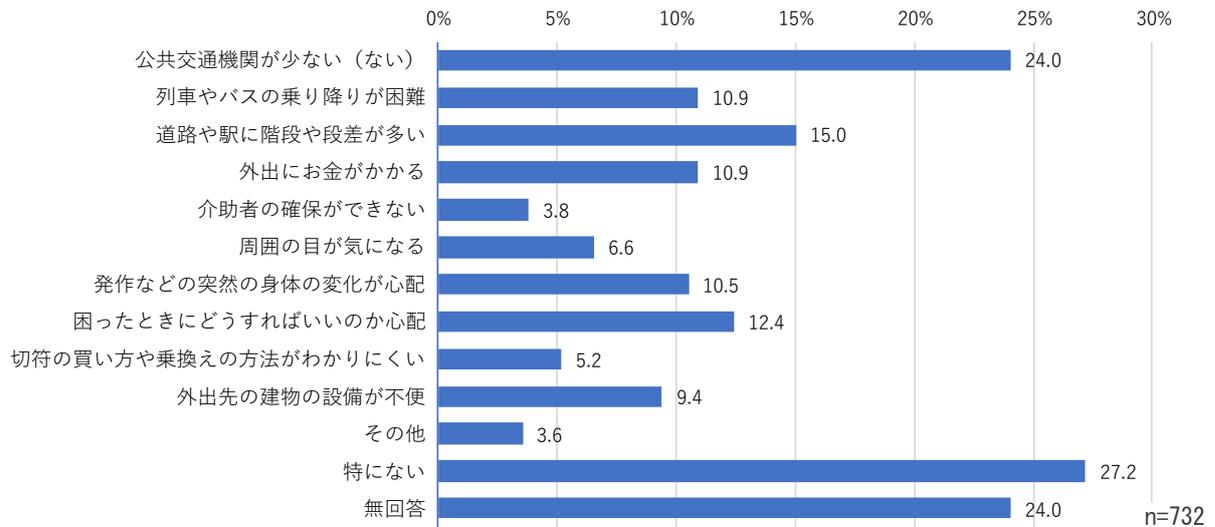
問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

問 14-4 外出するときに困ることは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

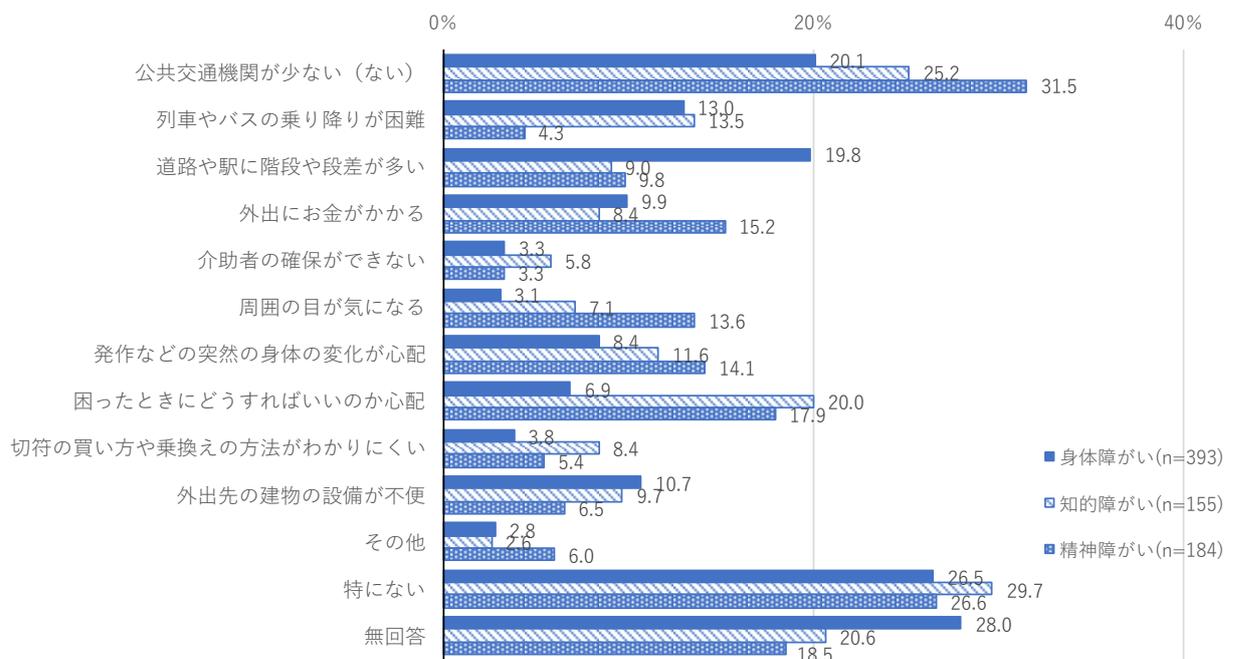
外出するときに困ることでは「特にない」が 27.2%と最も多く、次いで「公共交通機関が少ない (ない)」が 24.0%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと知的障がいでは「特にない」が最も多くなっています。精神障がいでは「公共交通機関が少ない (ない)」が 31.5%になっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



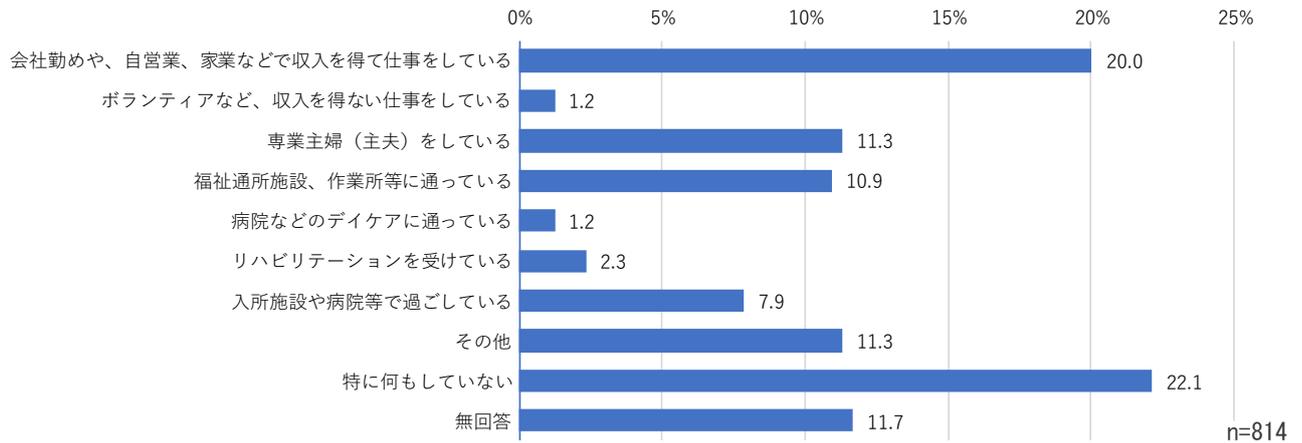
問 15 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

(○は1つだけ)

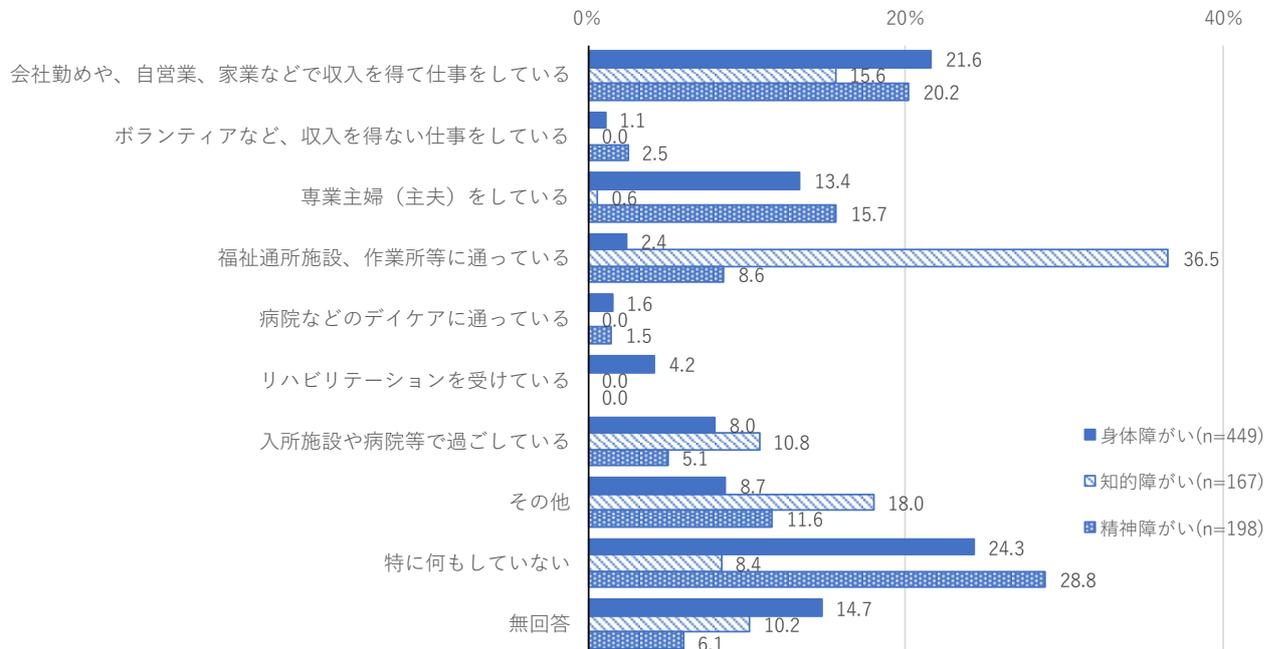
平日の日中をどのように過ごしているかについては、「特に何もしていない」が22.1%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が20.0%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「特に何もしていない」が最も多くなっていますが、知的障がいでは「福祉通所施設、作業所等に通っている」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



問 15 で「1.」以外を回答した、18 歳以上の方におたずねします。

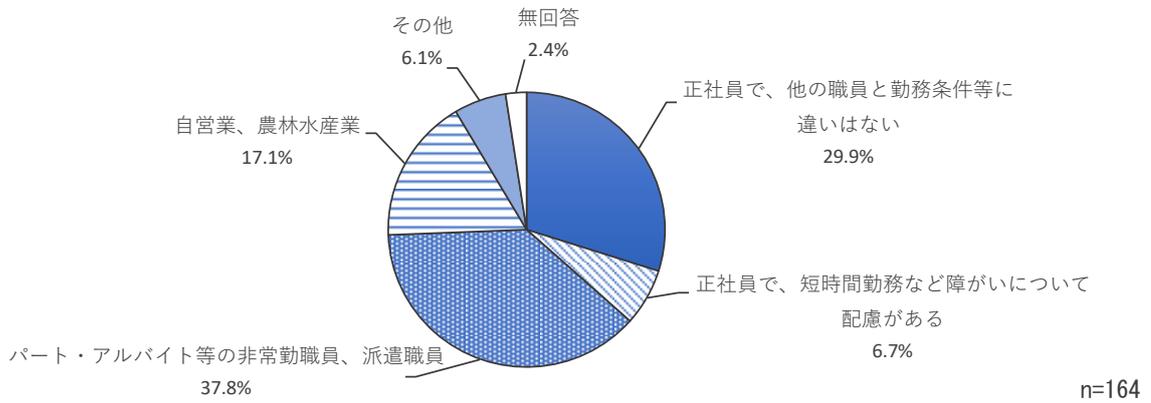
問 15-1 どのような勤務形態で働いていますか。

(○は1つだけ)

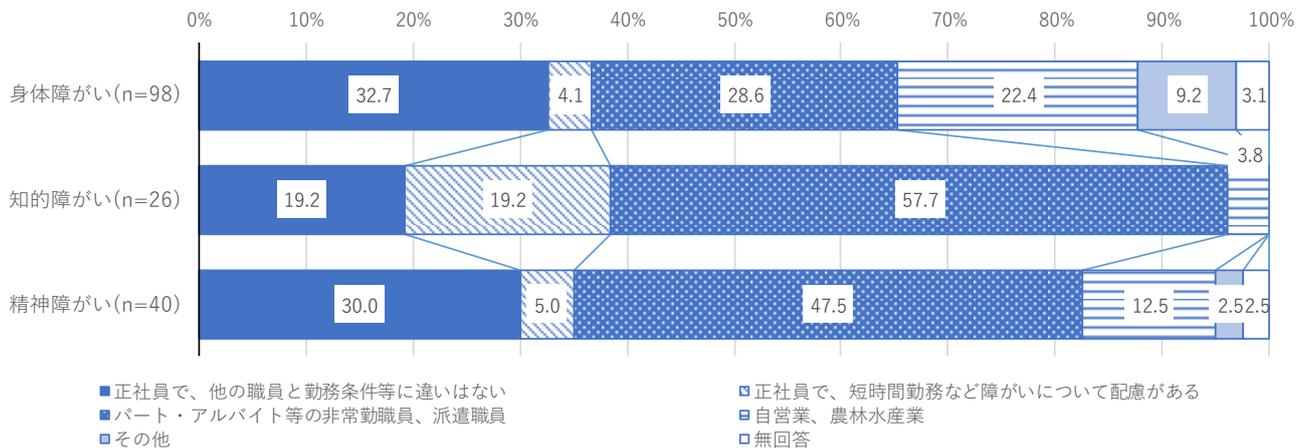
18 歳以上で働いている方の勤務形態については、「パート・アルバイト等の非常勤職員や派遣職員」が 37.8%と最も多く、次いで「正社員で、他の職員と勤務条件等に違いはない」が 29.9%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいと精神障がいでは「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 5 割前後となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



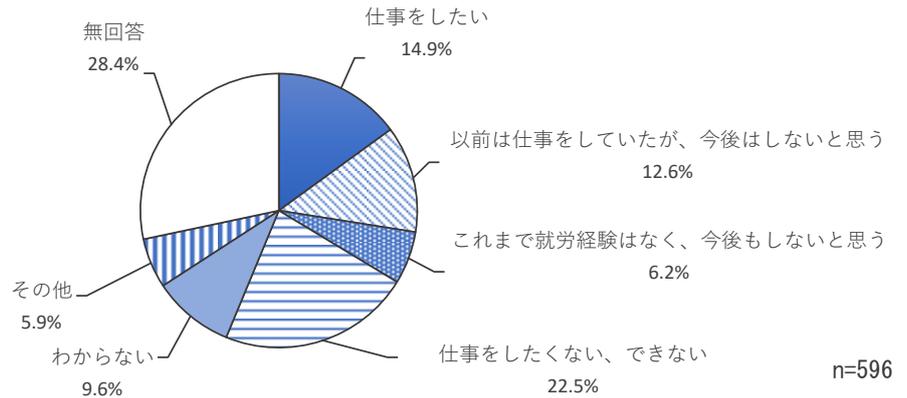
問 15-2 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

(○は1つだけ)

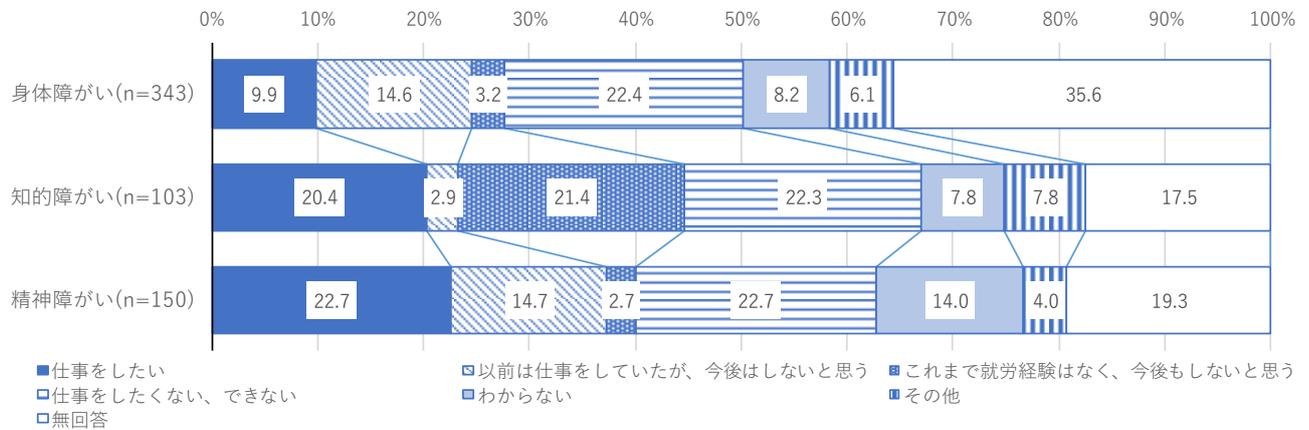
18歳以上の働いていない方で、今後収入を得る仕事をしたいかについては、「仕事をしたくない、できない」が22.5%と最も多く、次いで「仕事をしたい」が14.9%となっています。

障がい別に見ると「以前は仕事をしていたが、今後はしないと思う」、「これまで就労経験はなく、今後もしないと思う」「仕事をしたくない、できない」の合計は、全ての障がいで4割を超えています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



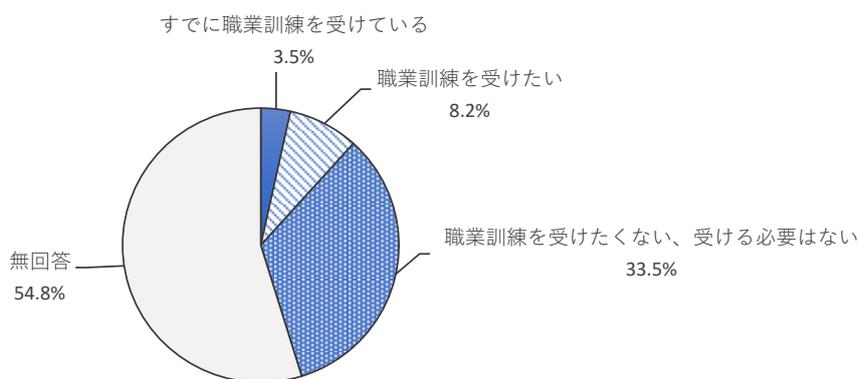
問 15 で「1.」以外を回答した、18 歳以上の方におたずねします。

問 15-3 収入を得る仕事をつくために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

18 歳以上の方で職業訓練を受けたいかについては、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 33.5%で最も多く、次いで、「職業訓練を受けたい」が 8.2%、「すでに職業訓練を受けている」が 3.5%となっています。

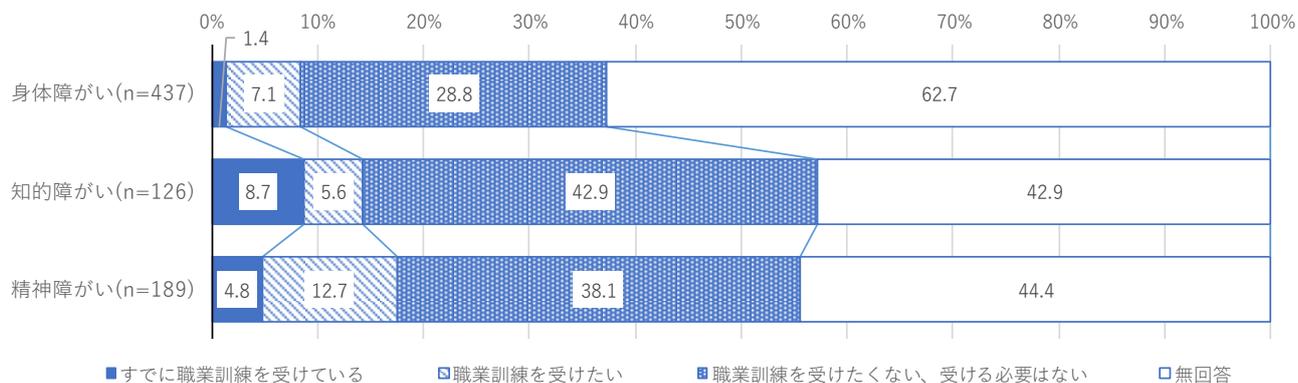
障がい別に見ると、知的障がいでは「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 42.9%となっています。

【全体】



n=752

【身体・知的・精神障がい別】



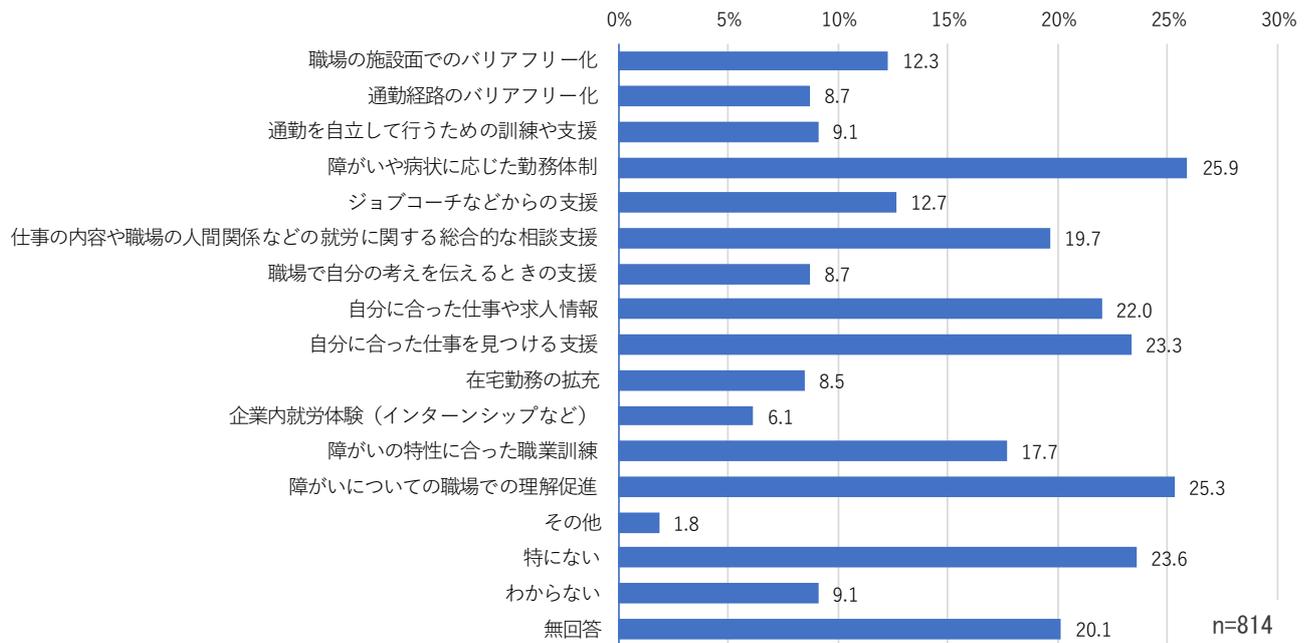
問 16 あなたは、障がいのある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

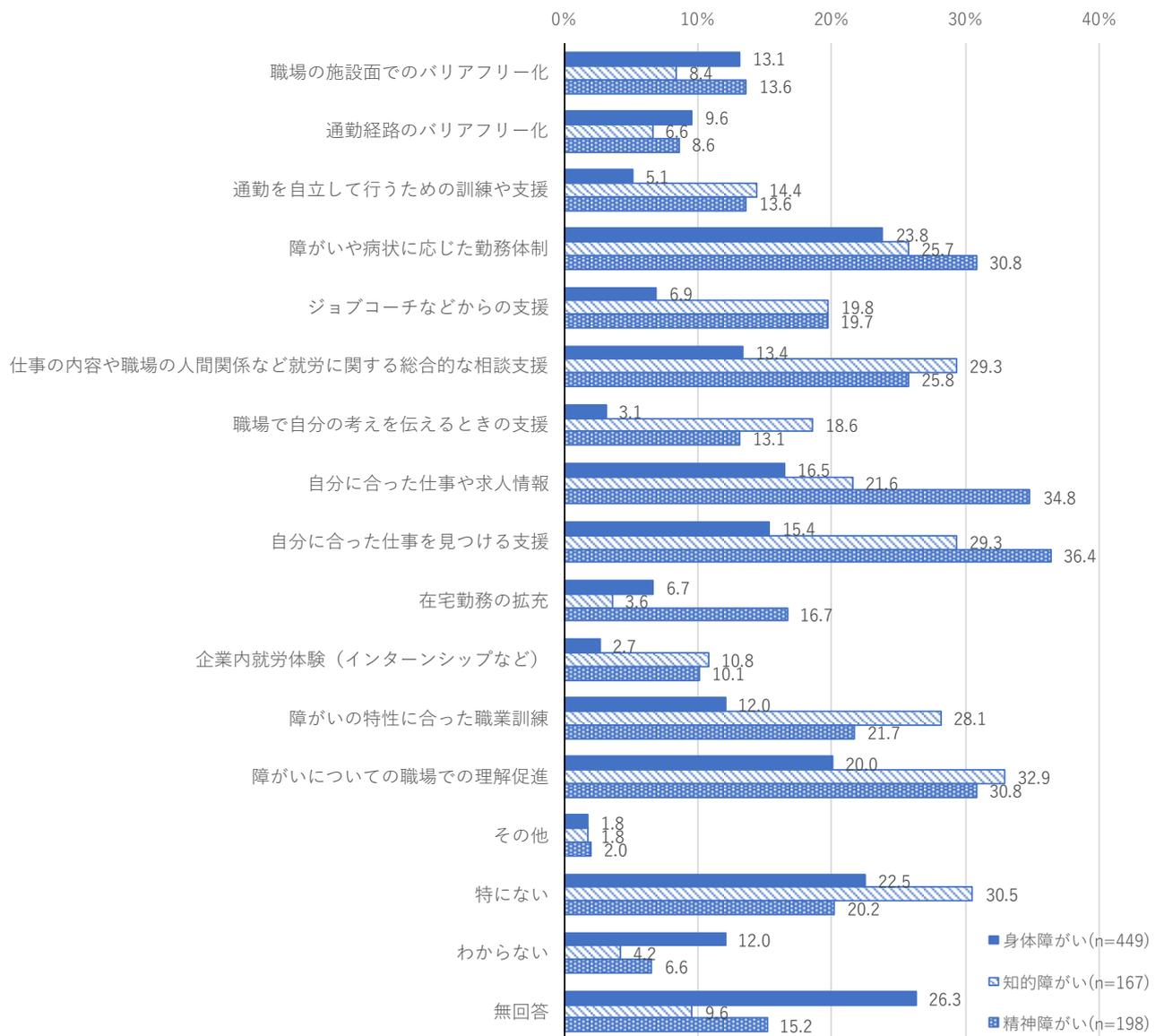
障がいのある人の就労支援で必要なものについては、「障がいや病状に応じた勤務体制」が 25.9%で最も多く、次いで「障がいについての職場での理解促進」が 25.3%と多くなっています。

障がい別に見ると、精神障がいでは「自分に合った仕事を見つける支援」が最も多く、知的障がいでは「障がいについての職場での理解促進」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】



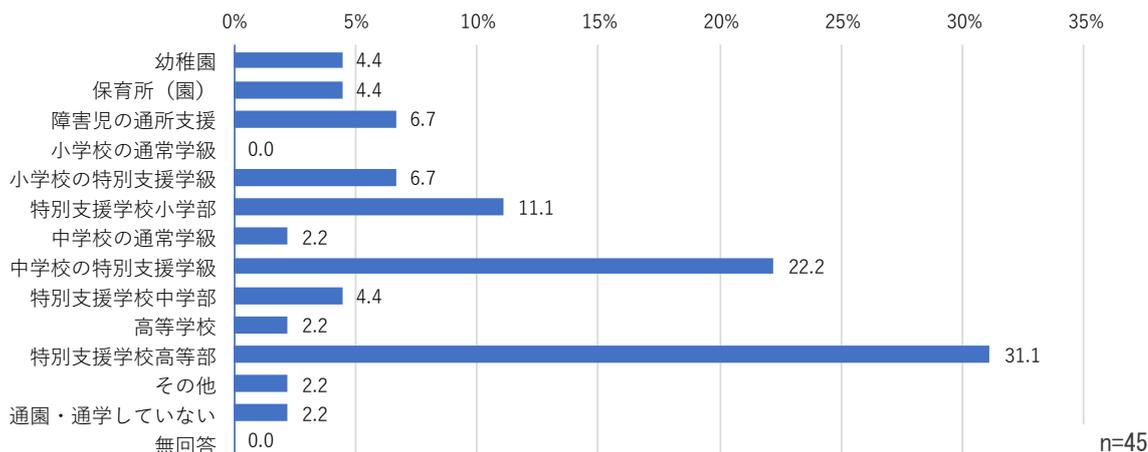
問 17 と 18 は、18 歳以下の方におたずねします。

問 17 あなたが主に通園、通学しているところはどこですか。 (○は1つだけ)

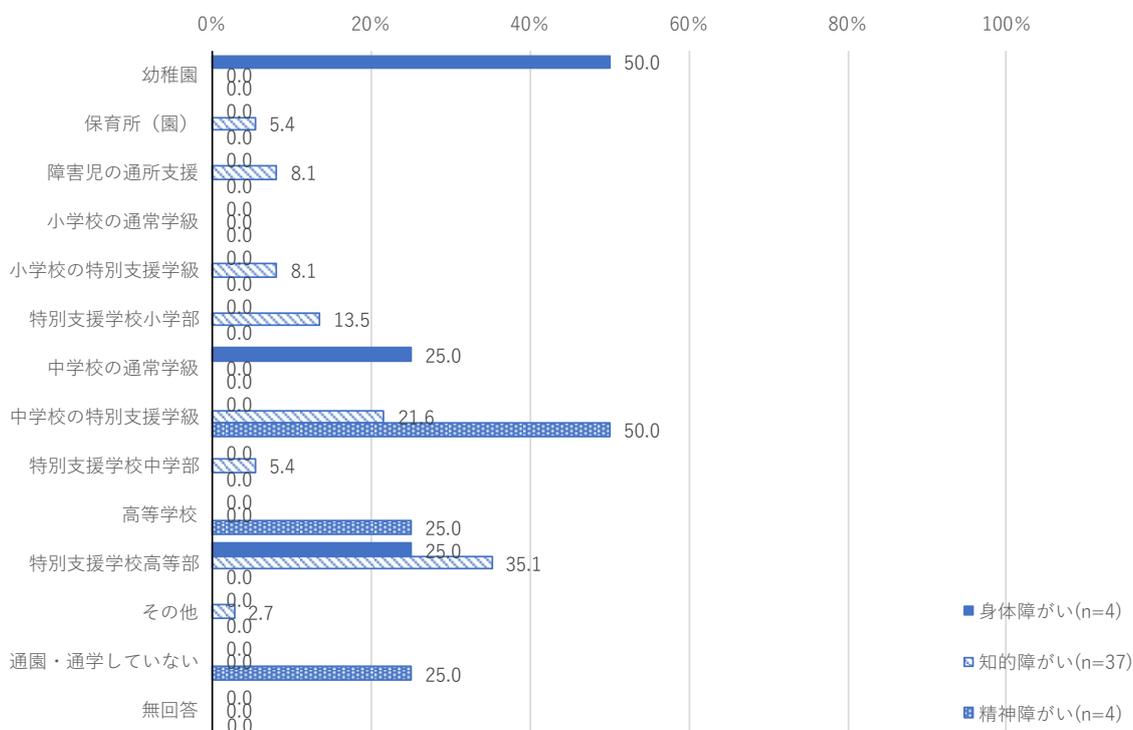
18 歳以下の方の通園や通学先については、「特別支援学校高等部」が 31.1%で最も多く、次いで「中学校の特別支援学級」が 22.2%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいでは「幼稚園」が、知的障がいでは「特別支援学校高等部」が、精神障がいでは「中学校の特別支援学級」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



問 17 で「1.」～「12.」を回答した方におたずねします。

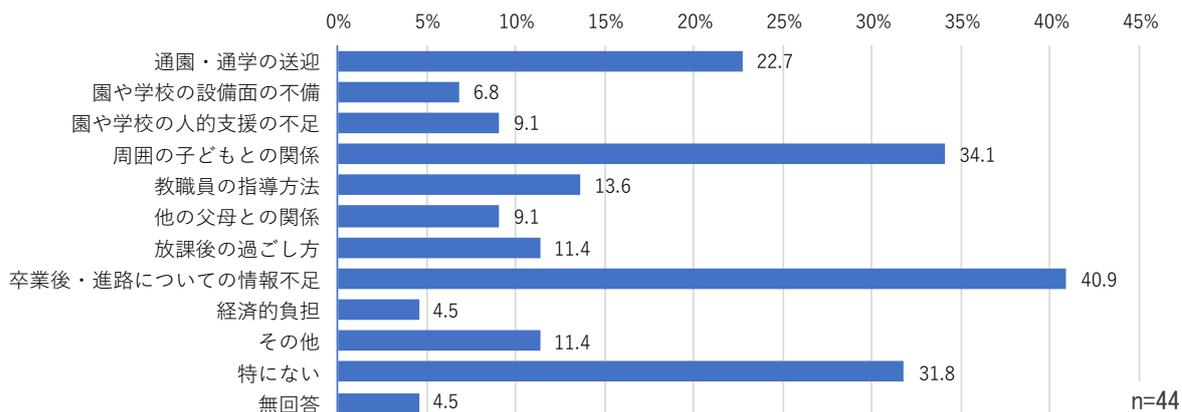
問 17-1 通園・通学において困っていること、心配なことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

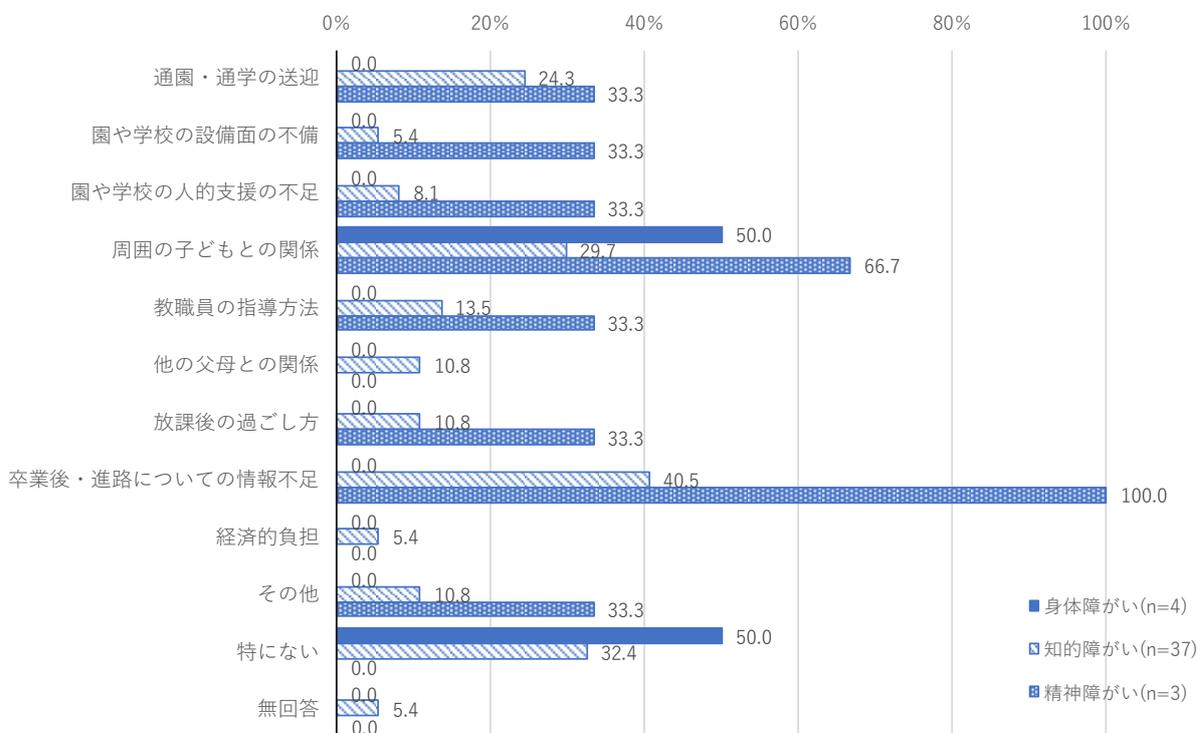
通園や通学において困っていることは、「卒業後・進路についての情報不足」が 40.9%と最も多く、「周囲の子どもとの関係」が 34.1%、「特にない」が 31.8%と続いています。

障がい別に見ると、精神障がいでは「卒業後・進路についての情報不足」が 100%になっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



問 18 あなたが現在、通園・通学している園や学校について、不安や不満に感じていることがあればその内容をご記入ください。卒業している場合は、直近で通っていた園や学校についてもご記入ください。

18歳以下の回答対象者は44人で、12人(27.3%)の記載がありました。

主な記載内容
・ 自宅で生活するために具体的にどうしたら良いか相談できる所がない。
・ 自立するためにすべきことが、親一人の体ではなかなか実行できず、将来一人で何かが出来る人になるか不安です。
・ 職員が親切で優しいし、よろこんで通院しています。会話のできる人が少ない。好きなことを伸ばせる人は伸ばして欲しい。身体を動かせる人は、動かす工夫をしていただきたい。
・ PT、OT、STなどの知識を持った人が学校職員にいて欲しい。(PT：理学療法士、OT：作業療法士、ST：言語聴覚士)
・ 小学校の時運動会などで、保護者に相談なくリレーや競技の距離を短くしたり、ある競技には参加させないといったことがあり、悲しく思いました。障がい児が入ったことにより、ハンデがあるのなら、そのグループと一緒に他のグループより、練習をしようとしたりすることが健常児の心を育てる気がしたのですが残念です。
・ 今までの担任の先生に不満はありませんが、他の学年の保護者の方からいろいろ話を聞き「やる気」がなく、特別支援学校にいるという自覚がない。健常児と同じ目線で話をする教職員がいると聞きこれからは不安です。
・ 記憶、遂行障害等々もあり、連絡事項など本人に確認するも理解に苦しむことが多い。同級生に障がいの特性を理解されず、苦悩することがある。現在中学校に通学中ですが、以前通学した小学校では先生から細かい支援がありました。将来のため自立は必要ですが、努力を重ね学習し自立ではなく、記憶障害がある場合後で正しい答えを書き替えにくいため、障がいの特性を理解した人の支援を受けながらヒントを受け正答できる導きを受けられればと常に思います。
・ 幼稚園のとき、行きたくなかったのに先生に無理に行かされ具合が悪くなりました。
・ 先生方との意見の違いや、まわりの方が重度の方が多く、自分が将来どのような仕事につけるのかが明らかではない。
・ 差別がなくなる。教師の対応(特別支援学級の先生も含む)のことです。
・ ある高校には発達障がいの生徒が多勢在籍しているが専門家による支援はない。心理をかじったような人はいるが話にならないほどお粗末。自閉スペクトラム(IQが高い方)の通学できる学校があればいいと思う。そうかといって他へ行くほど勉強ができない。専門家のいる学校、各校に臨床心理士をおいて欲しい。就職のガイダンスもゼロです。
・ 教員は持病に関しては理解しているが同級生(生徒)には理解しづらいと考えている。

VI. 住まいや暮らしについて

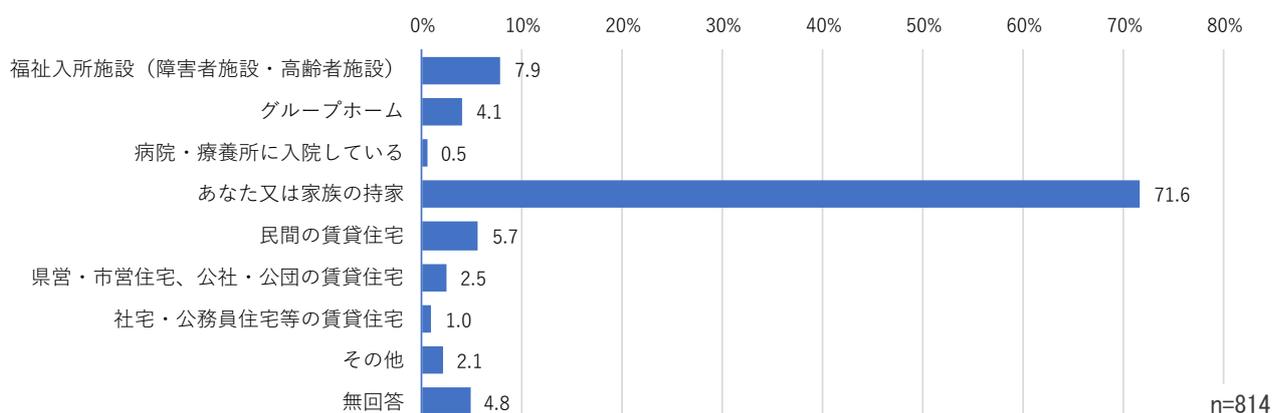
問 19 あなたは、現在どこで生活していますか。

(○は1つだけ)

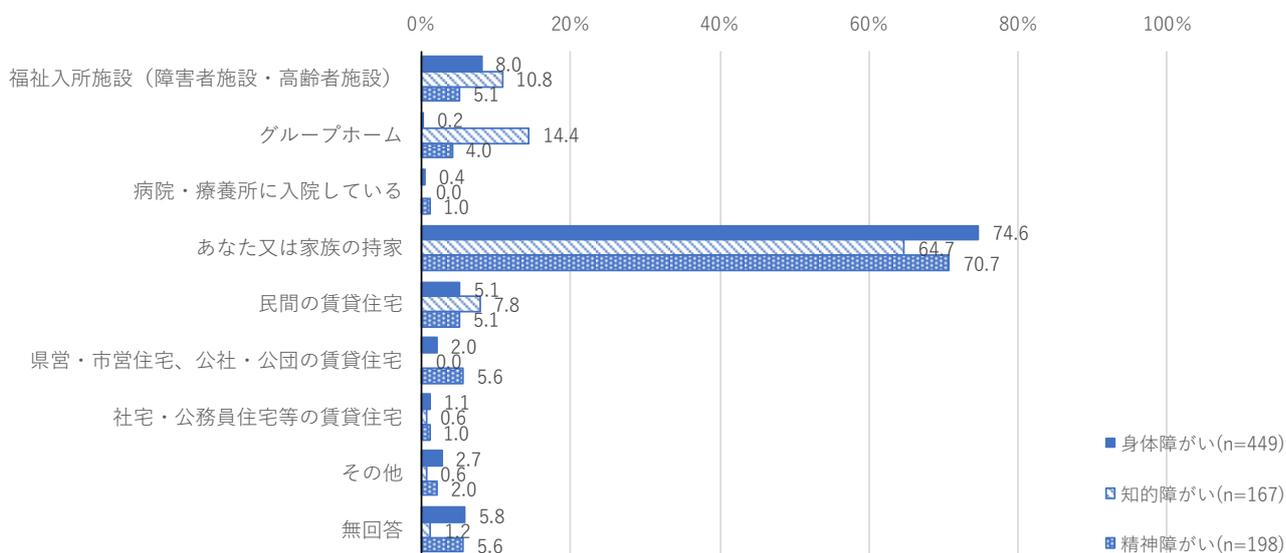
現在どこで暮らしているかについては、「あなた又は家族の持家」が71.6%と突出して多く、他は10%以下の割合になっています。

障がい別に見ると、全ての障がいにて「あなた又は家族の持家」が最も多くなっていますが、知的障がいでは「グループホーム」が14.4%と、他の障がいより多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



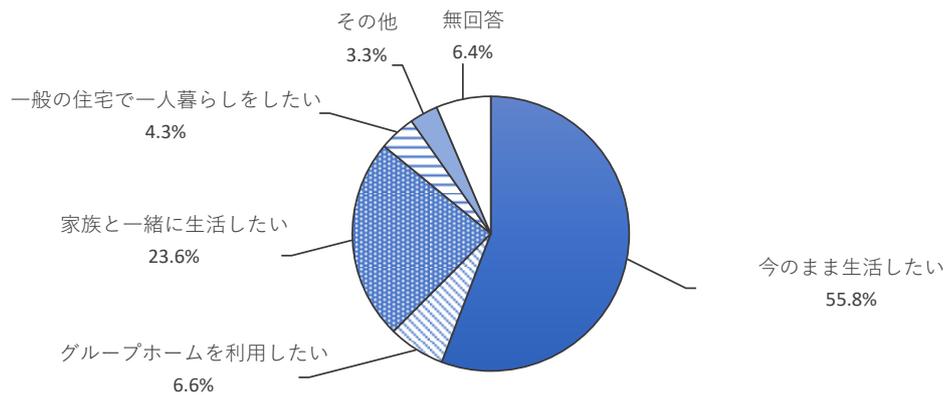
問 20 あなたは将来、どこで生活したいと思いますか。

(○は1つだけ)

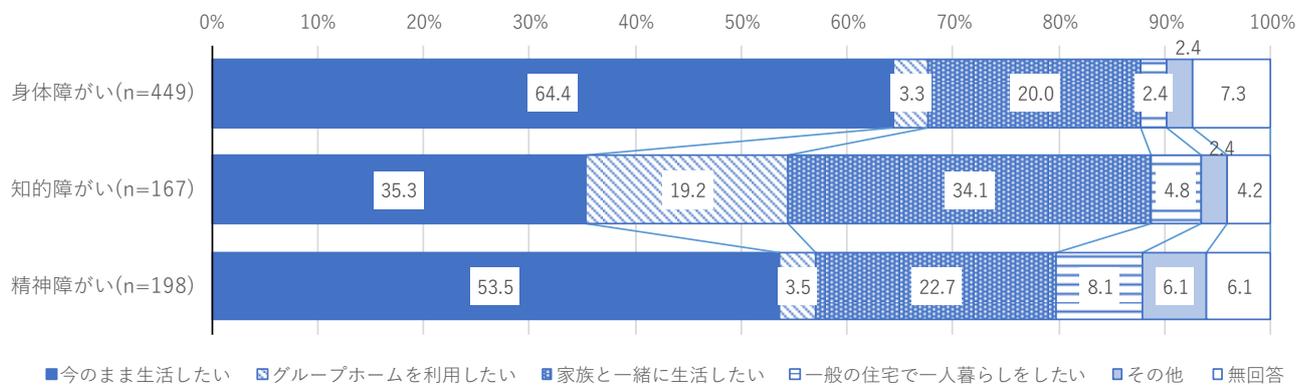
将来、どこで生活したいかについては、「今のまま生活したい」が 55.8%と最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が 23.6%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは、半数以上が「今まま生活したい」となっています。知的障がいでは「今のまま生活したい」が 35.3%、「家族と一緒に生活したい」が 34.1%となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



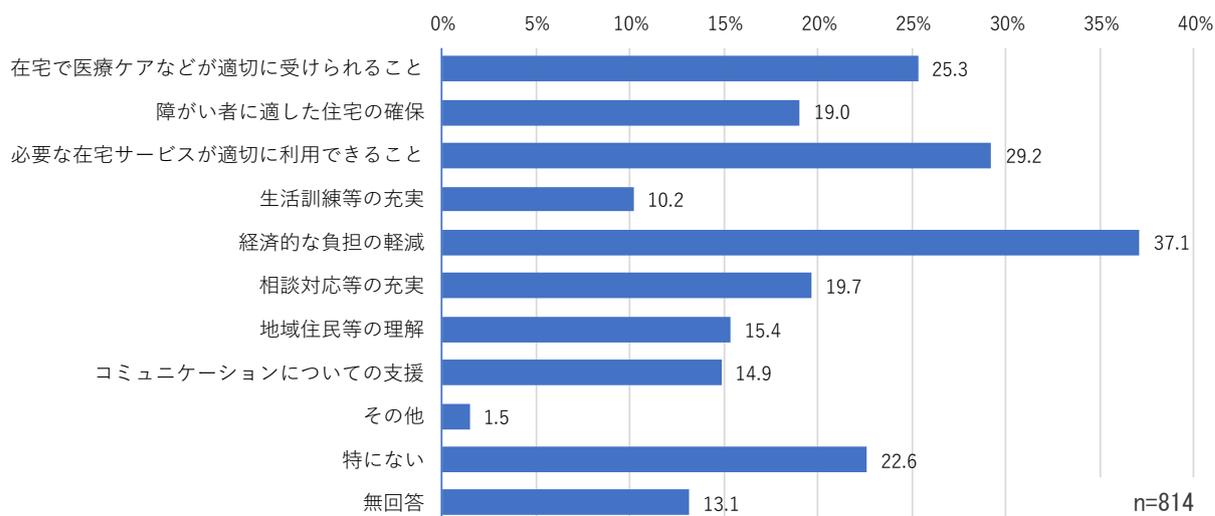
問 21 地域で生活（持家、賃貸住宅、グループホーム等）するのにあたっては、どのような支援があればよいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

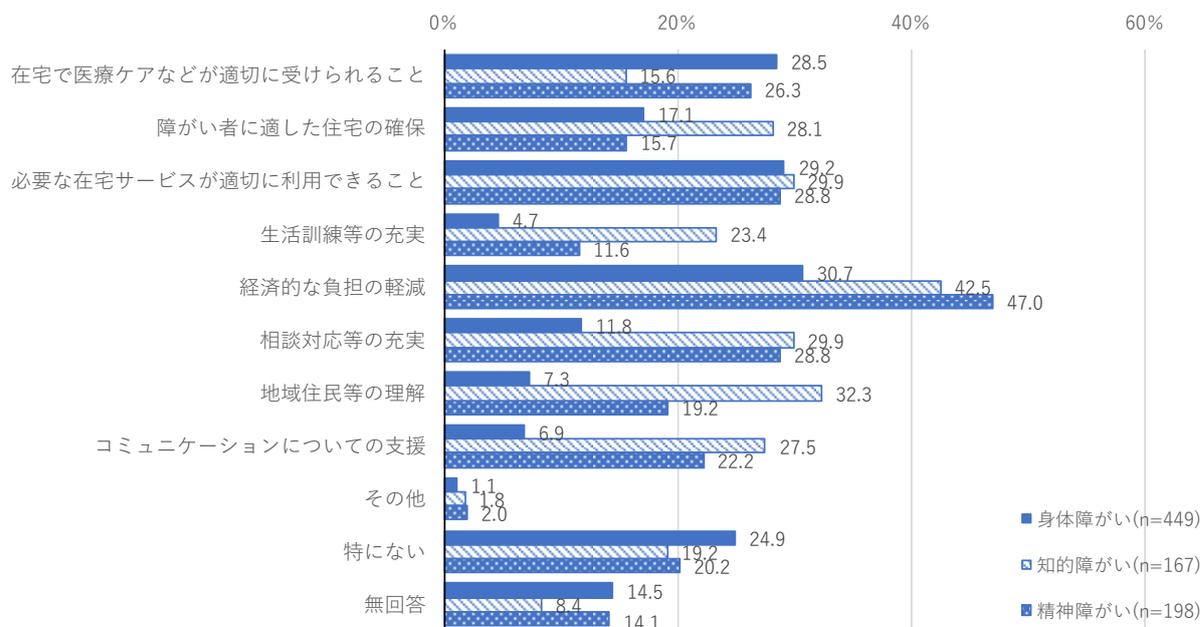
地域で生活するにあたっての支援については、「経済的な負担の軽減」が 37.1%と最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 29.2%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいと精神障がいでは「経済的な負担の軽減」が4割を超えています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



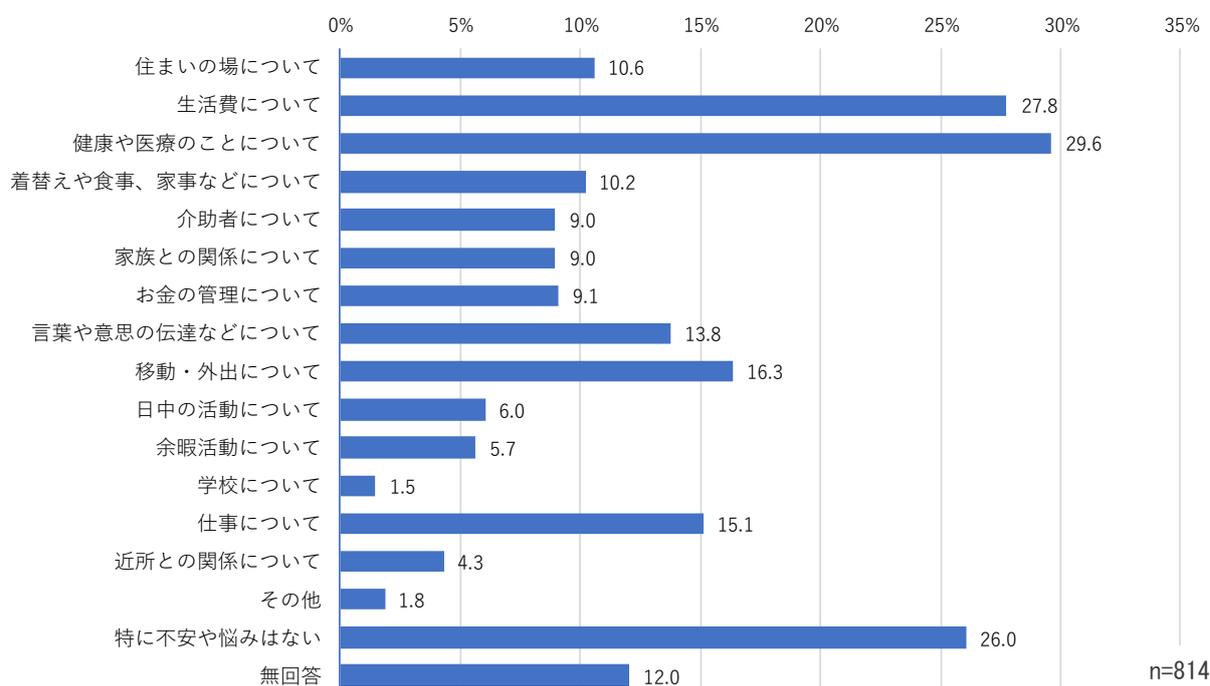
VII. 福祉や生活に関する相談・情報入手について

問 22 あなたは、今の生活について不安や悩みはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

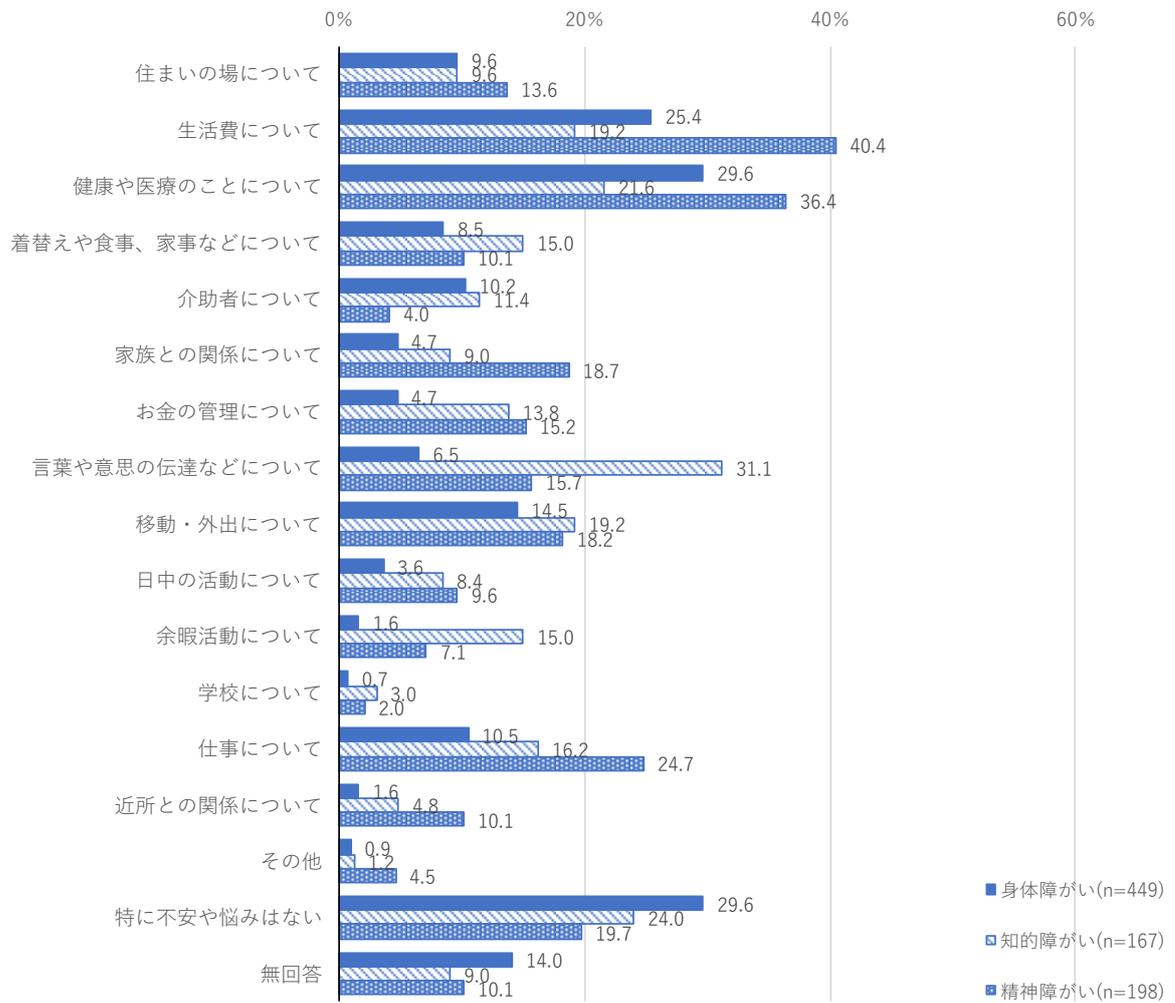
今の生活についての不安や悩みは、「健康や医療のことについて」が 29.6%と最も多く、次いで「生活費について」が 27.8%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「言葉や意思の伝達などについて」、精神障がいでは「生活費について」と「健康や医療のことについて」が他の不安や悩みに比べて多くなっています。身体障がいでは「健康や医療のことについて」と「特に不安や悩みはない」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】



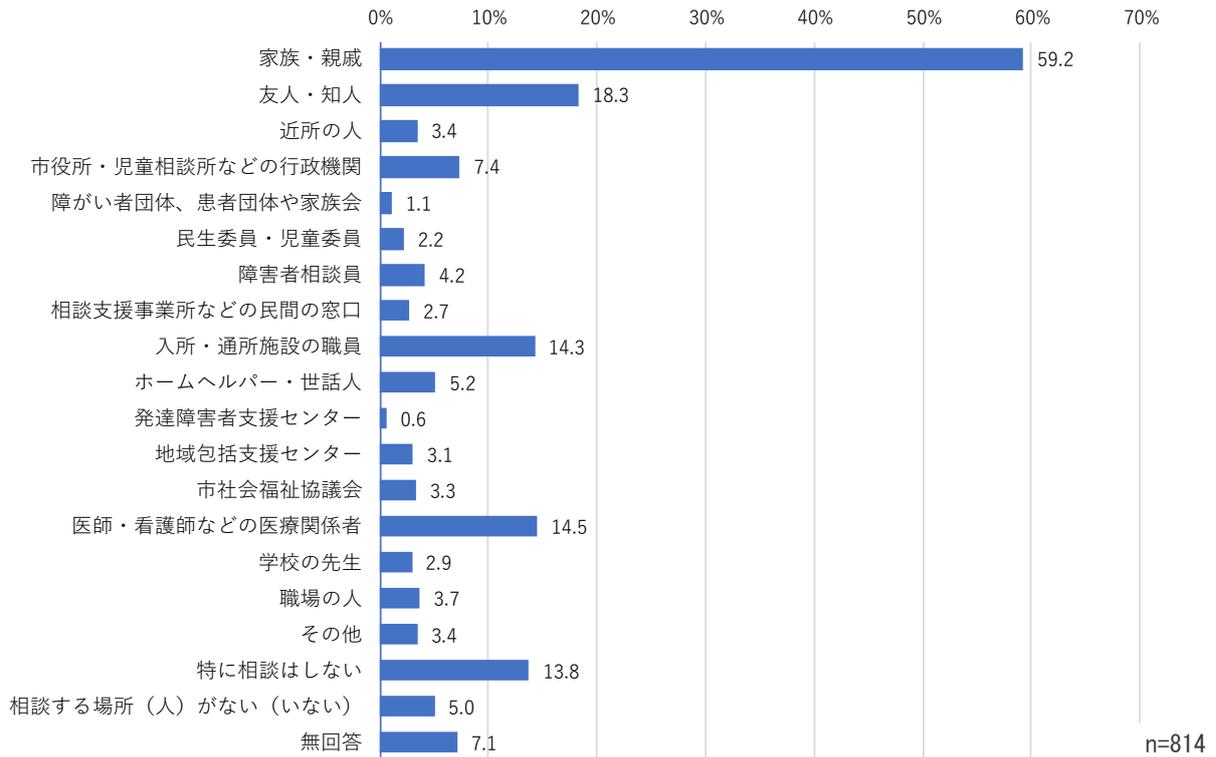
問 23 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなた（どこ）に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

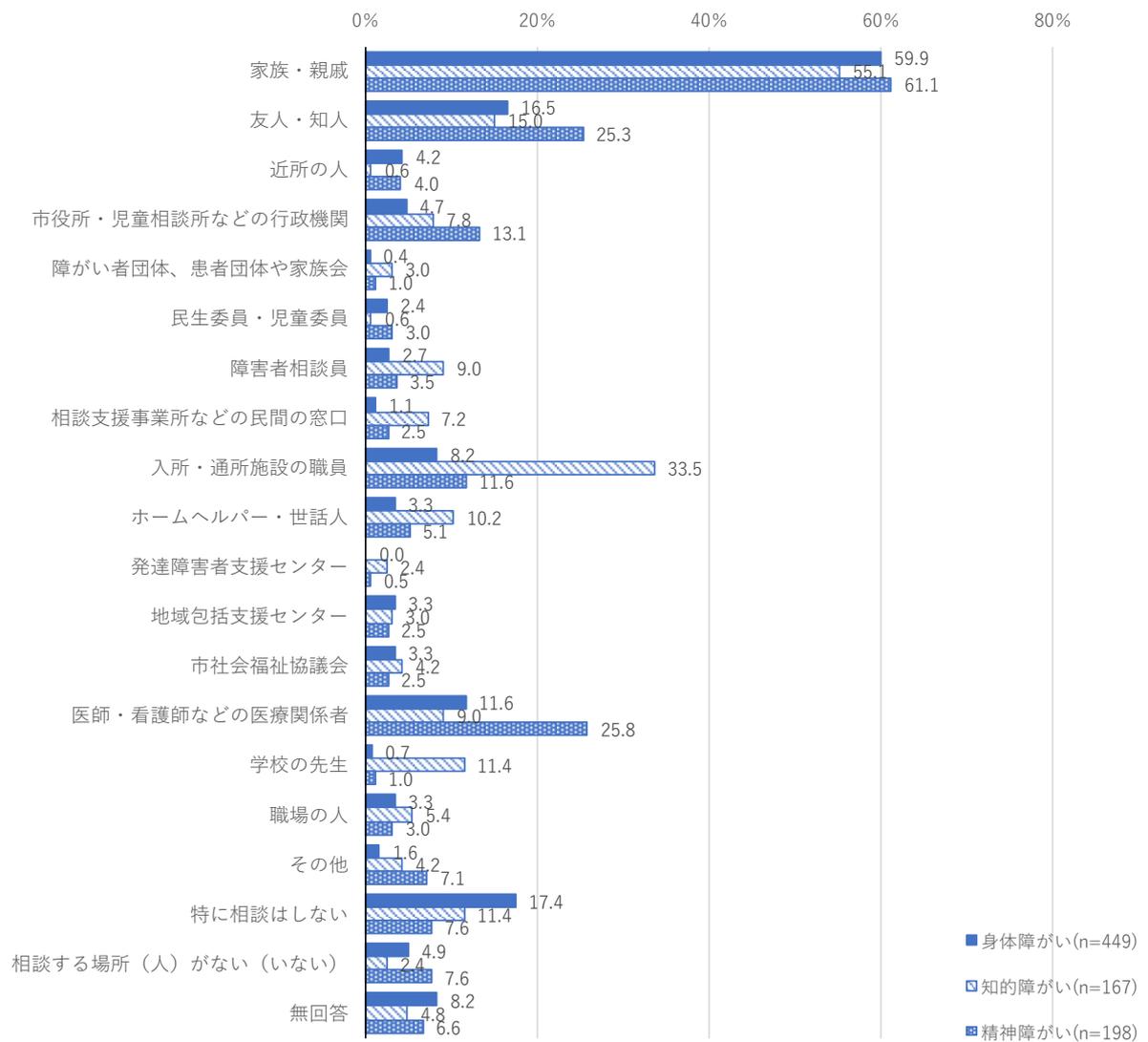
普段、悩みや困ったことの相談先については、「家族・親戚」が59.2%と最も多く、次いで「知人・友人」が18.3%となっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「入所・通所施設の職員」が33.5%、精神障がいでは「医師・看護師などの医療関係者」が25.8%となっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】

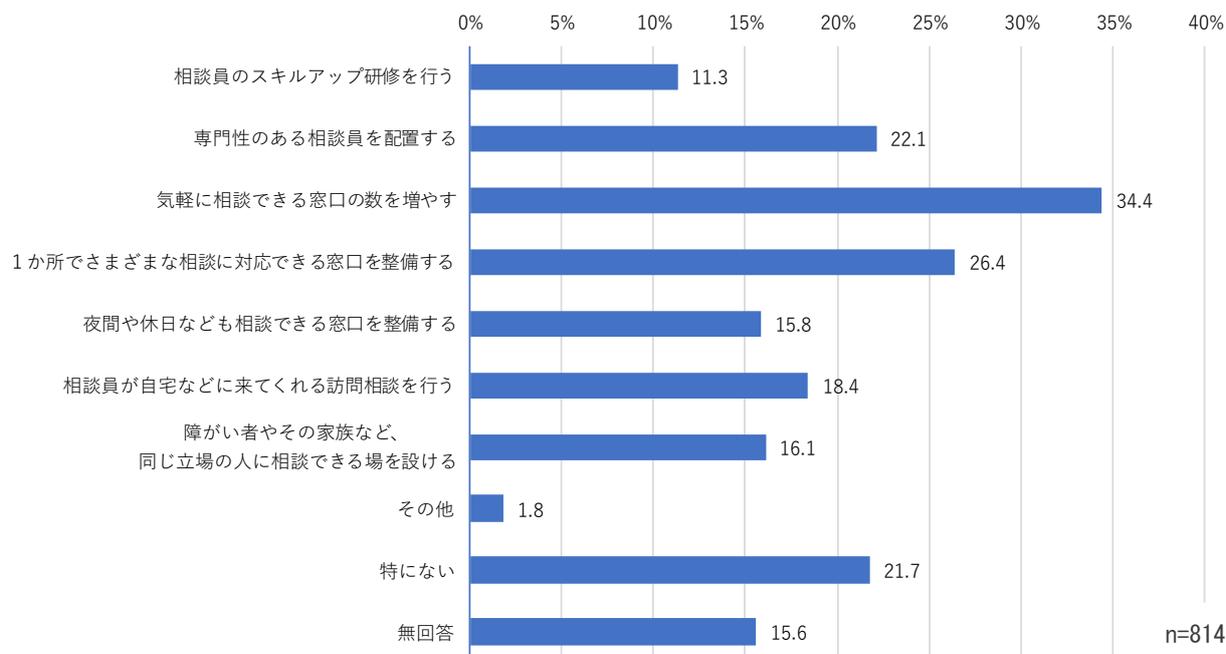


問 24 相談事業を充実するために（あなたが相談したときに満足できるよう）、特にどのようなことをすればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

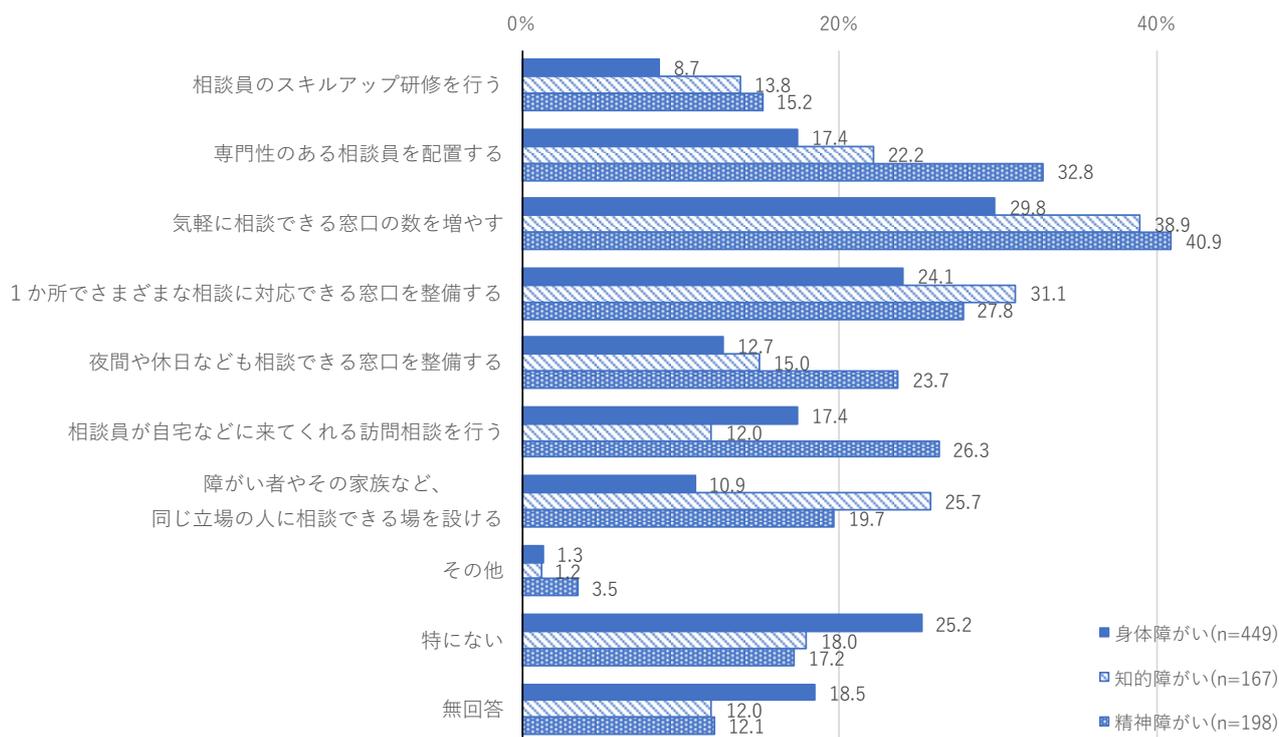
相談事業を充実するために必要な支援では「気軽に相談できる窓口の数を増やす」が 34.4%で最も多く、次いで「1か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する」が 26.4%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいと精神障がいでは「気軽に相談できる窓口の数を増やす」が多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



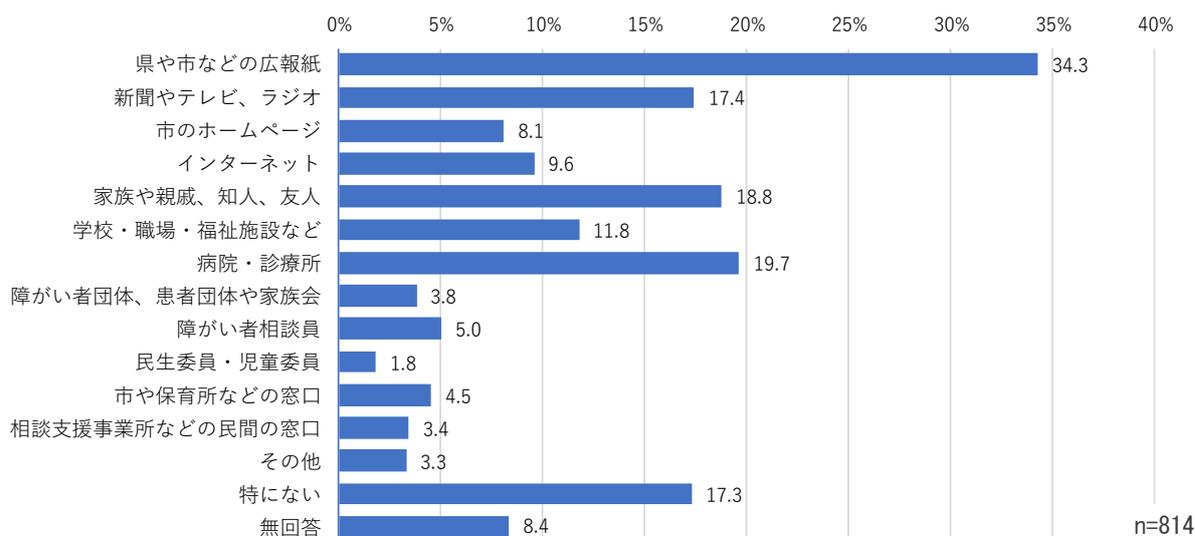
問 25 あなたは、福祉関連の情報を主にどこ（どなた）から入手していますか。

（あてはまるものすべてに○）

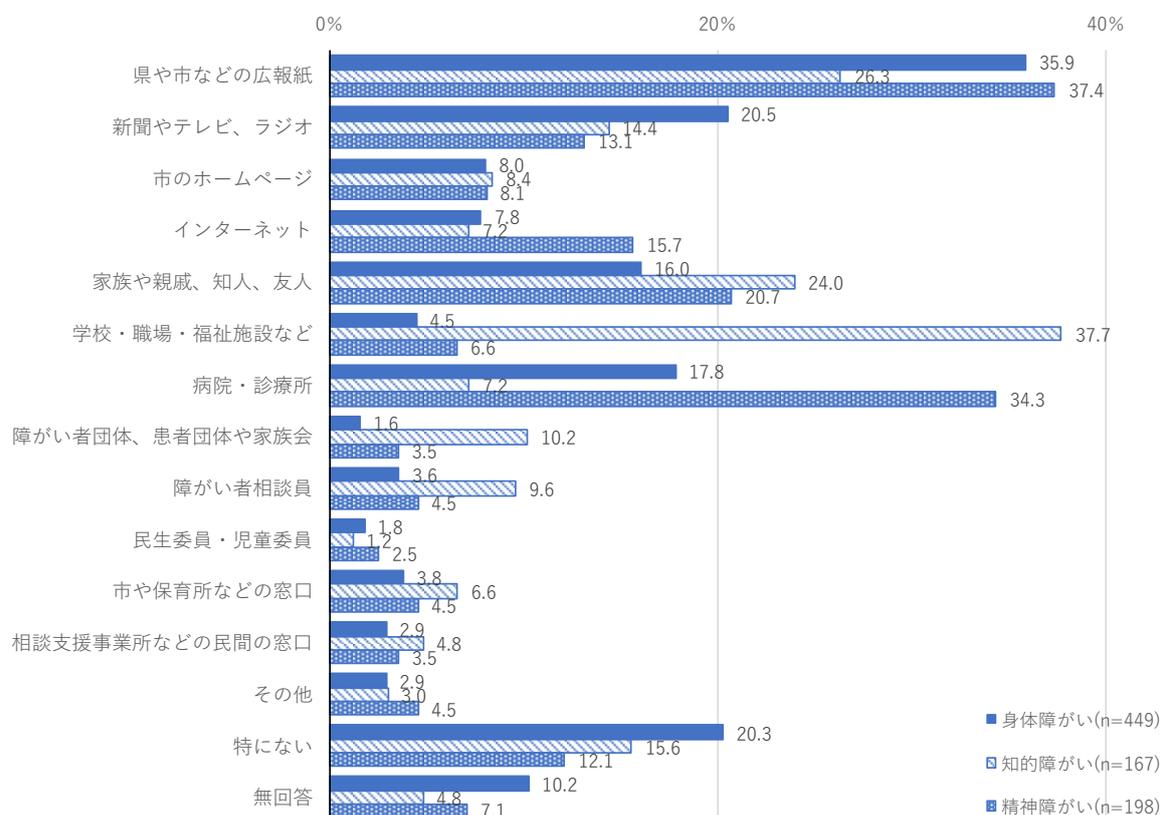
福祉関連の情報入手先については、「県や市などの広報紙」が34.3%で最も多く、次いで「病院・診療所」が19.7%で多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいでは「県や市などの広報紙」が最も多く、知的障がいでは「学校・職場・福祉施設など」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】

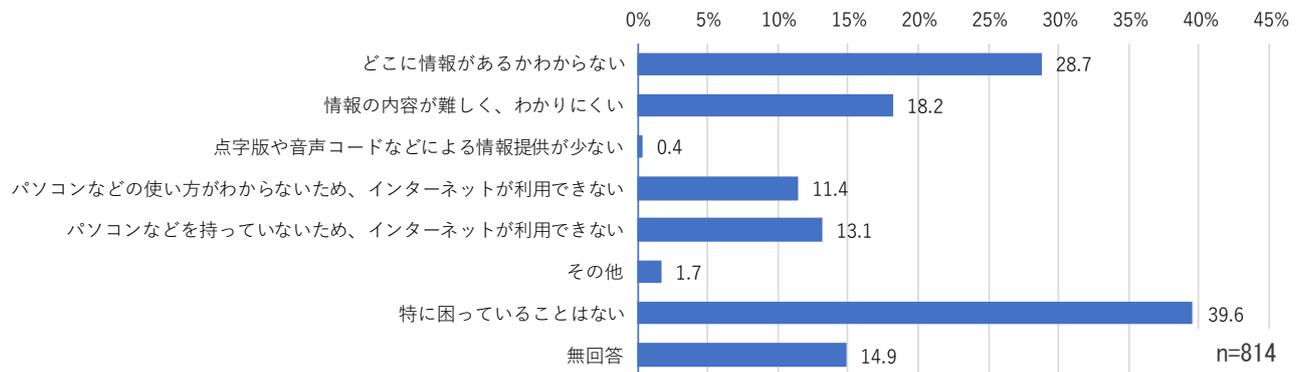


問 26 福祉関連情報の入手について、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

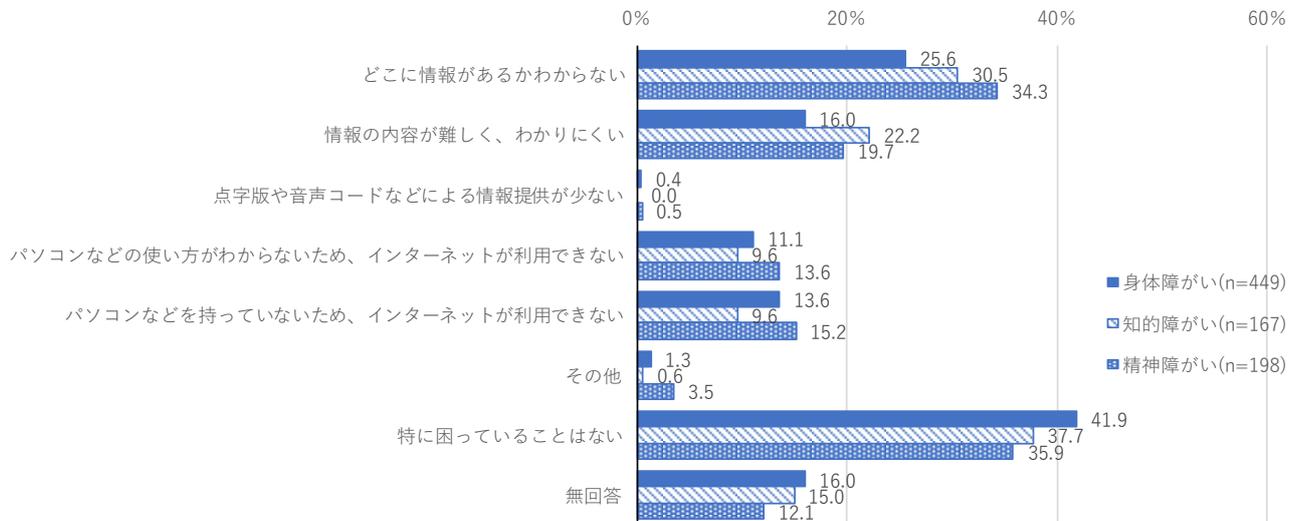
福祉関連情報の入手で困っていることについては、「特に困っていることはない」を除いて、「どこに情報があるかわからない」が28.7%と最も多くなっています。

障がい別に見ても、全ての障がいで「どこに情報があるかわからない」が最多となっており、その割合は、知的障がいと精神障がいでは3割以上となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



VIII. 災害時の対応について

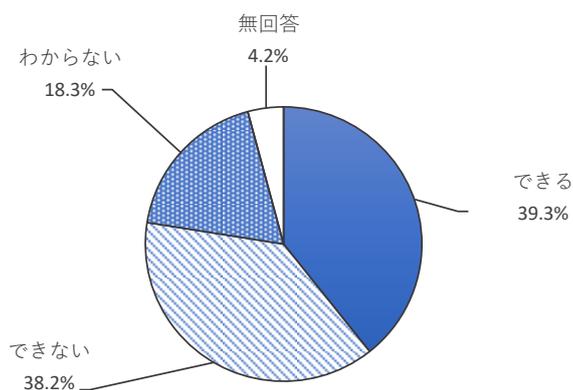
問 27 あなたは、災害時にひとりで避難できますか。

(○は1つだけ)

災害時にひとりで避難できるかについては、「できる」が 39.3%で、「できない」が 38.2%と拮抗しています。

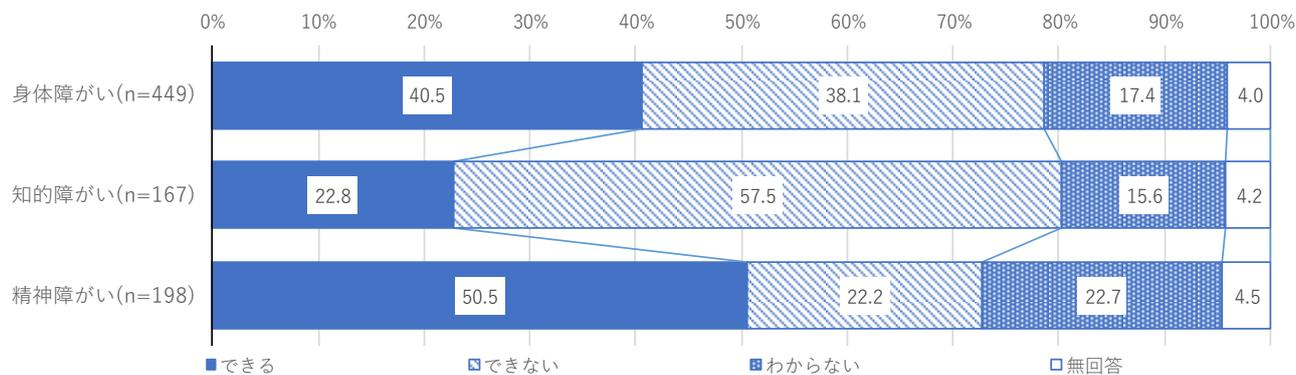
障がい別に見ると、身体障がいと精神障がいで4割以上が「できる」となっている一方、知的障がいでは「できない」が 57.5%となっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】



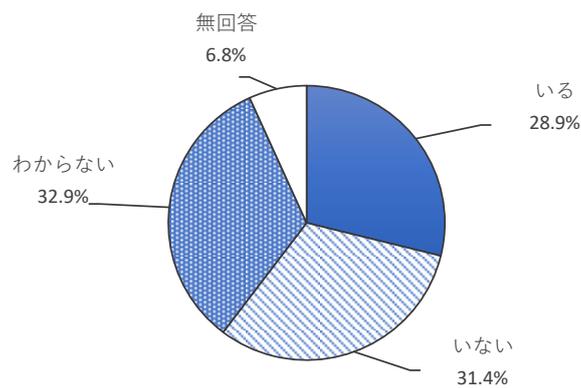
問 28 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

(○は1つだけ)

災害時に家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所に助けてくれる人はいるかについては、「わからない」が32.9%と最も多く、次いで「いない」が31.4%となっています。

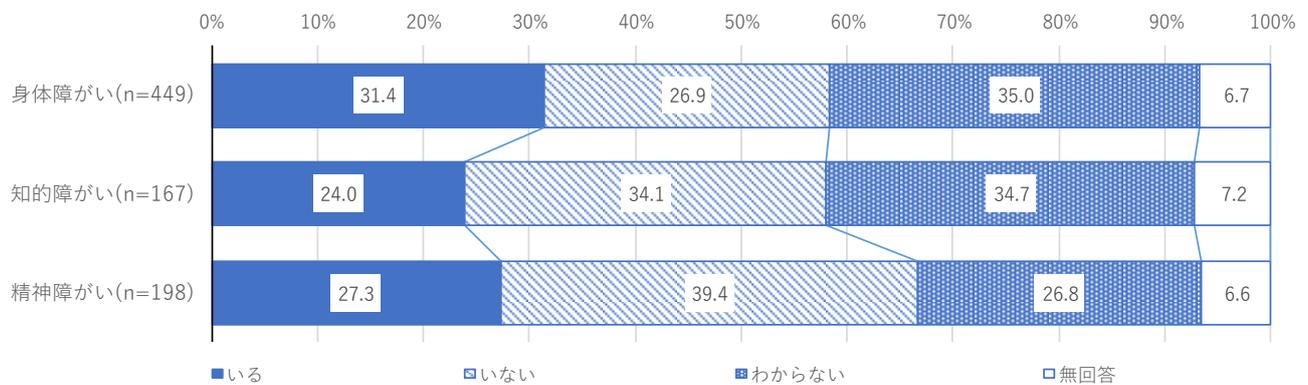
障がい別に見ると、身体障がいと知的障がいでは「わからない」が最も多く、精神障がいでは「いない」が最も多くなっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】



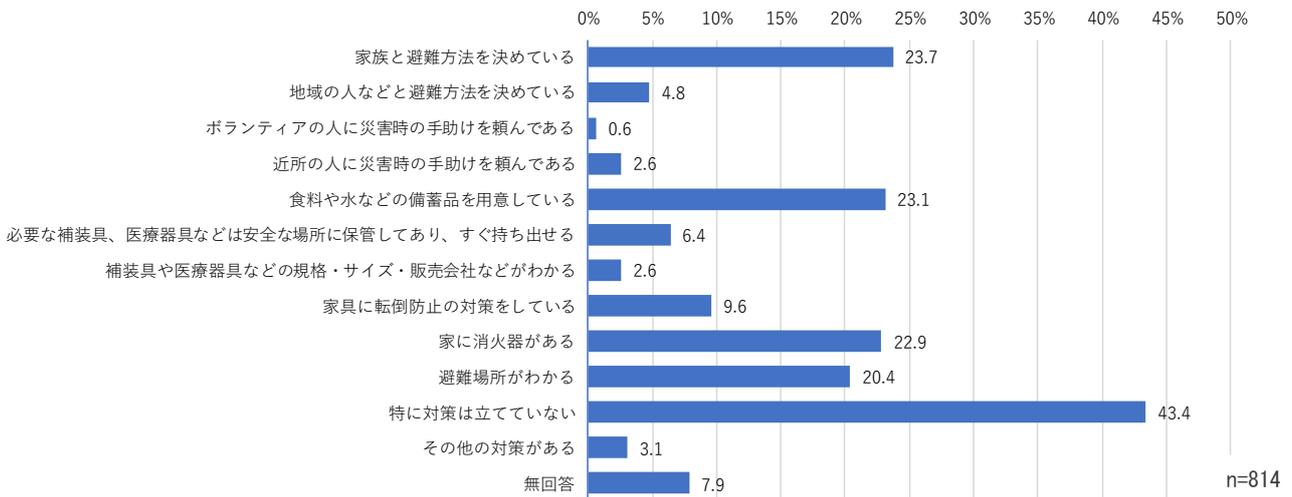
問 29 あなたは、災害時の対策を立てていますか。

(あてはまるものすべてに○)

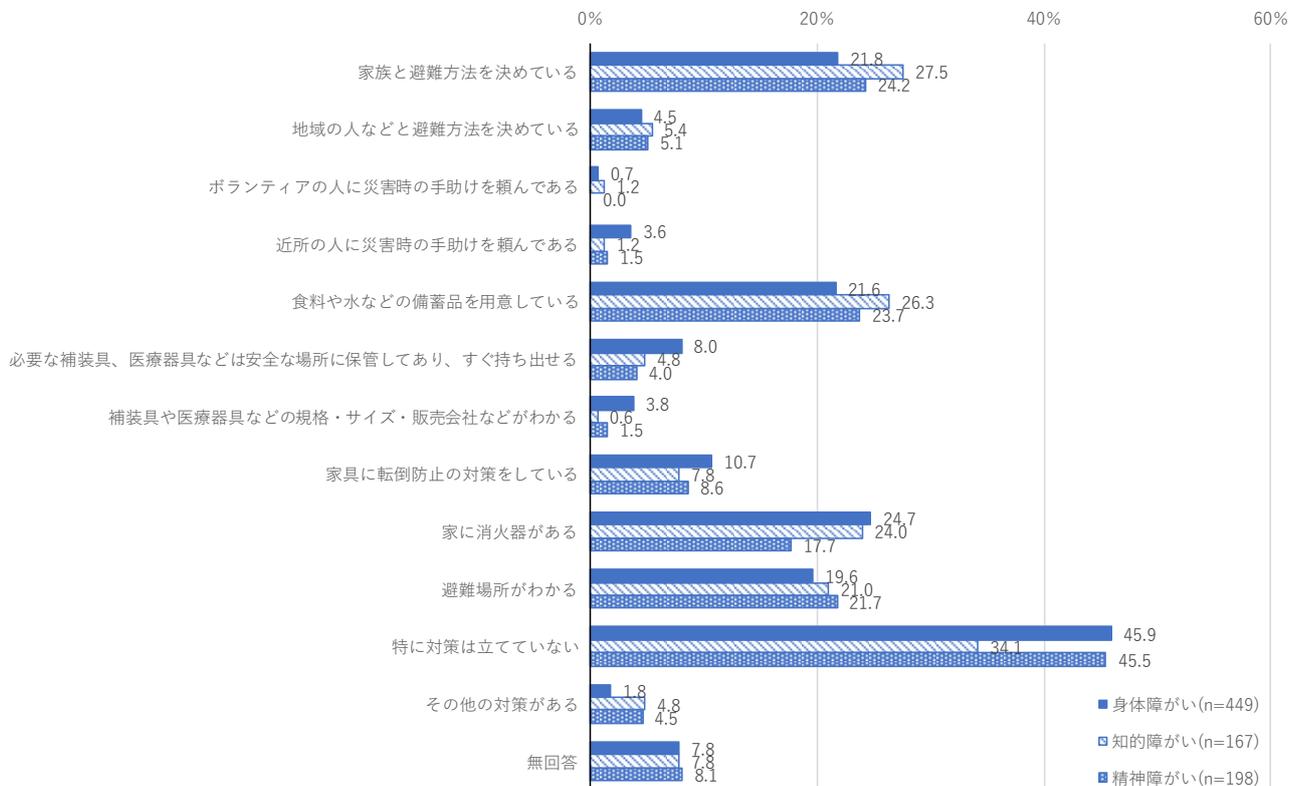
災害時の対策を立てているかについては、「特に対策は立てていない」が 43.4%で最も多く、次いで「家族と避難方法を決めている」が 23.7%となっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「家族と避難方法を決めている」が 27.5%で、「特に対策は立てていない」を除き、最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】

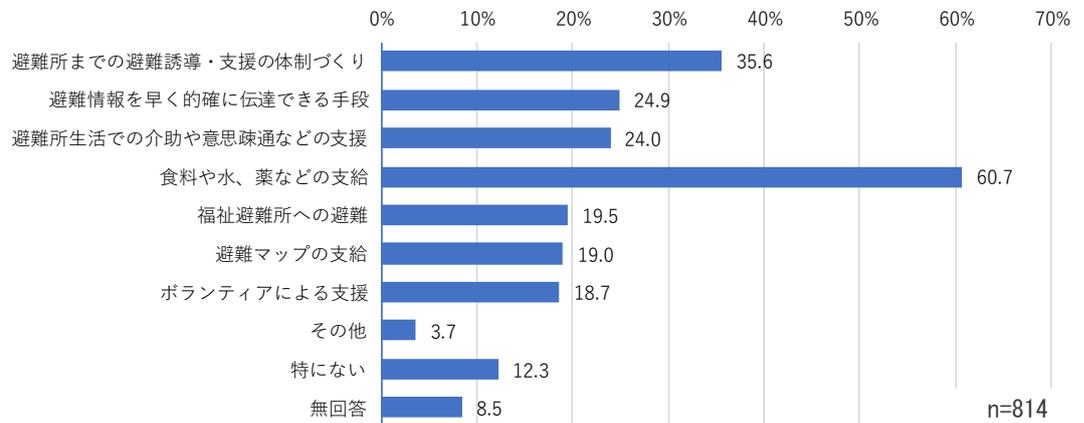


問 30 あなたは、災害時にどのような支援を必要としますか。 (あてはまるものすべてに○)

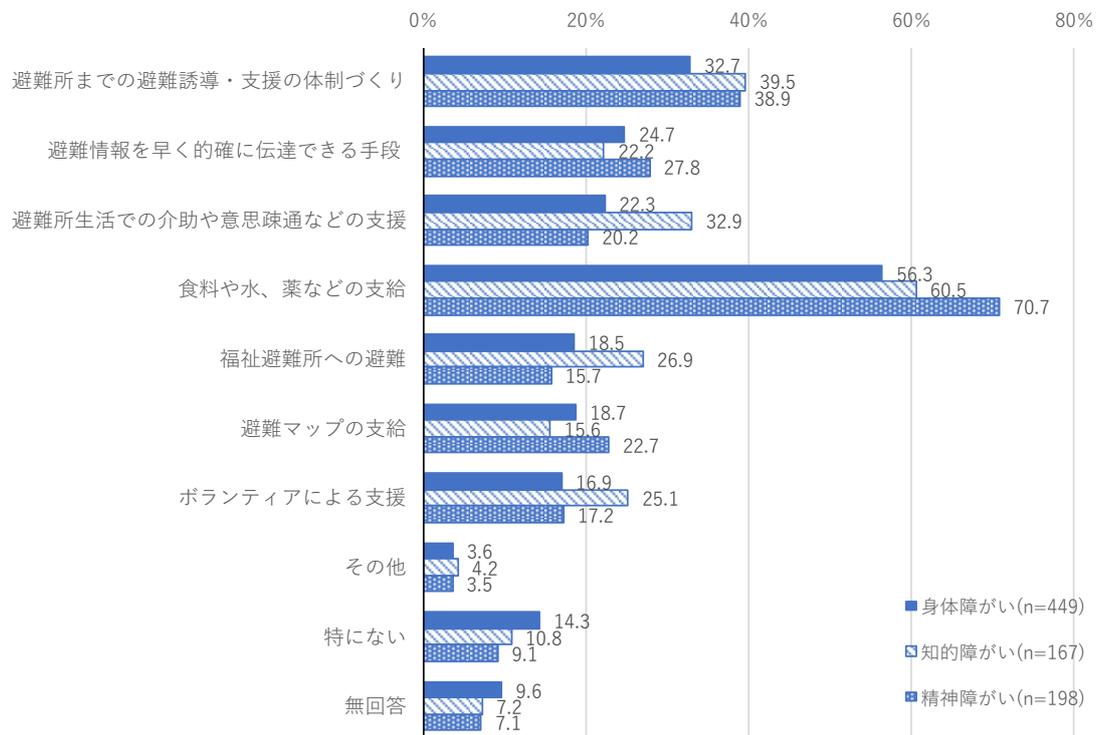
災害時に必要な支援としては「食料や水、薬などの支給」が、60.7%と最も多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「食料や水、薬などの支給」、「避難所までの避難誘導・支援の体制づくり」が多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



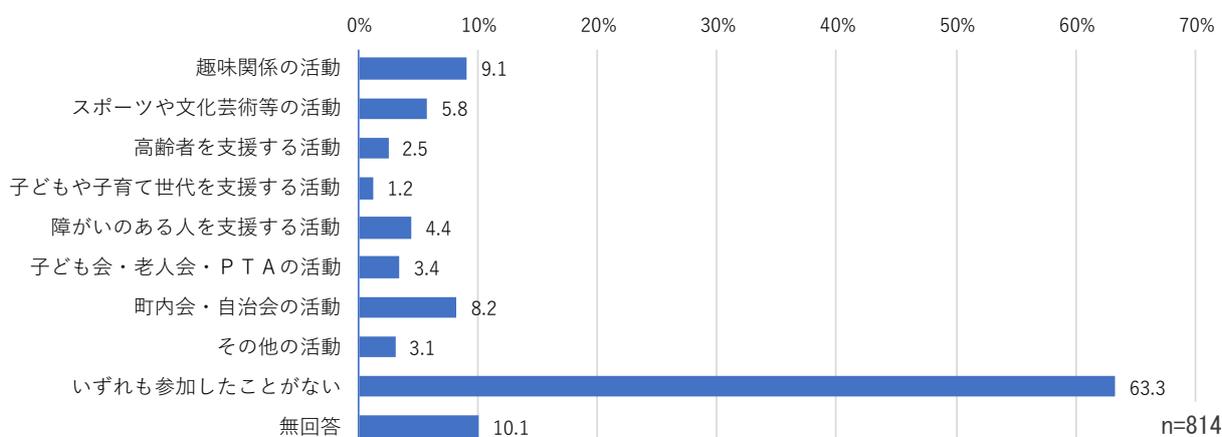
Ⅸ. 地域との結びつきについて

問 31 あなたは、この1年間で、障がいのある人もない人も参加する以下のような活動に参加したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

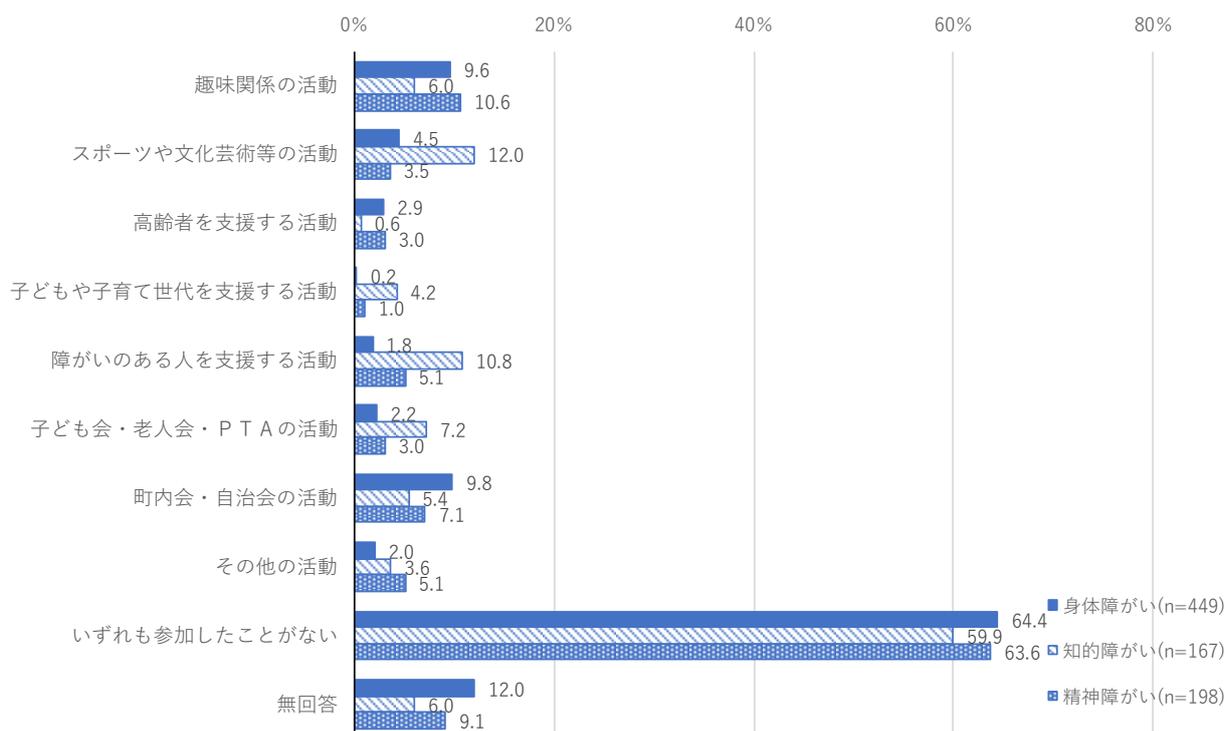
この1年間に参加したことがある活動については「いずれも参加したことがない」が63.3%と最も多く、「趣味関係の活動」が9.1%、「町内会・自治会の活動」が8.2%となっています。

障がい別に見ると、どの障がいも約6割が「いずれも参加したことがない」となっています。知的障がいでは「スポーツや文化芸術等の活動」、「障がいのある人を支援する活動」が多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



問 31 で「9. いずれも参加したことがない」を回答した方におたずねします。

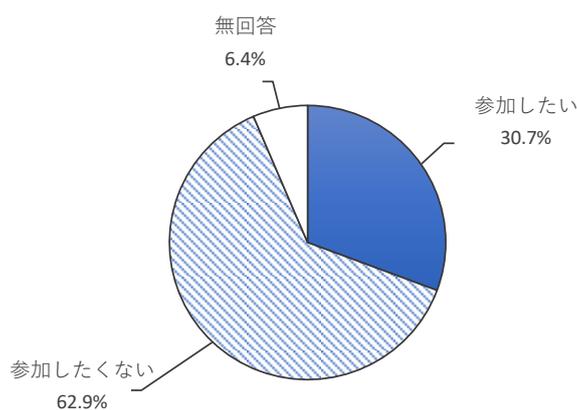
問 31-1 今後、活動に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

問 31 の活動に今後参加したいかについては「参加したくない」が 62.9%となり、「参加したい」の 30.7%を大きく上回っています。

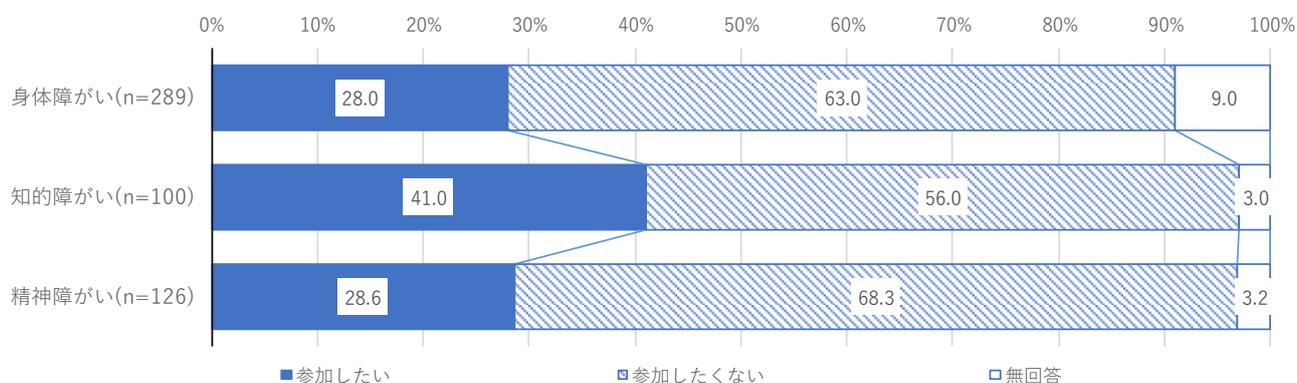
障がい別に見ると、全ての障がいの半数以上が「参加したくない」となっています。知的障がいでの「参加したい」は 41.0%となっており、他の障がいに比べて多くなっています。

【全体】



n=515

【身体・知的・精神障がい別】



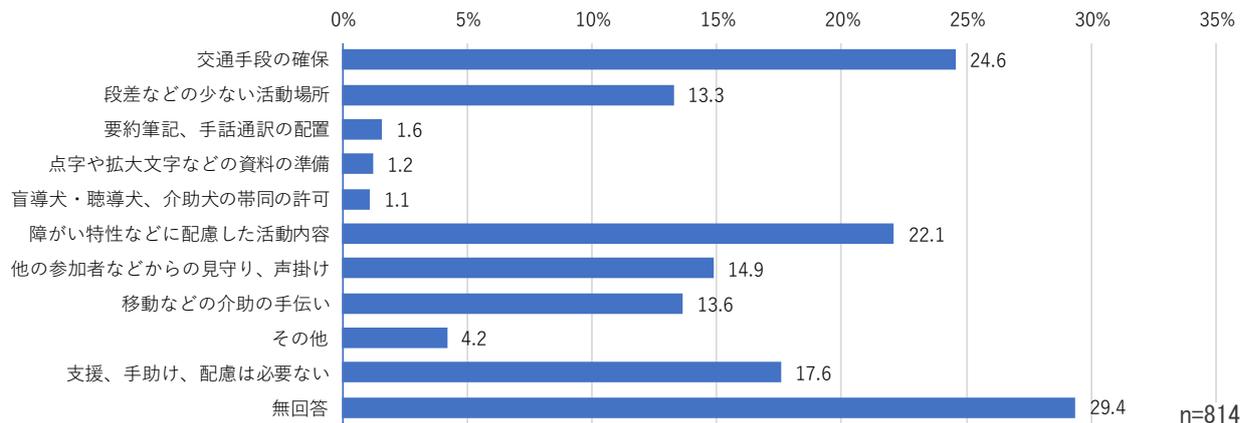
問 32 どのような支援や手助け、配慮があれば、問 31 のような活動に参加しやすいですか。

(あてはまるものすべてに○)

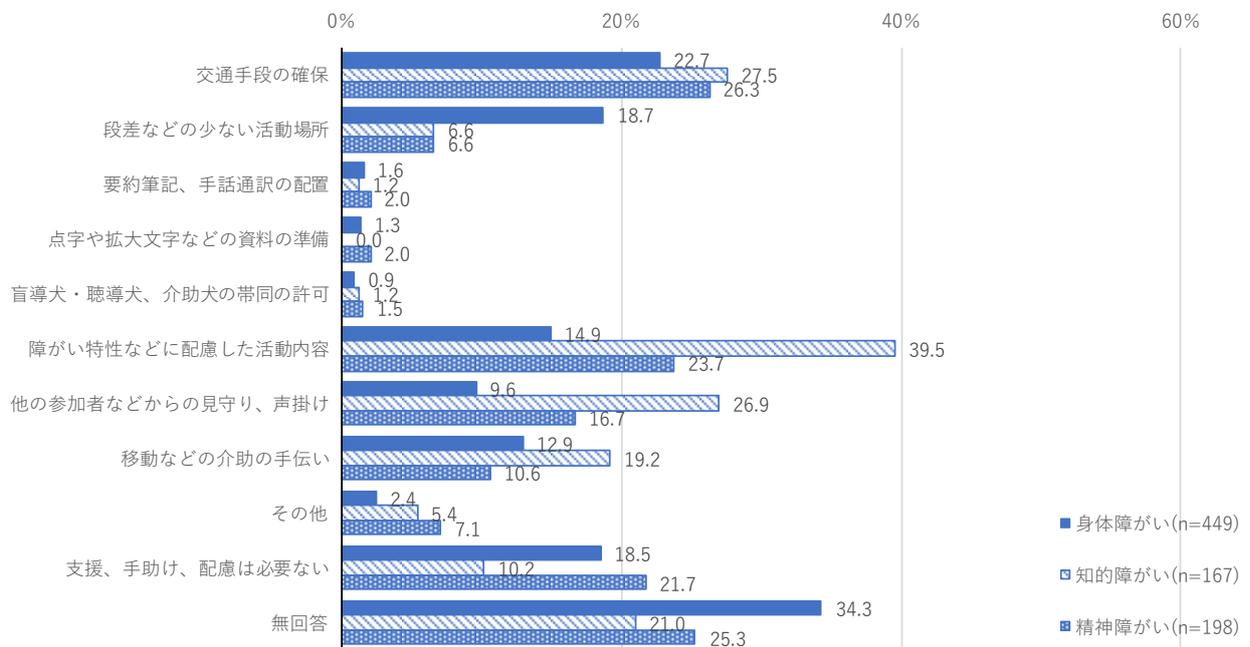
どのような支援や手助け、配慮があれば活動に参加しやすいかについては「交通手段の確保」が 24.6%と最も多く、次いで「障がい特性などに配慮した活動内容」が 22.1%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「障がい特性などに配慮した活動内容」が 39.5%と最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】

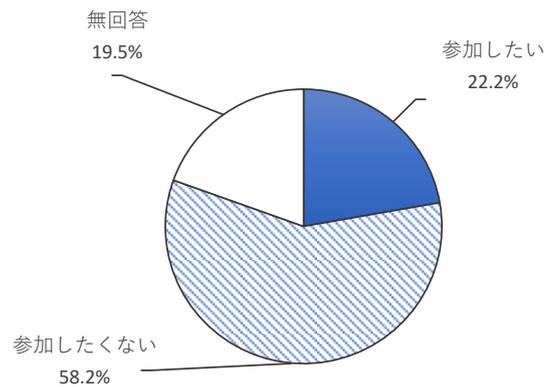


問 33 あなたは、問 31 のような活動の手伝いをしたり、企画・運営をしたりすることに参加してみたいと思いますか。
 (○は1つだけ)

活動の手伝いや企画・運営に参加したいかについては「参加したくない」が 58.2%と最も多く、「参加したい」を大きく上回っています。

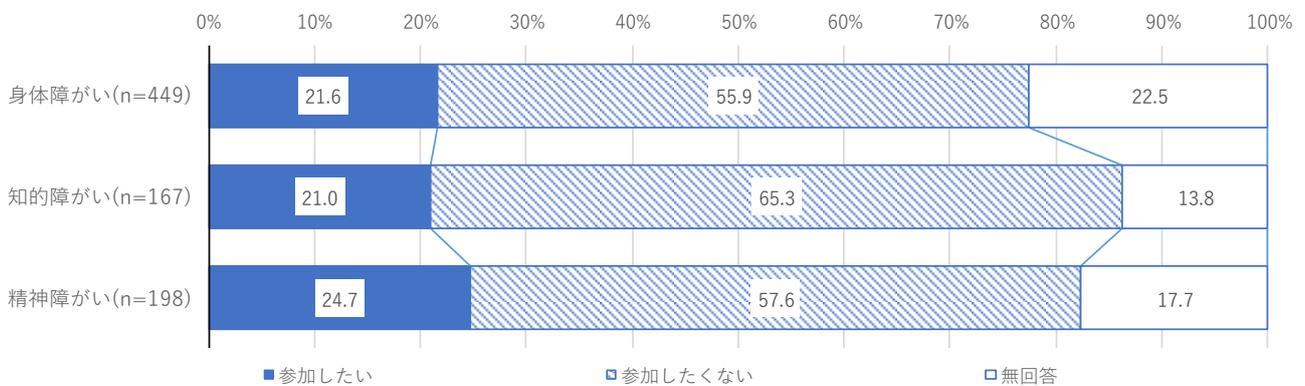
障がい別に見ると、どの障がいも「参加したい」は約 2 割となっています。

【全体】



n=814

【身体・知的・精神障がい別】



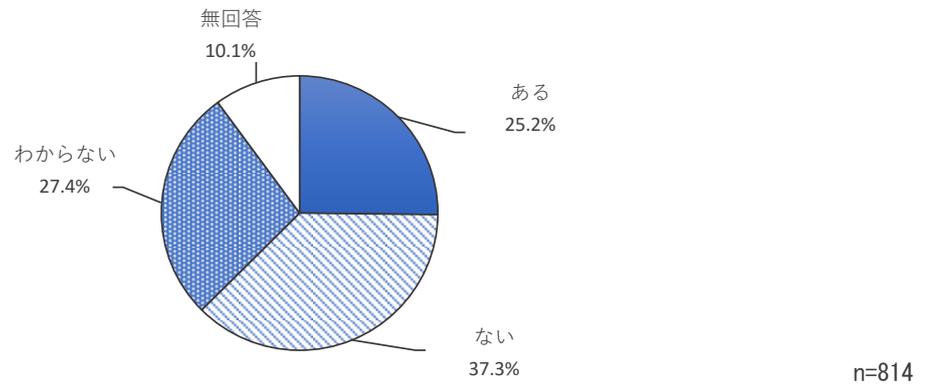
X. 障がいのある人の権利擁護・理解促進、今後の施策について

問 34 あなたは日常生活で、障がいのある人への差別・偏見や疎外感を感じることがありますか。(○は1つだけ)

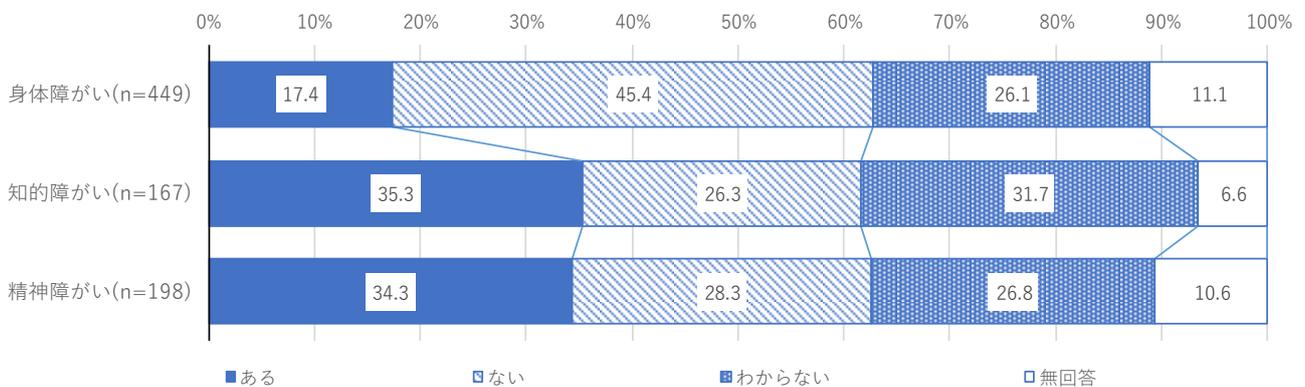
日常生活で差別・偏見や疎外感を感じることがあるかについては「ない」が37.3%と最も多く、次いで「わからない」が27.4%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいでは「ない」が45.4%と最も多くなっています。知的障がいと精神障がいでは「ある」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】



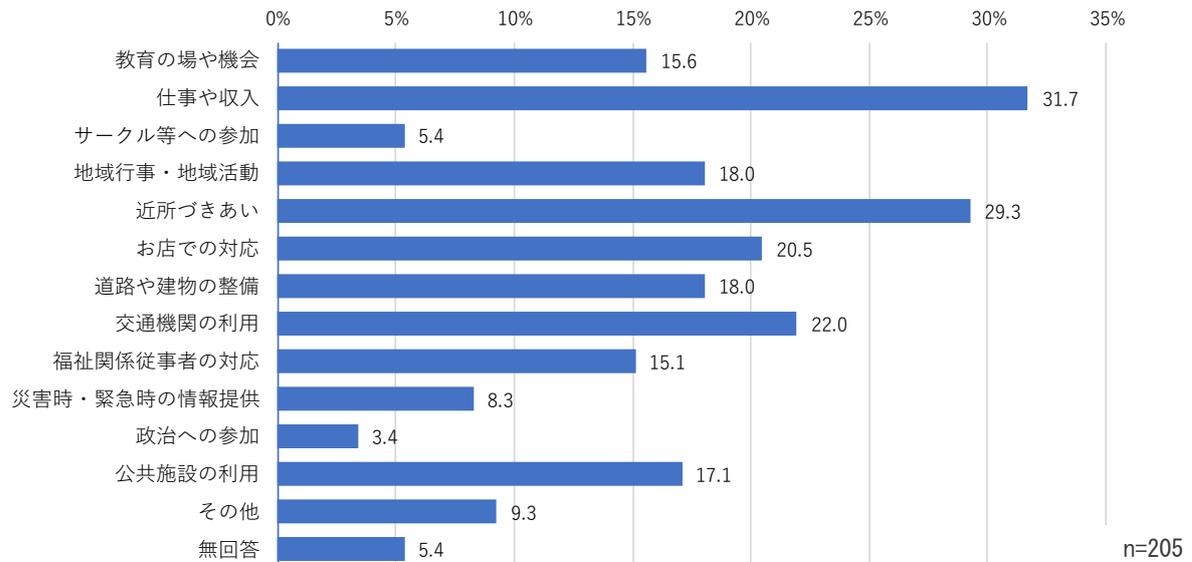
問 34 で「1. ある」を回答した方におたずねします。

問 34-1 次のどのようなところで差別・偏見や疎外感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

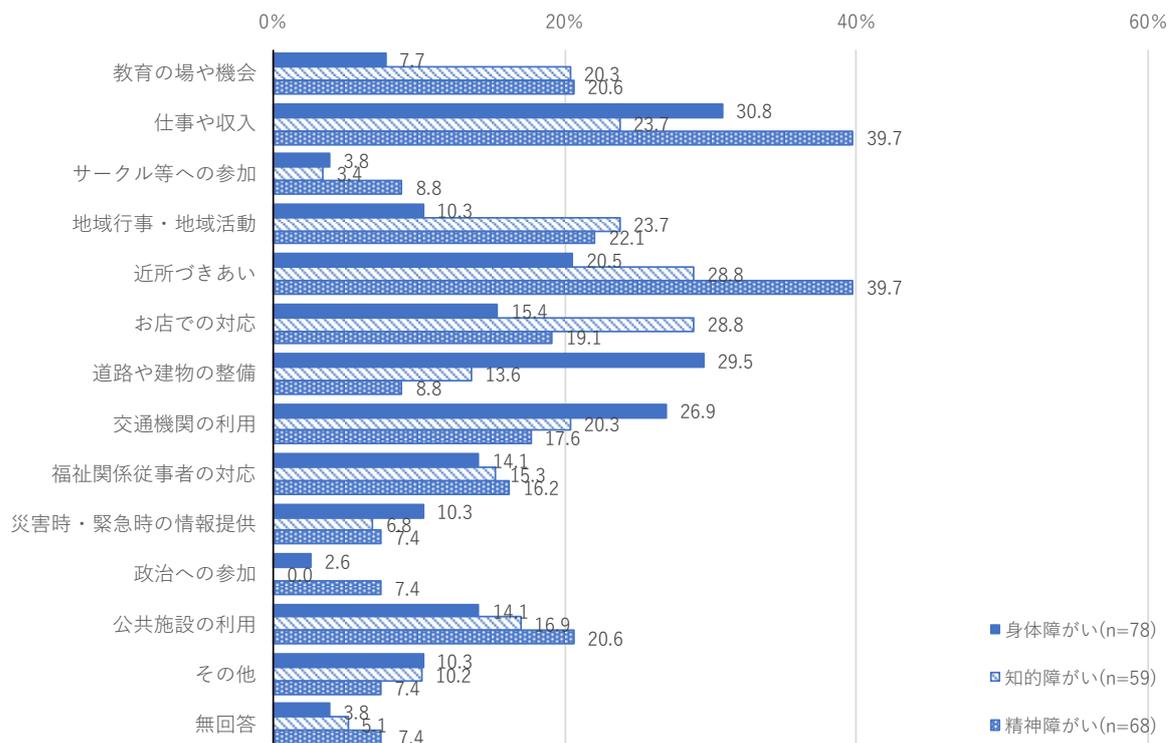
どのようなところで差別・偏見や疎外感を感じるかについては、「仕事や収入」が 31.7%と最も多く、次いで「近所づきあい」が 29.3%と多くなっています。

障がい別に見ると、身体障がいでは「仕事や収入」が 30.8%、精神障がいでは「仕事や収入」と「近所づきあい」が 39.7%と最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



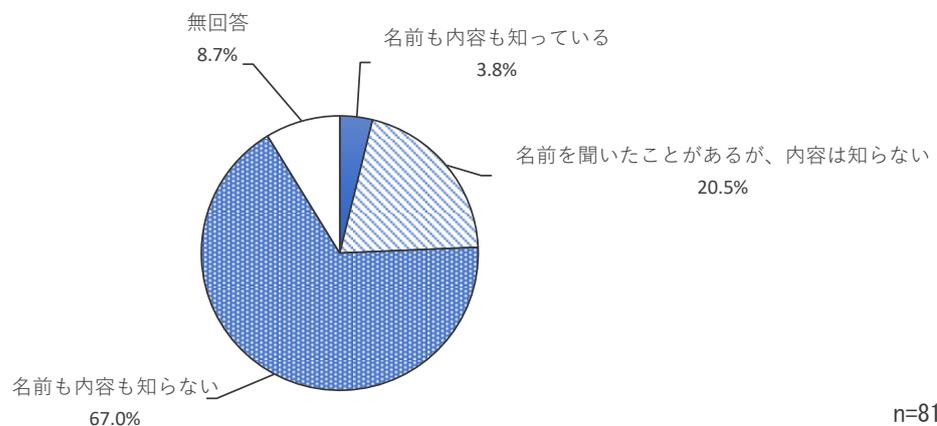
問 35 千葉県では、全国に先駆けて「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を制定し、取り組みを積極的に進めています。あなたは、この条例についてご存じでしたか。

(○は1つだけ)

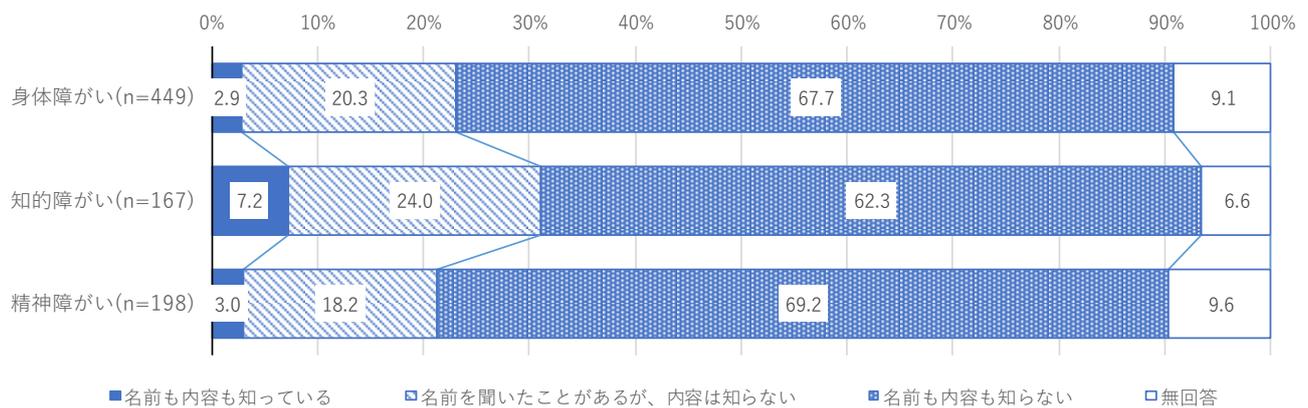
「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の周知については、「名前も内容も知らない」が67.0%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が20.5%、「名前も内容も知っている」が3.8%となっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「名前も内容も知っている」と「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」を合わせた「名前を知っている」の合計は31.2%と、他の障がいに比べ多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



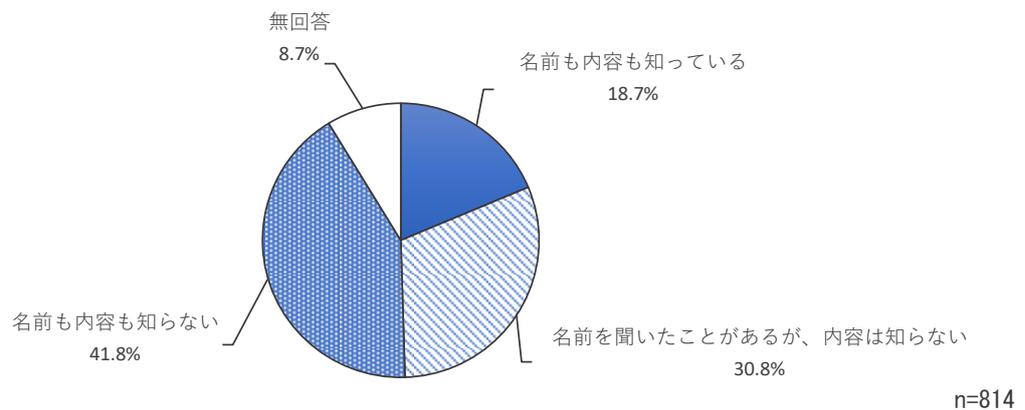
問 36 あなたは、「成年後見制度」についてご存知ですか。

(○は1つだけ)

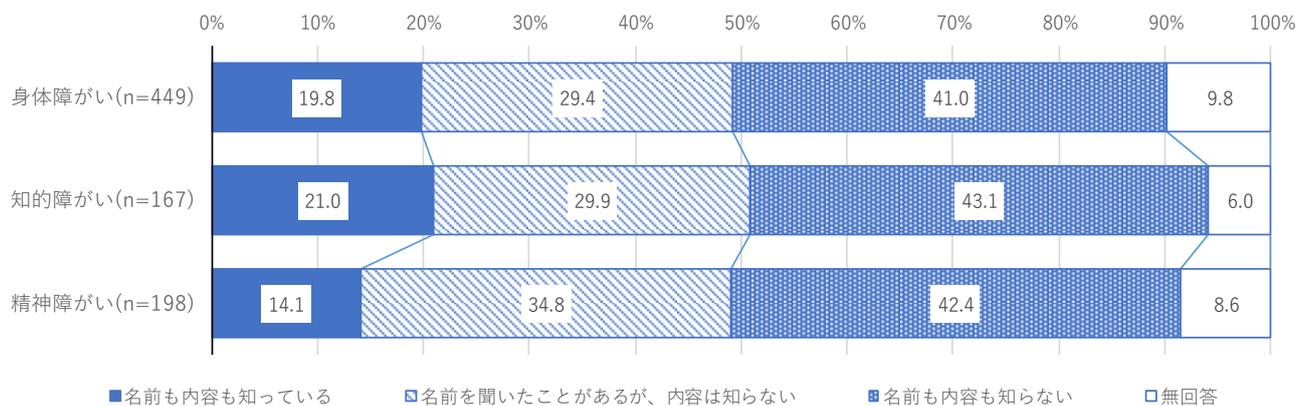
「成年後見人制度」の周知については、「名前も内容も知らない」が41.8%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が30.8%、「名前も内容も知っている」が18.7%となっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「名前も内容も知っている」が21.0%と多い一方、「名前も内容も知らない」は43.1%と、他の障がいに比べると多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



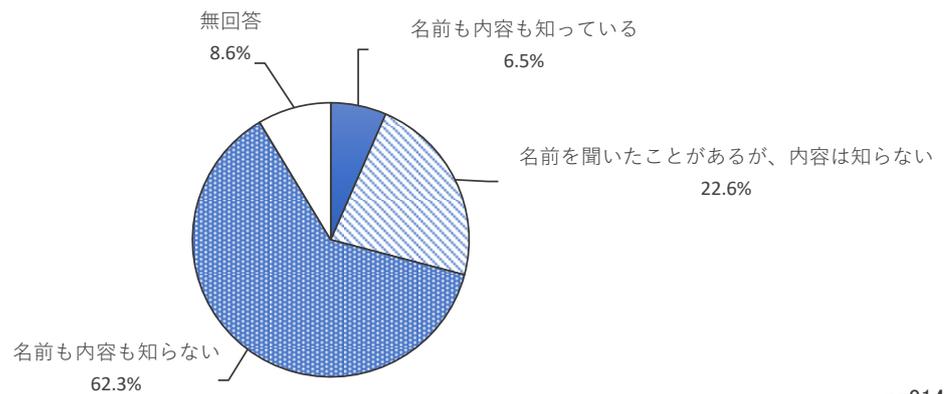
問 37 あなたは、「障害者差別解消法」についてご存知ですか。

(○は1つだけ)

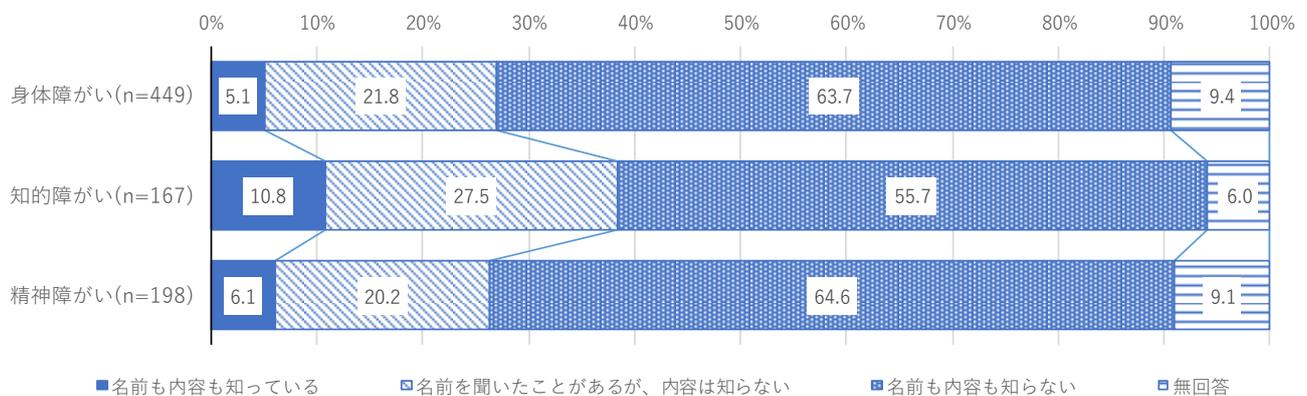
「障害者差別解消法」の周知については、「名前も内容も知らない」が62.3%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が22.6%、「名前も内容も知っている」が6.5%となっています。

障がい別に見ると、身体障がいでは「名前も内容も知っている」割合が最も少なく、5.1%となっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



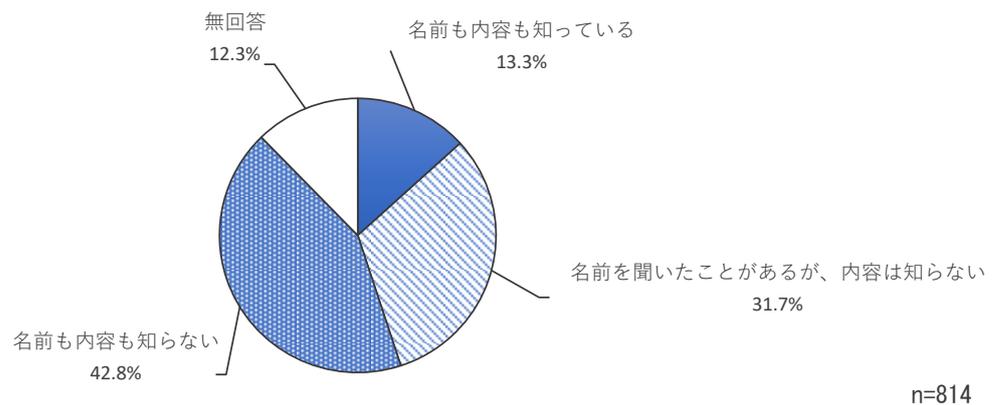
問 38 あなたは、「障害者虐待防止法」についてご存知ですか。

(○は1つだけ)

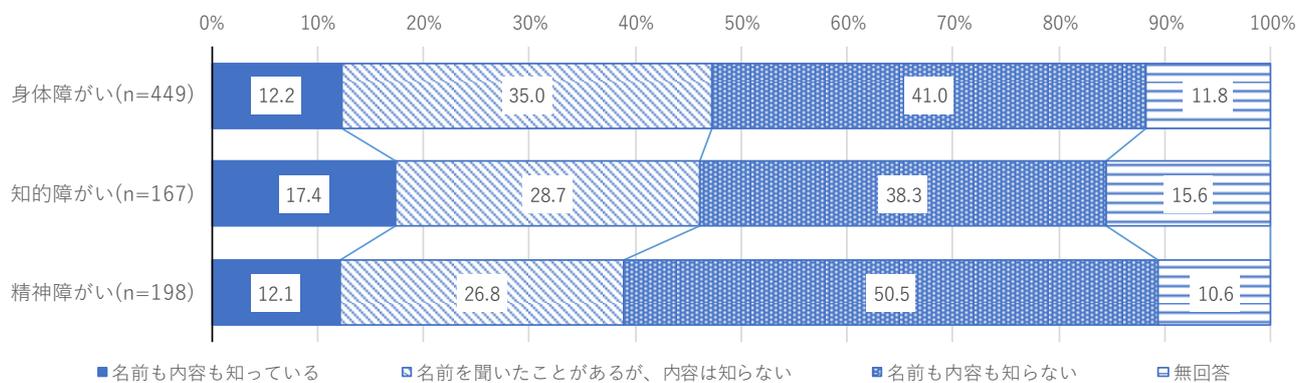
「障害者虐待防止法」の周知については、「名前も内容も知らない」が42.8%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が31.7%、「名前も内容も知っている」が13.3%となっています。

障がい別に見ると、精神障がいでは「名前も内容も知っている」と「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」を合わせた「名前を知っている」の合計は38.9%と、他の障がいに比べ少なくなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】

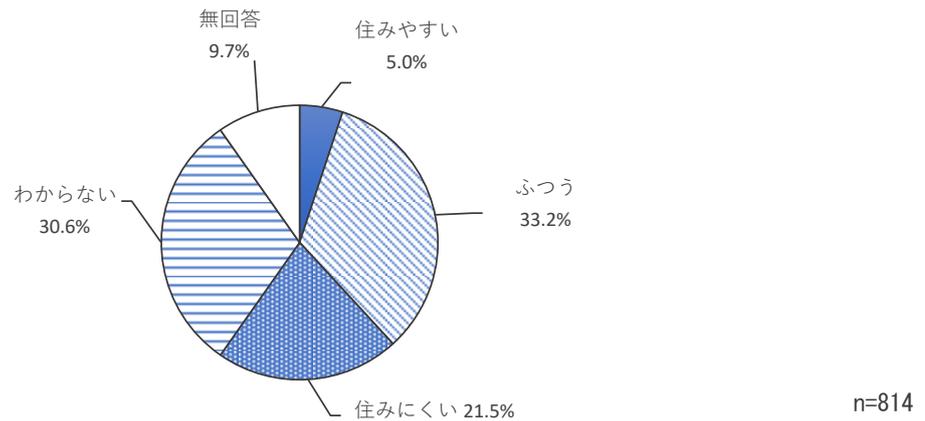


問 39 富津市は障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。 (○は1つだけ)

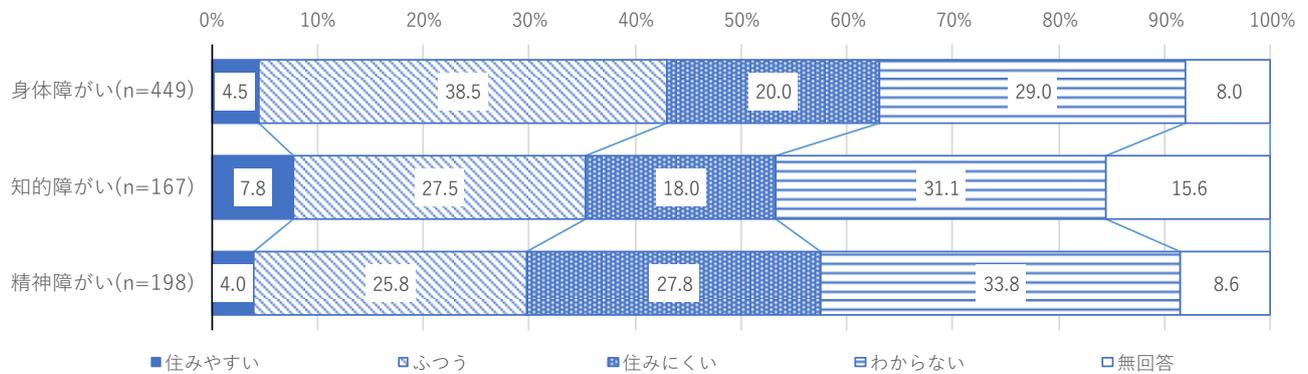
富津市は障がいのある人にとって住みやすいかについては、「ふつう」が33.2%と最も多く、次いで「わからない」が30.6%となっています。

障がい別に見ると、「わからない」を除いて、身体障がいと知的障がいでは「ふつう」が最も多くなっています。精神障がいでは「住みにくい」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神障がい別】



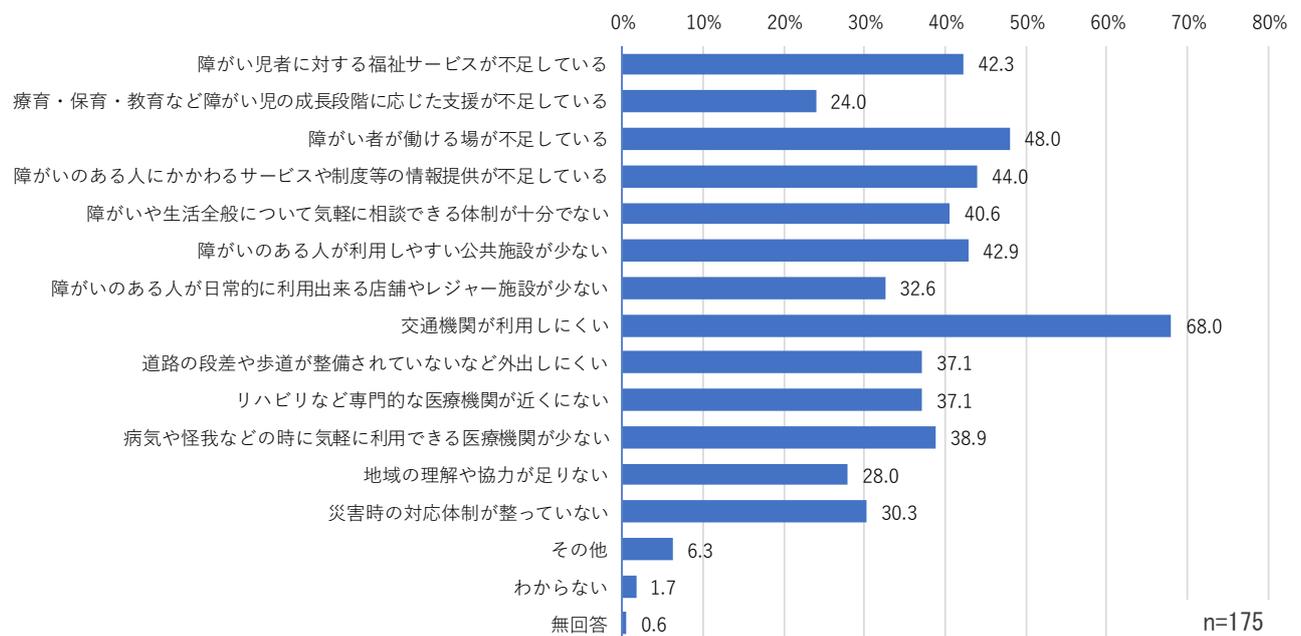
問 39 で「3. 住みにくい」を回答した方におたずねします。

問 39-1 住みにくいと思う理由は何だとお考えですか。 (あてはまるものすべてに○)

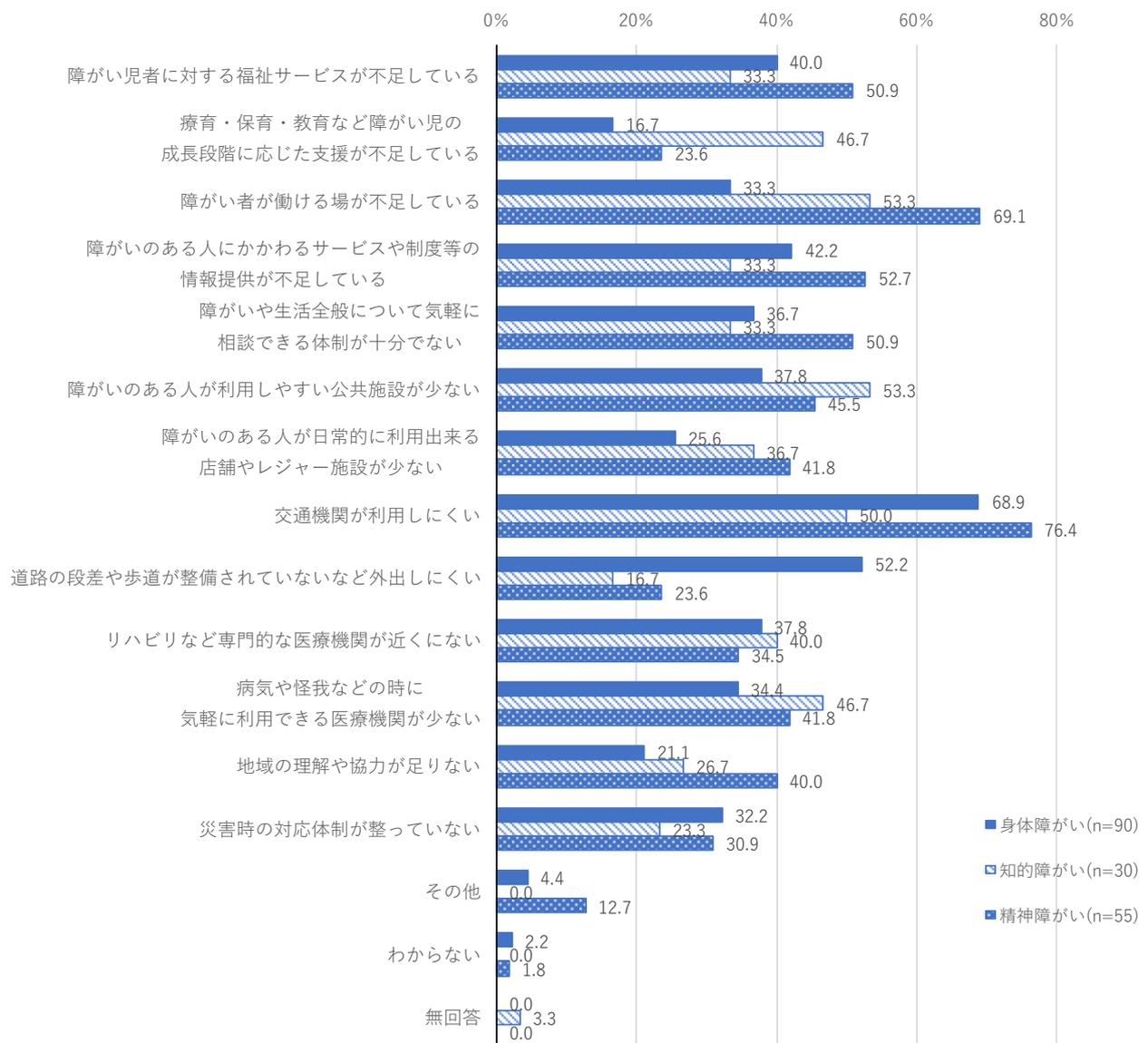
住みにくい理由について「交通機関が利用しにくい」が 68.0%で最も多く、次いで「障がい者が働ける場が不足している」が 48.0%と多くなっています。

障がい別に見ると、精神障がいでは「交通機関が利用しにくい」が 76.4%と最も多く、次いで「障がい者が働ける場が不足している」「障がいのある人にかかわるサービスや制度等の情報提供が不足している」が多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】

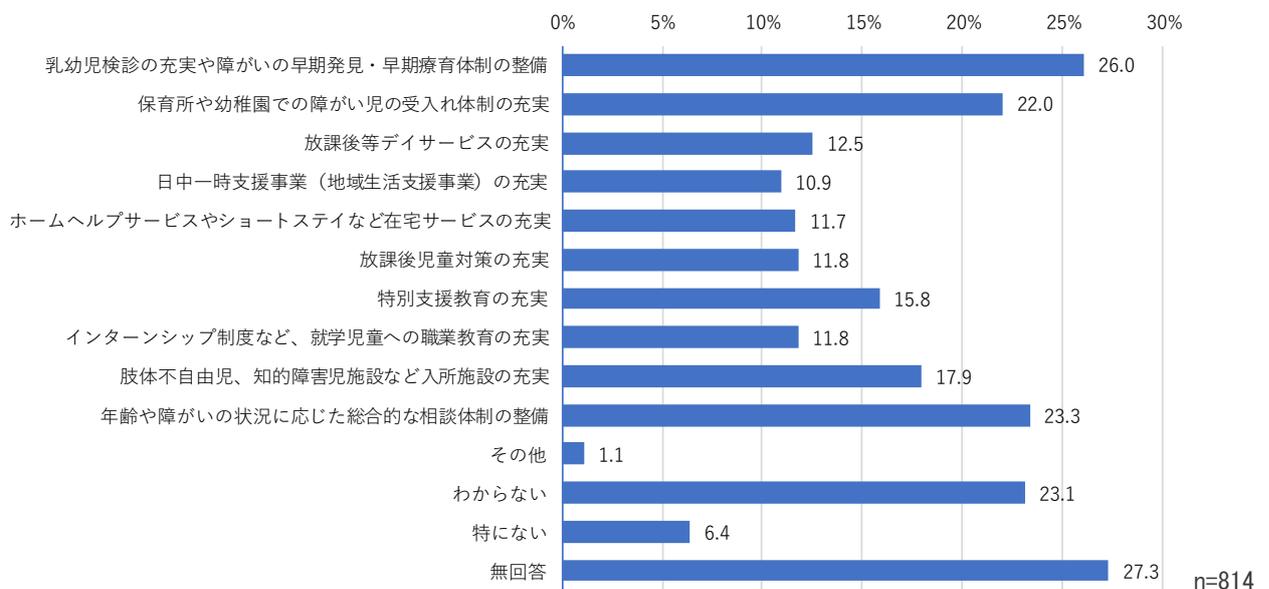


問 40 障がいのある子どもに対する支援サービスについて今後特に充実していくべきと思われるのは次のどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

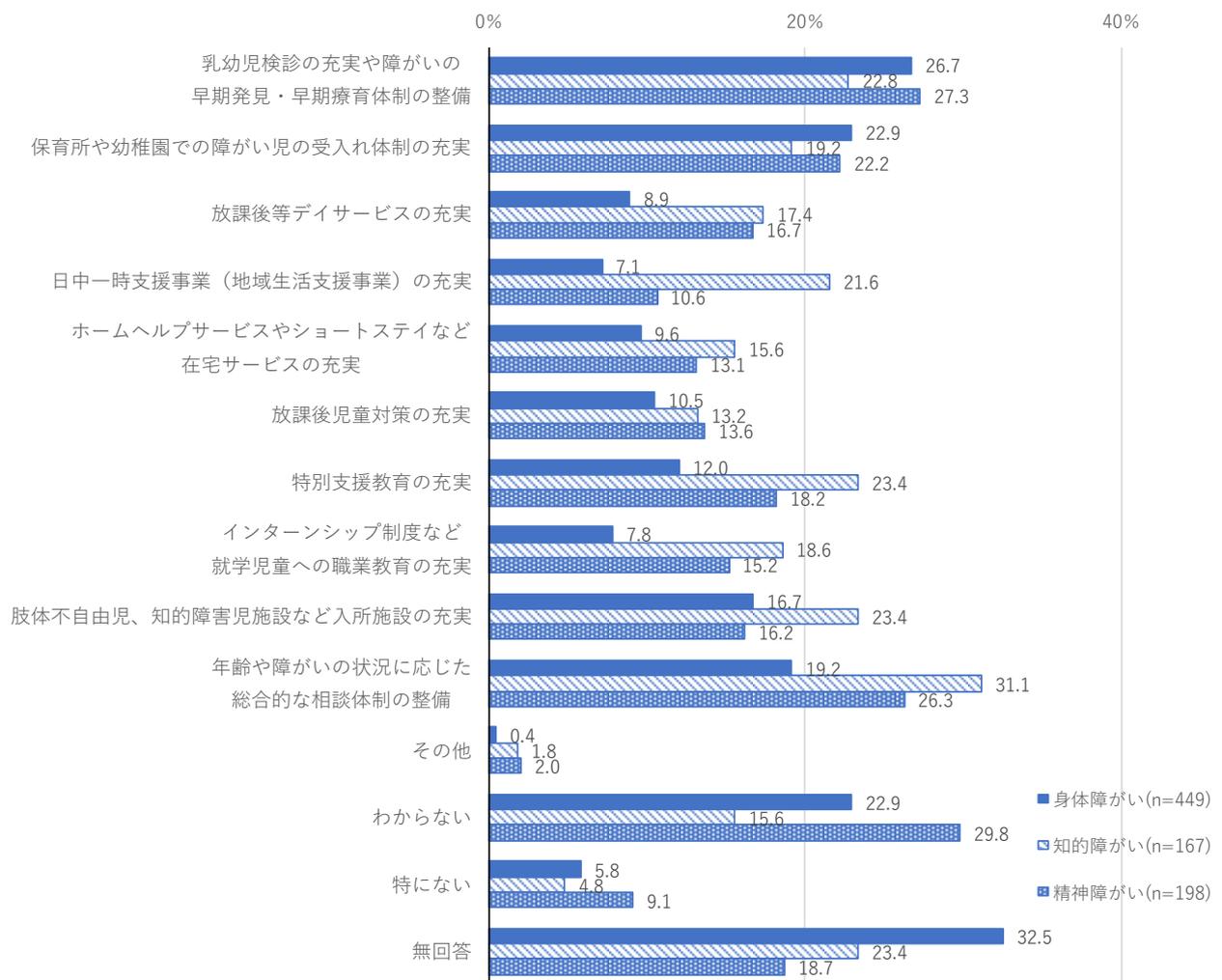
今後充実すべき障がいのある子どもに対する支援サービスについては、「乳幼児検診の充実や障がいの早期発見・早期療育体制の整備」が 26.0%と最も多く、次いで「年齢や障がいの状況に応じた総合的な相談体制の整備」が 23.3%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「年齢や障がいの状況に応じた総合的な相談体制の整備」が 31.1%と最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】



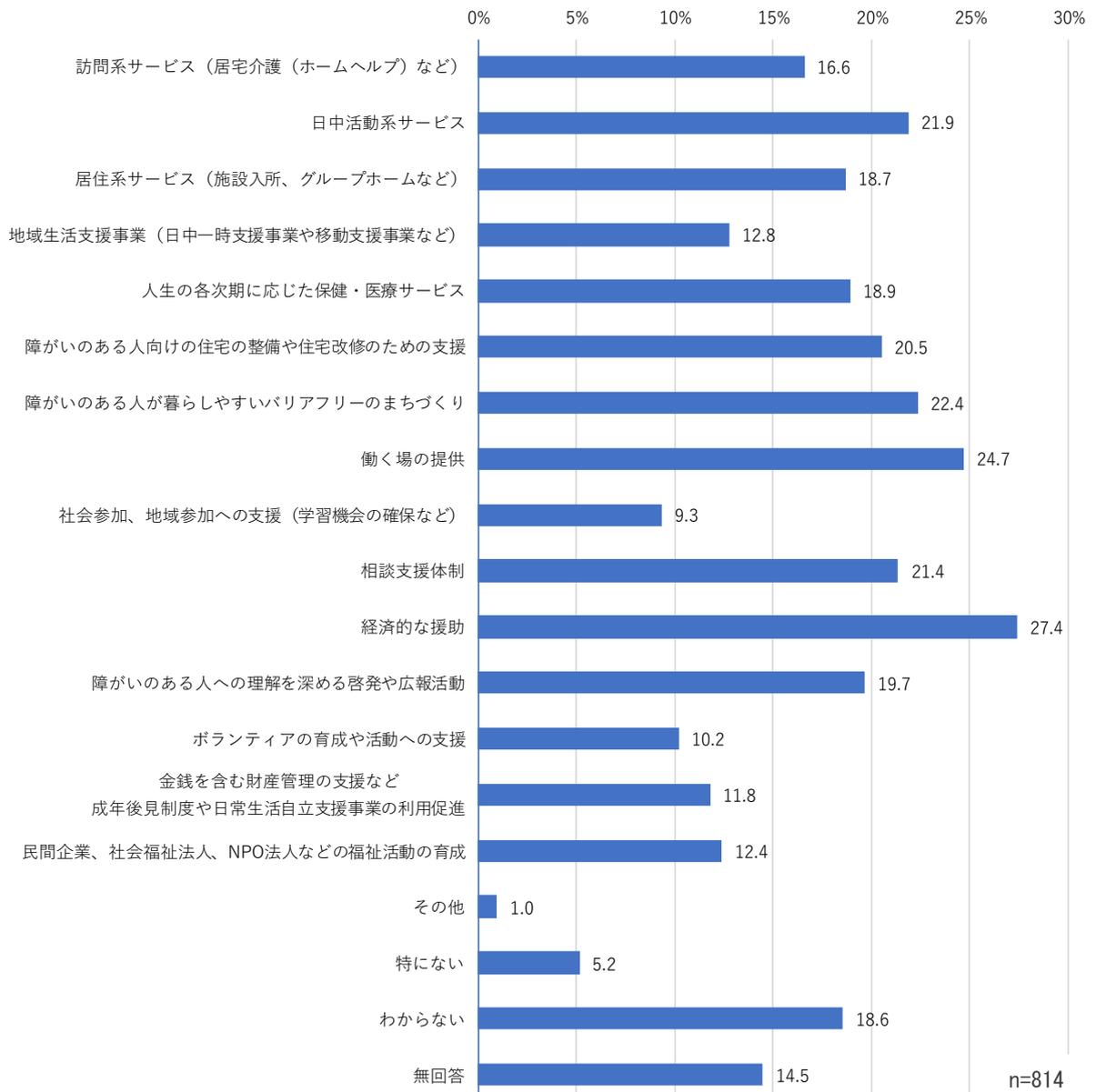
問 41 今後、市が障がい福祉の施策として、特に力を入れていくべきことは何だとお考えですか。

(あてはまるものすべてに○)

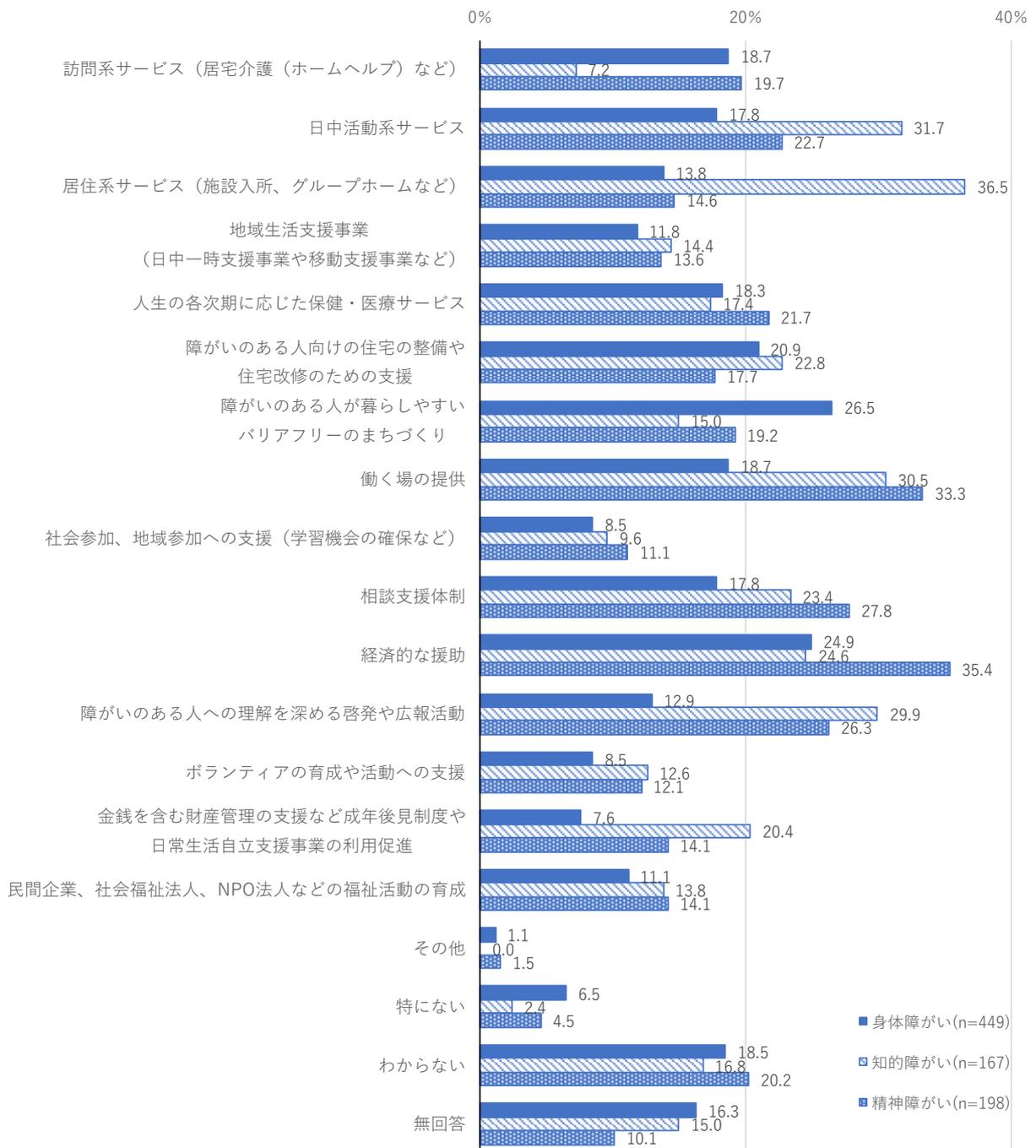
今後、市が障がい福祉の施策として、特に力を入れるべきことについては、「経済的な援助」が 27.4%で最も多く、次いで「働く場の提供」が 24.7%と多くなっています。

障がい別に見ると、知的障がいでは「居住系サービス（施設入所、グループホームなど）」が、精神障がいでは「経済的な援助」が最も多くなっています。

【全体】



【身体・知的・精神/障がい別】



XI. 自由記載

問 42 その他、障がい福祉に関して市へのご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

814 人中、117 人（14.4%）の記載がありました。

自由記載意見（抜粋）	類似件数
・障がいのある人の交通手段の確保や、障がい福祉サービス以外の障がいのある人への支援に関する意見や要望	23 件
・自身の障がいに対する意見や今後の展望	15 件
・アンケートについての意見など	14 件
・障がいに対する差別や理解の促進に関する意見	14 件
・身近に気軽に相談できるような、相談支援体制の充実の意見や要望	12 件
・職員の障がいのある人に対する対応についての苦情や意見、要望	11 件
・グループホームや短期入所など、市内の障がい者施設の設置に関する意見や要望	9 件
・今後の将来への不安	8 件
・医療費や医療施設などに対する意見や要望	5 件
・障がいのある人の個人情報に関する苦情や意見	5 件
・市内のバリアフリーについての意見や要望	5 件
・企業誘致や障がいのある人が就業できる企業の紹介など、就労支援に関する要望	4 件
・障がいのある子への教育、学校についての意見	4 件
・障がいのある人への支援、障がい福祉サービスの情報提供についての意見や要望	4 件
・障がい福祉サービスが分からない	3 件
・経済的な支援の要望	
・災害時の避難体制について	
・障がい者スポーツについて	
・民生委員への要望	

※意見 1 件の場合は件数を表記していません。また、回答者によっては複数の意見があるため、回答人数と意見の件数の合計は一致しません。

資料 調査票

障がい福祉に関するアンケートにご協力ください

市民の皆様には日頃から福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、富津市では、障がいのある方への福祉について更なる推進を図るため、「いきいきふつつ障害者プラン（第3次基本計画（平成30から38年度まで）・第5期障害福祉計画（第1期障害児計画）（平成30から32年度まで）」を策定することとなりました。

このアンケート調査は、計画策定の基礎資料とさせていただくため、無作為で選ばせていただいた身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療費支給認定受給者証をお持ちの方から、生活の状況や障がい福祉に関するご意見、ご要望などをお聞かせいただくものです。

質問の数がたいへん多く、ご負担をおかけすることになりますが、皆様にはアンケート調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成29年9月

富津市長 高橋 恭市

アンケート調査について

このアンケート調査は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療費支給認定受給者証をお持ちの方を対象としていることから、質問、選択肢の中で、直接関係のない内容（項目）もありますことをご了承ください。調査は無記名で行い、その結果については、計画策定の資料としてのみ使用し、他に使用することは一切ございません。

また、ご記入いただきました調査票は、まことに恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手不要）で9月29日（金）までに、お名前やご住所を書かずに、ポストにご投函くださいますよう、あわせてお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

1. 障がいのある方（封筒のあて名の方）の状況についてお答えください。
2. できるだけ、ご本人がお答えください。
3. 年齢や障がいなどにより、ご本人が答えられない場合は、介助（支援）者をご本人の意見・立場に立ってお答えください。
4. 質問には、全員の方にお答えいただくものと、一部の方にお答えいただくものがあります。説明にそってお答えください。

●この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

富津市役所 社会福祉課 障害者福祉係

TEL 0439-80-1260 FAX 0439-80-1355

あなたのことについて

※ この調査では、調査対象者ご本人を「あなた」と呼びます

はじめに、この調査票にお答えいただくのはどなたですか。(〇は1つだけ)

1. 調査対象のあなた自身
2. あなたの意見を聞いて、家族や介助者や施設職員が代筆
3. あなたの意見を確かめることが難しいので、家族や介助者、施設職員が回答

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

1. 男性
2. 女性

問2 あなたは何歳ですか。(平成29年9月1日現在) (〇は1つだけ)

1. 0～5歳
2. 6～17歳
3. 18～39歳
4. 40～64歳
5. 65～74歳
6. 75歳以上

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(〇は1つだけ)

1. 富津
2. 青堀
3. 飯野
4. 大貫
5. 吉野
6. 佐貫
7. 湊・天神山
8. 竹岡・金谷
9. 峰上
10. その他の市町村 ()

問4 あなたは、現在、誰と生活していますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 親
2. 夫または妻
3. 子どもやその配偶者
4. 孫やその配偶者
5. 兄弟姉妹やその配偶者
6. 祖父母
7. 「1」～「6」以外の親族
8. 友人・知人
9. ひとりで暮らしている
10. その他
()

※グループホーム、福祉入所施設(障害者施設・高齢者施設)を利用されている方は「9」としてください。

問5 以下の中で、あなたにあてはまるものすべてに○をつけ、障害程度を記入（又は○を付けて）ください。また、難病に○をつけた方は病名もご記入ください。

1. 身体障害者手帳を持っている (_____ 級) → 問5-1へ
2. 療育手帳を持っている ((A)・(A)の1・(A)の2・Aの1・Aの2・Bの1・Bの2)
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている (_____ 級)
4. 自立支援医療費支給認定受給者証（精神病院）を持っている
5. 難病 ^{※1} （特定疾患医療）の受給者証を持っている (病名 : _____)
6. 発達障害 ^{※2} がある
7. 高次脳機能障害 ^{※3} がある

- ※1 「難病」とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他特殊な疾病をいいます。
- ※2 「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。
- ※3 「高次脳機能障害」とは、一般に、外傷性脳腫瘍、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害などをさすものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

問5で「1. 身体障害者手帳を持っている」を回答した方におたずねします。

問5-1 どのような障がいがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 肢体不自由（上肢）	2. 肢体不自由（下肢）
3. 肢体不自由（体幹）	4. 聴覚・平衡機能障害
5. 視覚障害	6. 音声・言語・そしゃく機能障害
7. 内部障害（「1」～「6」以外）	

問6 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

1. 非該当	2. 区分1	3. 区分2	4. 区分3
5. 区分4	6. 区分5	7. 区分6	8. 認定を受けていない

問7 は、40歳以上の方におたずねします。

問7 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。（○は1つだけ）

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

あなたの健康や医療について

問8 あなたは、次のような医療ケアを必要としていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 気管切開 | 2. 人工呼吸器 (レスピレータ) |
| 3. 吸入 (ネブライザー等) | 4. たん吸引 |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 6. 鼻腔経管栄養 |
| 7. 中心静脈栄養 (IVH) | 8. 人工透析 |
| 9. カテーテル留置 | 10. ストーマ (人工肛門・人口膀胱) |
| 11. 服薬管理 | |
| 12. その他 () | |
| 13. 必要ない | |

問9 あなたは、現在、医師による診療を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 入院している | 2. 通院している |
| 3. 往診を受けている | 4. 診療は受けていない |

問10 あなたが、医療について困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 診療所や病院が遠い | 2. 受診などの待ち時間が長い |
| 3. 高額な医療費が生活を圧迫し、そのため受診を控えるなど、金銭面について | 4. 往診や訪問看護をしてもらえない |
| 5. 通院時に付き添いをしてくれる人がいない | |
| 6. 専門的な治療を行ってくれる医療機関が近くにない | |
| 7. 医師に病気のことや薬のことを聞けない | |
| 8. その他 () | |
| 9. 特に不満や困ったことはない | |

介助の状況について

問11 あなたの主な介助者（支援者）とは、どなたですか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 親 | 2. 夫または妻 |
| 3. 子どもやその配偶者 | 4. 孫やその配偶者 |
| 5. 兄弟姉妹やその配偶者 | 6. 祖父母 |
| 7. その他の親族 | 8. 友人・知人・近所の人 |
| 9. ボランティア | 10. ホームヘルパー |
| 11. 施設・病院の職員 | 12. その他（ ） |
| 13. 介助（支援）は受けていない | → 問11-3へ |

問11で「1.」～「8.」を回答した方におたずねします。

問11-1 あなたを主に介助している人は何歳ですか

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 | 4. 50～59歳 |
| 5. 60～64歳 | 6. 65～74歳 | 7. 75歳以上 | |

問11で「1.」～「8.」を回答した方におたずねします。

問11-2 あなたを主に介助している人が介助できなくなった場合、どのようにしたいと思いますか（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. 家族・親戚に頼む | 2. 知人・友人・近所の人に頼む |
| 3. ボランティアに頼む | 4. 病院を利用する |
| 5. グループホーム、福祉入所施設（障害者施設・高齢者施設）を利用する | |
| 6. ホームヘルプ・ショートステイなどを利用する | |
| 7. その他（ ） | |
| 8. どうするか決めていない・わからない | |

問11で「13. 介助（支援）は受けていない」と回答した方におたずねします。

問11-3 将来必要と思われる介助はどのようなことですか（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---------------------------------|-----------|----------|--------------|
| 1. 食事 | 2. 家事 | 3. トイレ | 4. 着替え・みだしなみ |
| 5. 入浴 | 6. 寝返り | 7. 室内の移動 | 8. 外出 |
| 9. 金銭管理 | 10. 薬の管理 | | |
| 11. その他（ ） | 12. わからない | | |

サービスの利用について

問 12 富津市では、以下のような障害福祉サービスを提供しています。それぞれの利用状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	利用している		利用していない		
	満足している	不満がある	今後は利用したい	今後もしない	よくわからない。 どういうサービスか
① 居宅介護	1	2	3	4	5
② 重度訪問介護	1	2	3	4	5
③ 行動援護	1	2	3	4	5
④ 同行援護	1	2	3	4	5
⑤ 重度障害者等包括支援	1	2	3	4	5
⑥ 短期入所	1	2	3	4	5
⑦ 生活介護	1	2	3	4	5
⑧ 療養介護	1	2	3	4	5
⑨ 自立訓練	1	2	3	4	5
⑩ 就労移行支援	1	2	3	4	5
⑪ 就労継続支援（A型）	1	2	3	4	5
⑫ 就労継続支援（B型）	1	2	3	4	5
⑬ 児童発達支援・放課後等デイサービス	1	2	3	4	5
⑭ グループホーム [※]	1	2	3	4	5
⑮ 施設入所支援	1	2	3	4	5
⑯ 相談支援事業	1	2	3	4	5
⑰ 地域活動支援センター	1	2	3	4	5
⑱ 移動支援	1	2	3	4	5
⑲ 日常生活用具給付	1	2	3	4	5
⑳ 日中一時支援	1	2	3	4	5

※ いわゆる「ケアホーム」を含む。サービス名：「共同生活援助」

問 13 サービス利用に関して不満や困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○) また、「8. その他」を選んだ方は具体的にご記入ください。

1. 利用したいサービスがあっても利用しづらい(事業所の不足や、場所が遠いなど)	
2. 利用できる回数や日数が少ない	3. サービスの質が悪い
4. 利用者負担が大きい	5. 手続きが難しい
6. サービスに関する情報が少ない	7. 特にない
8. その他(具体的に)	

日中活動や就学・就労について

問 14 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

1. 毎日外出する	4. 全く外出しない
2. 1週間に数回外出する	
3. めったに外出しない	

問 14で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

問 14-1 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

1. 父母・祖父母・兄弟	2. 配偶者(夫または妻)
3. 子ども	4. ホームヘルパーや施設の職員
5. その他の人(ボランティア等)	6. 一人で外出する

問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

問 14-2 あなたの主な外出方法は何ですか。(利用の多い3つに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. 車いす
4. 自動車を自分で運転する	5. 自動車に乗せてもらう	
6. 電車	7. バス	8. タクシー
9. 移送サービス	10. その他 ()

問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

問 14-3 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤・通学・通所	2. 訓練やリハビリに行く
3. 医療機関への受診	4. 買い物に行く
5. 知人・友人に会う	6. 趣味やスポーツをする
7. グループ活動に参加する	8. 散歩に行く
9. その他 ()

問 14 で「1.」～「3.」を回答した方におたずねします。

問 14-4 外出するときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通機関が少ない(ない)	2. 列車やバスの乗り降りが困難
3. 道路や駅に階段や段差が多い	4. 外出にお金がかかる
5. 介助者の確保ができない	6. 周囲の目が気になる
7. 発作などの突然の身体の変化が心配	
8. 困ったときにどうすればいいのかが心配	
9. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	
10. 外出先の建物の設備が不便(通路・トイレ・エレベーターなど)	
11. その他 ()
12. 特にない	

問 15 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている。
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 福祉通所施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 入所施設や病院等で過ごしている
8. その他()
9. 特に何もしていない

問 15-2 へ

問 15で「1.」を回答した方におたずねします。

問 15-1 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 正社員で、他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正社員で、短時間勤務など障がいについて配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業
5. その他()

問 15で「1.」以外を回答した、18歳以上の方におたずねします。

問 15-2 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい
2. 以前は仕事をしていたが、今後はしないと思う
3. これまで就労経験はなく、今後もしないと思う
4. 仕事をしたくない、できない
5. わからない
6. その他()

問 15で「1.」以外を回答した、18歳以上の方におたずねします。

問 15-3 収入を得る仕事をつくために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. すでに職業訓練を受けている
2. 職業訓練を受けたい
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問 16 あなたは、障がいのある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 職場の施設面でのバリアフリー化 | 2. 通勤経路のバリアフリー化 |
| 3. 通勤を自立して行うための訓練や支援 | 4. 障がいや病状に応じた勤務体制 |
| 5. ジョブコーチ [※] などからの支援 | |
| 6. 仕事の内容や職場の人間関係などの就労に関する総合的な相談支援 | |
| 7. 職場で自分の考えを伝えるときの支援 | 8. 自分に合った仕事や求人情報 |
| 9. 自分に合った仕事を見つける支援 | 10. 在宅勤務の拡充 |
| 11. 企業内就労体験（インターンシップなど） | |
| 12. 障がいの特性に合った職業訓練 | 13. 障がいについての職場での理解促進 |
| 14. その他（具体的に： | ） |
| 15. 特にない | 16. わからない |

※ ジョブコーチ：障がいのある人と一緒に職場に入り、ひとりで仕事ができるようになるまでの手助けをしたり、障がいのある人と勤め先との調整などをする支援者です。

問 17 と 18 は、18 歳以下の方におたずねします。

問 17 あなたが主に通園、通学しているところはどこですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 幼稚園 | 2. 保育所(園) | 3. 障がい児の通所施設 |
| 4. 小学校の通常学級 | 5. 小学校の特別支援学級 | 6. 特別支援学校小学部 |
| 7. 中学校の通常学級 | 8. 中学校の特別支援学級 | 9. 特別支援学校中学部 |
| 10. 高等学校 | 11. 特別支援学校高等部 | |
| 12. その他 | | |

()

13. 通園・通学していない

問 17 で「1.」～「12.」を回答した方におたずねします。

問 17-1 通園・通学において困っていること、心配なことはありますか
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 通園・通学の送迎 | 2. 園や学校の設備面の不備 |
| 3. 園や学校の人的支援の不足 | 4. 周囲の子どもとの関係 |
| 5. 教職員の指導方法 | 6. 他の父母との関係 |
| 7. 放課後の過ごし方 | 8. 卒業後・進路についての情報不足 |
| 9. 経済的負担 | |
| 10. その他 () | |
| 11. 特にない | |

問 18 あなたが現在、通園・通学している園や学校について、不安や不満に感じていることがあればその内容をご記入ください。卒業している場合は、直近で通っていた園や学校についてもご記入ください。

(記入例)・教職員や同級生などの障害に対する理解が乏しい。 ・段差などのバリアが多い 等

住まいや暮らしについて

問19 あなたは、現在どこで生活していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 福祉入所施設（障がい者施設、高齢者施設） | |
| 2. グループホーム | 3. 病院・療養所に入院している |
| 4. あなた又は家族の持家 | 5. 民間の賃貸住宅 |
| 6. 県営・市営住宅、公社・公団の賃貸住宅 | |
| 7. 社宅・公務員住宅等の賃貸住宅 | |
| 8. その他（ | ） |

問20 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 今のまま生活したい | 2. グループホームを利用したい |
| 3. 家族と一緒に生活したい | 4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい |
| 5. その他（ | ） |

問21 地域で生活（持家、賃貸住宅、グループホーム等）するのにあたっては、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること | |
| 2. 障がいのある人に適した住宅の確保 | |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | |
| 4. 生活訓練等の充実 | 5. 経済的な負担の軽減 |
| 6. 相談対応等の充実 | 7. 地域住民等の理解 |
| 8. コミュニケーションについての支援 | |
| 9. その他（ | ） |
| 10. 特にない | |

福祉や生活に関する相談・情報入手について

問22 あなたは、今の生活について不安や悩みはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 住まいの場について | 2. 生活費について |
| 3. 健康や医療のことについて | 4. 着替えや食事、家事などについて |
| 5. 介助者について | 6. 家族との関係について |
| 7. お金の管理について | 8. ことばや意思の伝達などについて |
| 9. 移動・外出について | 10. 日中の活動について |
| 11. 余暇活動について | 12. 学校について |
| 13. 仕事について | 14. 近所との関係について |
| 15. その他
() | |
| 16. 特に不安や悩みはない | |

問23 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなた(どこ)に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 家族・親せき | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 市役所・児童相談所などの行政機関 |
| 5. 障がい者団体、患者団体や家族会 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 障害者相談員 | 8. 相談支援事業所などの民間の窓口 |
| 9. 入所・通所施設の職員 | 10. ホームヘルパー・世話人 |
| 11. 発達障害者支援センター | 12. 地域包括支援センター |
| 13. 市社会福祉協議会 | 14. 医師・看護師などの医療関係者 |
| 15. 学校の先生 | 16. 職場の人 |
| 17. その他
() | |
| 18. 特に相談はしない | 19. 相談する場所(人)がない(いない) |

問 24 相談事業を充実するために（あなたが相談したときに満足できるよう）、特にどのようなことをすればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 相談員のスキルアップ研修を行う
2. 専門性のある相談員を配置する
3. 気軽に相談できる窓口の数を増やす
4. 1か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する
5. 夜間や休日なども相談できる窓口を整備する
6. 相談員が自宅などに来てくれる訪問相談を行う
7. 障がいのある人やその家族など、同じ立場の人に相談できる場を設ける
8. その他（)
9. 特にない

問 25 あなたは、福祉関連の情報を主にどこ（どなた）から入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 県や市などの広報誌 | 2. 新聞やテレビ、ラジオ |
| 3. 市のホームページ | 4. インターネット |
| 5. 家族や親せき、知人、友人 | 6. 学校・職場・福祉施設など |
| 7. 病院・診療所 | 8. 障がい者団体、患者団体や家族会 |
| 9. 障害者相談員 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. 市や保育所などの窓口 | 12. 相談支援事業所などの民間の窓口 |
| 13. その他
() | |
| 14. 特にない | |

問 26 福祉関連情報の入手について、困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. どこに情報があるかわからない
2. 情報の内容が難しく、わかりにくい
3. 点字版や音声コードなどによる情報提供が少ない
4. パソコンなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない
5. パソコンなどを持っていないため、インターネットが利用できない
6. その他（)
7. 特に困っていることはない

災害時の対応について

問27 あなたは、災害時にひとりで避難できますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問28 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問29 あなたは、災害時の対策を立てていますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 家族と避難方法を決めている | |
| 2. 地域の人などと避難方法を決めている | |
| 3. ボランティアの人に災害時の手助けを頼んである | |
| 4. 近所の人に災害時の手助けを頼んである | |
| 5. 食料や水などの備蓄品を用意している | |
| 6. 必要な補装具、医療器具などは安全な場所に保管してあり、すぐに持ち出せる | |
| 7. 補装具や医療器具などの規格・サイズ・販売会社などがわかる | |
| 8. 家具に転倒防止の対策をしている | |
| 9. 家に消火器がある | 10. 避難場所がわかる |
| 11. 特に対策は立てていない | 12. その他の対策がある () |

問30 あなたは、災害時にどのような支援を必要としますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---|--|
| 1. 避難所までの避難誘導・支援の体制づくり(区・近隣住民による支援) | |
| 2. 避難情報を速く的確に伝達できる手段(防災無線以外の方法:メールなど) | |
| 3. 避難所生活での介助や意思疎通などの支援 | |
| 4. 食料や水、薬などの支給 | |
| 5. 福祉避難所(避難生活が長期化する場合に開設される。市役所と天羽老人憩いの家の2箇所)への避難 | |
| 6. 避難マップの支給(避難所までの道程を記載した避難ルート図) | |
| 7. ボランティアによる支援 | |
| 8. その他 () | |
| 9. 特にない | |

地域との結びつきについて

問31 あなたは、この1年間で、障がいのある人もない人も参加する以下のような活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 趣味関係の活動 | 2. スポーツや文化芸術等の活動 |
| 3. 高齢者を支援する活動 | 4. 子どもや子育て世代を支援する活動 |
| 5. 障がいのある人を支援する活動 | 6. 子ども会・老人会・PTAの活動 |
| 7. 町内会・自治会の活動 | 8. その他の活動 |
| 9. いずれも参加したことがない | |

問31で「9. いずれも参加したことがない」を回答した方におたずねします。

問31-1 今後、活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 参加したい | 2. 参加したくない |
|----------|------------|

問32 どのような支援や手助け、配慮があれば、問31のような活動に参加しやすいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 交通手段の確保 | 2. 段差などの少ない活動場所 |
| 3. 要約筆記、手話通訳の配置 | 4. 点字や拡大文字などの資料の準備 |
| 5. 盲導犬、聴導犬、介助犬の帯同の許可 | 6. 障がい特性などに配慮した活動内容 |
| 7. 他の参加者などからの見守り、声掛け | 8. 移動などの介助の手伝い |
| 9. その他() | 10. 支援、手助け、配慮は必要ない |

問33 あなたは、問31のような活動の手伝いをしたり、企画・運営をしたりすることに参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 参加したい | 2. 参加したくない |
|----------|------------|

障がいのある人の権利擁護・理解促進、今後の施策について

問 34 あなたは日常生活で、障がいのある人への差別・偏見や疎外感を感じることはありませんか。(〇は1つだけ)

1. ある

2. ない

3. わからない

問 34 で「1. ある」を回答した方におたずねします。

問 34-1 次のどのようなところで差別・偏見や疎外感を感じますか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 教育の場や機会

2. 仕事や収入

3. サークル等への参加

4. 地域行事・地域活動

5. 近所づきあい

6. お店での対応

7. 道路や建物の整備

8. 交通機関の利用

9. 福祉関係従事者の対応

10. 災害時・緊急時の情報提供

11. 政治への参加

12. 公共施設の利用

13. その他 ()

問 35 千葉県では、全国に先駆けて「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を制定し、取り組みを積極的に進めています。あなたは、この条例についてご存じでしたか。(〇は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている

2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない

3. 名前も内容も知らない

問 36 あなたは、「成年後見制度」についてご存知ですか。(〇は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている

2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない

3. 名前も内容も知らない

問 37 あなたは、「障害者差別解消法」についてご存知ですか。(〇は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている

2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない

3. 名前も内容も知らない

問38 あなたは、「障害者虐待防止法」についてご存知ですか。(〇は1つだけ)

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

問39 富津市は、障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

- 1. 住みやすい
- 2. ふつう
- 3. 住みにくい
- 4. わからない

問39で「3. 住みにくい」を回答した方におたずねします。

問39-1 住みにくいと思う理由は何だとお考えですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 障がいのある人や子どもに対する福祉サービスが不足している
- 2. 療育・保育・教育など障がいのある子の成長段階に応じた支援が不足している
- 3. 障がいのある人が働ける場が不足している
- 4. 障がいのある人にかかわるサービスや制度等の情報提供が不足している
- 5. 障がいや生活全般について気軽に相談できる体制が十分でない
- 6. 障がいのある人が利用しやすい公共施設が少ない
- 7. 障がいのある人が日常的に利用できる店舗やレジャー施設が少ない
- 8. 交通機関が利用しにくい
- 9. 道路の段差や歩道が整備されていないなど外出しにくい
- 10. リハビリなど専門的な医療機関が近くにない
- 11. 病気やけがなどの時に気軽に利用できる医療機関が少ない
- 12. 地域の理解や協力が足りない
- 13. 災害時の対応体制が整っていない
- 14. その他
()
- 15. わからない

問40 障がいのある子どもに対する支援サービスについて今後特に充実していくべきと思われるのは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 乳幼児健診の充実や障がいの早期発見・早期療育体制の整備
2. 保育所や幼稚園での障がいのある子どもの受入れ体制の充実
3. 放課後等デイサービスの充実
4. 日中一時支援事業（地域生活支援事業）の充実
5. ホームヘルプサービスやショートステイなど在宅サービスの充実
6. 放課後児童対策の充実
7. 特別支援教育の充実
8. インターンシップ制度（職場体験）など、就学児童への職業教育の充実
9. 肢体不自由児、知的障害児施設など入所施設の充実
10. 年齢や障がいの状況に応じた総合的な相談体制の整備
11. その他
()
12. わからない
13. 特にない

問41 今後、市が障がい福祉の施策として、特に力を入れていくべきことは何だとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問系サービス（居宅介護（ホームヘルプ）など）
2. 日中活動系サービス
(生活介護、障害児通所支援、短期入所、自立訓練、就労継続、就労移行)
3. 居住系サービス（施設入所、グループホームなど）
4. 地域生活支援事業（日中一時支援事業や移動支援事業など）
5. 人生の各時期に応じた保健・医療サービス
6. 障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援
7. 障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり
8. 働く場の提供
9. 社会参加、地域参加への支援（学習機会の確保など）
10. 相談支援体制
11. 経済的な援助
12. 障がいのある人への理解を深める啓発や広報活動
13. ボランティアの育成や活動への支援
14. 金銭を含む財産管理の支援など成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用促進
15. 民間企業、社会福祉法人、NPO 法人などの福祉活動の育成
16. その他 ()
17. 特にない
18. わからない

問 42 その他、障がい福祉に関して市へのご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

★アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用の封筒（切手は不要です）に入れて、9月29日（金）までに ご返送ください。